

2015年度学生実態調査報告書

監 修：社会学研究室 田辺 俊介

集計分析：文学研究科社会学コース 修士 1 年 関戸 智大

教育学研究科社会科教育専攻 修士 1 年 紺野 泰洋

発 行：文学学院（2016 年 2 月）

2015 年度 学生実態調査 調査報告書

1 章 調査概要.....	3
1-1 調査のねらい.....	3
1-2 調査デザイン.....	3
1-3 基本属性.....	6
1-4 居住状況、回答デバイス	7
第 2 章 学習活動	9
2-1 授業への取り組み方	9
第 3 章 基礎教育・外国語教育	11
3-1 基礎講義（1・2 年生対象）	11
3-2 必修基礎演習（1・2 年生対象）	12
3-3 英語（1・2 年生対象）	14
3-4 基礎外国語（1・2 年生対象）	16
3-5 選択外国語（3・4 年生対象）	18
3-6 開講科目	20
第 4 章 文化構想学部：進級、専門教育	22
4-1 論系への進級.....	22
4-2 専門教育	24
第 5 章 文学部：進級、専門教育	27
5-1 コースへの進級	27
5-2 卒業論文・満足度.....	29
第 6 章 進路選択：大学受験・就職活動	31
6-1 大学受験時の進路選択と受験形態	31
6-2 卒業後の進路	32
6-3 仕事観・キャリアビジョン	37

1 章 調査概要

1-1 調査のねらい

本調査は、2007 年度に発足した文化構想学部・文学部の学生を対象に、学生の学習や生活について、その実態や意識を把握することを目的に、2009 年度から文学学術院が継続的に実施している。2015 年度調査は、第 7 回目の調査である。調査実施にあたっては昨年度と同様、彼らの学部での学習活動、進級状況、卒業後の進路について、その実態と意識を明らかにする質問項目を用意した。また、2015 年度の調査では、調査初年度より設けられていた「キャンパスでの生活全般（工事の影響も含む）」についての質問項目が削除され、他方で 2012 年度から 3 年ぶりに「卒業後の進路」についての質問項目が設置された。（そのため本報告書では、主に第 6 章において 2012 年調査との比較を行っている。）

なお、年々減少傾向にある回答率低下の対策として、2015 年度も 2014 年度同様、調査実施時期・期間を 2013 年度以前のものから変更した。2013 年度は調査時期を 7 月（試験期間および夏季休業期間）、調査期間を 2 週間としていたが、2014 年度と 2015 年度は調査時期を学生の Web の利用頻度が高いと思われる 9 月～10 月（Web 科目登録期間）、調査期間を 3 週間とした。2014 年度から継続した本対策の結果、回収率は 2014 年度と比べて 5 ポイント、2013 年度と比べて 8 ポイントの増加となった。来年度におけるさらなる改善のため、引き続き調査時期・方法などの検討が期待される。

1-2 調査デザイン

（1）対象

本調査の母集団は、2015 年度の文化構想学部および文学部在籍者（1～4 年生）総数 6,868 名（休学者除く）である。1 年生の 50%の割合で無作為抽出し、2 年生から 4 年生については前年回答していない 50%を対象とし、合計で 3,432 名を対象者とした。

（2）調査方法

本調査は、調査依頼文と ID をメールで配信し、調査対象者が配信された ID を用いて調査画面にアクセスし、調査に回答する Web 調査で実施した。調査回答後、希望者 570 名に謝礼品をわたした。調査 Web 画面では無記名自記式であるが、謝礼品・贈呈にあたっては、ID と学籍番号をリンクさせた。なお、この点については、調査依頼時に調査対象者の了解を得た。

（3）調査実施

調査画面の作成、配信から回収・データ作成までの工程は社団法人・中央調査社に委託して行った。委託にあたっては、「個人情報保護に関する覚書」を本学術院と中央調査社で交わし、個人情報の秘密保持を確認した。なお回収した調査票データは、文学学術院が厳重に管理している。

(4) 調査デザイン

次ページの図を参照のこと。1-1 で指摘したように 2012 年度から 3 年ぶりに「卒業後の進路」についての質問項目が設置するなど、本年度調査は基本的に 2012 年度調査の調査デザインを踏襲している。

(5) 調査手順・調査時期

- ・調査票作成：2015 年 8 月
- ・調査実施時期：9 月 10 日 午前 9 時～10 月 1 日 午後 11 時 59 分
- ・学生へのアナウンス：9 月 10 日

(6) 回収状況

2015 年度の文化構想学部および文学部在籍者（1～4 年生）総数 6,868 名から抽出した 3,432 名に調査を依頼し、有効回収数は 976 票、有効回収率は 28.4%であった。学部別に見ると、文化構想学部が 28.3%、文学部が 28.6%である。

全体の回収率は、昨年の 2014 年度と比べると 5 ポイントの増加となった。昨年度よりも、全体的な回収率の改善が見られ、特に 1 年生と 3 年生において大幅な改善が見られた。ただし、有効回収率は基本的に例年どおり低学年ほど高い傾向がみられた。

なお、1 年生の回答率が他の学年と比べて高めの割合を示していることには注意が必要である。回答者において最も高い割合を占めるのは 1 年生であり、学年が上がるにつれて回答者数の中でその学年が占める割合は下がっていく傾向にある。

表 1 対象者・回収率一覧

学部	学年	母集団		対象者数	回答者	回収率
合計		6868		3432	976	28.4%
文化構想学部	合計	3838		1918	543	28.3%
	1年	981	50.05%	491	164	33.4%
	2年	936	49.79%	466	139	29.8%
	3年	985	50.05%	493	128	26.0%
	4年	936	50.00%	468	112	23.9%
文学部	合計	3030		1514	433	28.6%
	1年	753	50.07%	377	132	35.0%
	2年	736	50.00%	368	109	29.6%
	3年	753	49.80%	375	101	26.9%
	4年	788	50.00%	394	91	23.1%

I 学習・研究活動 A 授業(それぞれの科目について) (1) 授業への取り組み方 9項目 (2) 授業内容の評価(学習意欲・学習環境の向上のための必要性) 7項目 * 授業全体としてたずねる(講義と演習・ゼミ別) (3) 授業への要望 9項目 * 授業全体としてたずねる(講義と演習・ゼミ別) Bカリキュラム (1) 基礎教育 (1)-1 基礎講義 (1)-2 基礎演習 (1)-3 選択基礎演習 (2) 英語 時間数・効果 (3) 基礎外国語 時間数・選択語学・選択理由・効果 (4) 選択外国語 履修の有無・選択語学・選択理由・効果・未履修理由・要望 C学部システム (1) 進級システム・ (1)-1 論系 (1)-2 コース (2) 科目登録 (3) 専門教育	IIIキャリア A 入学試験 (1) 入学前情報 参加と有用性 (2) 志望順位 (3) 入学形態 現役か浪人か (4) 大学への進学理由 B 卒業後の進路 (1) 卒業後のキャリアについて (2) 進路選択に当たっての大学学習の有用性 6項目 (3) 仕事への要望 (4) キャリアビジョン (5) 進路選択と大学ブランドの有用性 (6) 大学院進学
II 学生生活全般 A 大学利用 (1) 留学 (2) 授業外での学習 (3) 施設利用頻度 9施設 (4) 学内インターネットサービス 4種類 (5) 学内授業環境評価 6項目 (6) 学内の分煙 (7) 奨学金 B 大学・学部への愛着 (1) 愛着	IV基本属性 A個人属性 (1) 所属学部・論系・コース (2) 学年 (3) 性別 (4) 親元か否か

文化構想学部・文学部学生実態調査報告書 2015 調査デザイン

図 1 調査デザイン

1-3 基本属性

回答者の基本属性別の割合は以下のとおりである。

まず次の表2～表4では、全体に対する学部・学年ごとの比率を示した。

表2 学部・学年の割合

	学年[%・実数]									
	n		1年		2年		3年		4年	
全体	100.0%	976	30.2%	296	25.3%	248	23.3%	229	20.7%	203
文化構想学部	55.6%	543	30.2%	164	25.6%	139	23.6%	128	20.6%	112
文学部	44.4%	433	30.4%	132	25.1%	109	23.3%	101	21.0%	91

以下2つの表は所属論系・所属コースごとの学年別の割合である。ただし回収数が少ないため、これらの表の値は参考にとどまる。

表3 論系ごとの割合（文化構想学部）

	所属論系[%・実数]												
	n	多元文化論系		複合文化論系		表象・メディア 論系		文芸・ジャーナ リズム論系		現代人間論系		社会構築論系	
全体	379	14.0%	53	17.9%	68	15.6%	59	17.2%	65	19.3%	73	16.1%	61
2年	139	15.8%	22	12.9%	18	18.0%	25	19.4%	27	19.4%	27	14.4%	20
3年	128	12.5%	16	18.0%	23	14.8%	19	13.3%	17	23.4%	30	18.0%	23
4年	112	13.4%	15	24.1%	27	13.4%	15	18.8%	21	14.3%	16	16.1%	18

表4 コースごとの割合（文学部）

	所属コース[%・実数]												
	n	哲学		東洋哲学		心理学		社会学		教育学		日本語日本文学	
全体	301	4.7%	14	1.3%	4	11.0%	33	14.3%	43	3.7%	11	10.0%	30
2年	109	2.8%	3	1.8%	2	10.1%	11	13.8%	15	0.9%	1	11.9%	13
3年	101	4.0%	4	1.0%	1	11.9%	12	13.9%	14	5.9%	6	12.9%	13
4年	91	7.7%	7	1.1%	1	11.0%	10	15.4%	14	4.4%	4	4.4%	4
	n	中国語中国文学		英文学		フランス語フランス文学		ドイツ語ドイツ文学		ロシア語ロシア文学		演劇・映像	
全体	301	1.3%	4	12.6%	38	5.0%	15	3.3%	10	4.0%	12	4.0%	12
2年	109	0.0%	0	14.7%	16	5.5%	6	2.8%	3	4.6%	5	5.5%	6
3年	101	4.0%	4	9.9%	10	4.0%	4	2.0%	2	4.0%	4	3.0%	3
4年	91	0.0%	0	13.2%	12	5.5%	5	5.5%	5	3.3%	3	3.3%	3
	n	美術史		日本史		アジア史		西洋史		考古学			
全体	301	4.7%	14	8.6%	26	3.0%	9	5.3%	16	3.3%	10		
2年	109	3.7%	4	9.2%	10	4.6%	5	5.5%	6	2.8%	3		
3年	101	5.0%	5	10.9%	11	2.0%	2	4.0%	4	2.0%	2		
4年	91	5.5%	5	5.5%	5	2.2%	2	6.6%	6	5.5%	5		

また、回答者中の男女比は次の表のとおりである。

表 5 性別ごとの回収率

		性別[%・実数]						
		n	男性		女性		NA	
	全体	976	34.9%	341	64.9%	633	0.2%	2
文化構想学部	計	543	33.7%	183	65.9%	358	0.4%	2
	1年	164	31.1%	51	68.9%	113	0.0%	0
	2年	139	38.1%	53	61.2%	85	0.7%	1
	3年	128	35.2%	45	64.1%	82	0.8%	1
	4年	112	30.4%	34	69.6%	78	0.0%	0
文学部	計	433	36.5%	158	63.5%	275	0.0%	0
	1年	132	29.5%	39	70.5%	93	0.0%	0
	2年	109	45.0%	49	55.0%	60	0.0%	0
	3年	101	38.6%	39	61.4%	62	0.0%	0
	4年	91	34.1%	31	65.9%	60	0.0%	0

1-4 居住状況、回答デバイス

まず居住形態については、回答した学生のうち 68%が親元で暮らしているという結果となった。

表 6 居住形態

		居住形態[%・実数]						
		n	親元で暮らしている		親元を離れて暮らしている		NA	
	全体	976	68.2%	666	31.6%	308	0.2%	2
文化構想学部	計	543	68.9%	374	30.8%	167	0.4%	2
	1年	164	69.5%	114	30.5%	50	0.0%	0
	2年	139	74.1%	103	25.2%	35	0.7%	1
	3年	128	68.8%	88	30.5%	39	0.8%	1
	4年	112	61.6%	69	38.4%	43	0.0%	0
文学部	計	433	67.4%	292	32.5%	141	0.0%	0
	1年	132	67.4%	89	32.6%	43	0.0%	0
	2年	109	67.9%	74	32.1%	35	0.0%	0
	3年	101	61.4%	62	38.6%	39	0.0%	0
	4年	91	73.6%	67	26.4%	24	0.0%	0

また昨年度に引き続き本年度もスマートフォンによる回答を可能とした。実際の回答デバイスの割合については表 7 のとおりである。スマートフォンでの回答が全体の 70%を占めている。昨年度のスマートフォンによる回答割合は 60%であり、本年度においてはスマートフォンによる回答の割合が 10 ポイント上昇したことがわかる。

表 7 回答デバイス

		回答デバイス[%・実数]								
		n	PC		スマートフォン		タブレット		その他	
	全体	976	26.4%	258	69.9%	682	3.6%	35	0.1%	1
文化構想学部	計	543	22.5%	122	74.2%	403	3.3%	18	0.0%	0
	1年	164	18.9%	31	77.4%	127	3.7%	6	0.0%	0
	2年	139	23.7%	33	74.1%	103	2.2%	3	0.0%	0
	3年	128	24.2%	31	71.1%	91	4.7%	6	0.0%	0
	4年	112	24.1%	27	73.2%	82	2.7%	3	0.0%	0
文学部	計	433	31.4%	136	64.4%	279	3.9%	17	0.2%	1
	1年	132	28.8%	38	69.7%	92	1.5%	2	0.0%	0
	2年	109	25.7%	28	67.9%	74	5.5%	6	0.9%	1
	3年	101	35.6%	36	61.4%	62	3.0%	3	0.0%	0
	4年	91	37.4%	34	56.0%	51	6.6%	6	0.0%	0

第2章 学習活動

2-1 授業への取り組み方

【Q6：表2-1～2-7】

今年度春学期の授業に対する自身の取り組みを「A. 無遅刻・無欠席を目指していた」、「B. 良い成績を目指していた」、「C. 授業内容について、教員に積極的に質問していた」、「D. 授業で出された課題をきちんと提出している」、「E. 授業中のグループワークやディスカッションに積極的に参加していた」、「F. 必要な予習や復習をした上で授業に参加していた」、「G. 授業をほかの活動より優先していた」、以上7項目から評価する設問である。

全体としては昨年度と同様の傾向がみられた。最も「あてはまる」との回答の割合が高かったのは、「D. 授業で出された課題をきちんと提出している」の68%であり、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた割合（以下、「あてはまる（計）」と表記）は92%と非常に高い数値を示した。他の項目に関して、「あてはまる（計）」でみると、割合の高いほうから「B. 良い成績を目指していた」（88%）、「E. 授業中のグループワークやディスカッションに積極的に参加していた」（78%）、「A. 無遅刻・無欠席を目指していた」（75%）、「G. 授業をほかの活動より優先していた」（64%）、「F. 必要な予習や復習をした上で授業に参加していた」（58%）、「C. 授業内容について、教員に積極的に質問していた」（35%）となった。

文学部の学生と文化構想学部3年生の学生で、全体間で大きく傾向が異なる項目は見当たらなかった。ただし、学年間で比較すると、「A. 無遅刻・無欠席を目指していた」の項目においては、文化構想学部3年生の「あてはまる（計）」が68%、4年生で63%であるのに対して、文学部3年生の「あてはまる（計）」が88%、4年生で70%であり、3・4年生の文学部の学生が当該項目においては積極的である傾向が見て取れた。「C. 授業内容について、教員に積極的に質問していた」項目においては、2年生において、文化構想学部の「あてはまる（計）」が25%、文学部の「あてはまる（計）」が40%であり、こちらの項目でも2年生においては文学部の学生が積極的である傾向が読み取れた。

各学部の学年別に目を向けると、昨年の報告書では「A. 無遅刻・無欠席を目指している」や「B. 良い成績を目指している」、「F. 必要な予習や復習をした上で授業に参加している」、「G. 授業を他の活動より優先している」の項目では、各学部1年生の「あてはまる（計）」の割合が最も高いという傾向がみられたという報告がなされていたが、本年はその傾向を見て取ることができなかった。「A. 無遅刻・無欠席を目指している」、「B. 良い成績を目指していた」、「F. 必要な予習や復習をした上で授業に参加している」、においては文化構想学部のみ、「G. 授業を他の活動より優先している」では文学部のみがその傾向が当てはまるという結果になった。

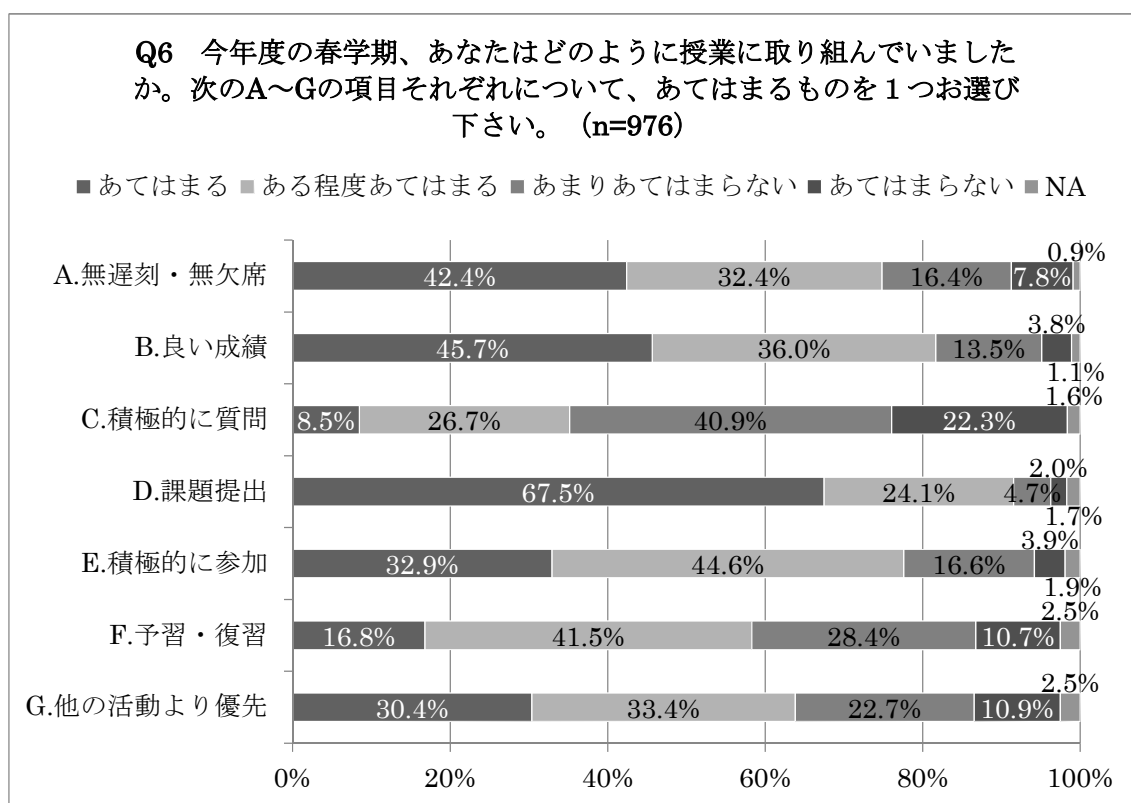


図2 Q6 授業への取り組み方

第3章 基礎教育・外国語教育

3-1 基礎講義（1・2年生対象）

【Q7：表3-1】

回答者のうち、文化構想学部・文学部の1年生・2年生に基礎講義（オンデマンド）の視聴によって、各論系・コースの内容をどの程度理解できたかを問う設問である。

視聴による基礎講義の理解度の全体的傾向は、昨年同様のものであった。「十分に理解できた（できている）」とする学生は全体の15%にとどまるものの、「ある程度理解できた（できている）」とする学生が64%に及び、あわせて79%の学生がおおむね理解できているといえる。また、「まったく理解できなかった（できていない）」とする者が2%にとどまることから、おおむね学生に理解されていると考えられる。ただし、学部別にみると、「まったく理解できなかった（できていない）」の項目において、文化構想学部の学生全体割合が1%なのに対して、文学部では4%となり多少の差がみられたことは昨年と異なる傾向であった。

【Q8：自由回答——付録①】

自由回答には合計161件の意見が寄せられた。それらを内容別に大まかに分けていくと、①視聴コンテンツ数・時間について、②内容について、③映像・音声視聴環境についての3つに分類できる。

①については、30という視聴コンテンツ数は多すぎるという意見とコンテンツごとの講義時間の長さを統一してほしいという意見が多数寄せられた。

②については、論系・コースあるいは担当教授によって内容の充実度に差があるという点についての意見、専門性の高い内容よりも基礎的な内容や身近な例をもとにした内容を求める意見、そして講義の単調さを指摘する意見、そしてゼミの活動内容の紹介を求める意見がいくつも寄せられた。①によせられた意見も踏まえると、コンテンツごとの差（視聴時間や内容の充実度）を統一してほしいという意見が多数あったといえる。

③については、オンデマンド利便性を評価する意見や映像の録音の質の悪さを指摘する意見が多くみられた。また、一回クリックしただけで視聴済みになってしまうという問題や視聴済み講義数確認ページへのアクセス導線がわかりにくいなどシステム仕様上の問題点に関する意見が多数寄せられた。一方で、授業のレジュメを印刷できるようにしてほしいという意見や、秋学期以降も視聴できるようにしてほしいなど学習活動にオンデマンド授業を積極的に活用していこうという肯定的な意見も多くみられた。

全体として意見の傾向は昨年度と同様であった。ただし、昨年は多く見られたレビューシートに関する意見は減少した。論系・コースによって基礎講義の位置づけや内容（コース紹介なのか、授業なのかなど）に差があるため、学生側の受け止め方が様々になり評価が分かれている点と、学生自身の状況（モチベーション、論系・コースの進級希望が固まっているか否かなど）によって受け止め方がそれぞれ異なり、評価が分かれている点があり、それは「興味の全くないコースの基礎講義も観なくてはならず、あまり意味を見いだ

せなかった。元々進みたいコースや論系が決まっている学生にとっては必要ないものだと感じた。義務ではなく観たい学生が見るようにすれば良いのではないか」という意見に集約されているといえる。

3-2 必修基礎演習（１・２年生対象）

【Q9：表 3-2～3-4】

回答者のうち、文化構想学部・文学部１・２年生に必修基礎演習をとおして身につけた能力の程度を問う設問である。

全体を通して昨年と同様の傾向が見て取れた。「とても身についた」と「ある程度身についた」の割合の合計（以下、同内容を「身についた（計）」と表記）でみると、一番その値が高かったのは「論文を執筆する能力」（58％）であり、次に「論文を読解する能力」（53％）と続き、一番低かった項目は「討論する能力」（40％）となった。学部間でもそれほど大きな差は認められなかったが、昨年の報告書では「身についた（計）」の割合がそれぞれの項目で約５ポイント程度、一昨年の割合と比べて低下したと報告されていたが、本年のそれはおおむね昨年と類似した値をとり、低下に歯止めがかかっている。

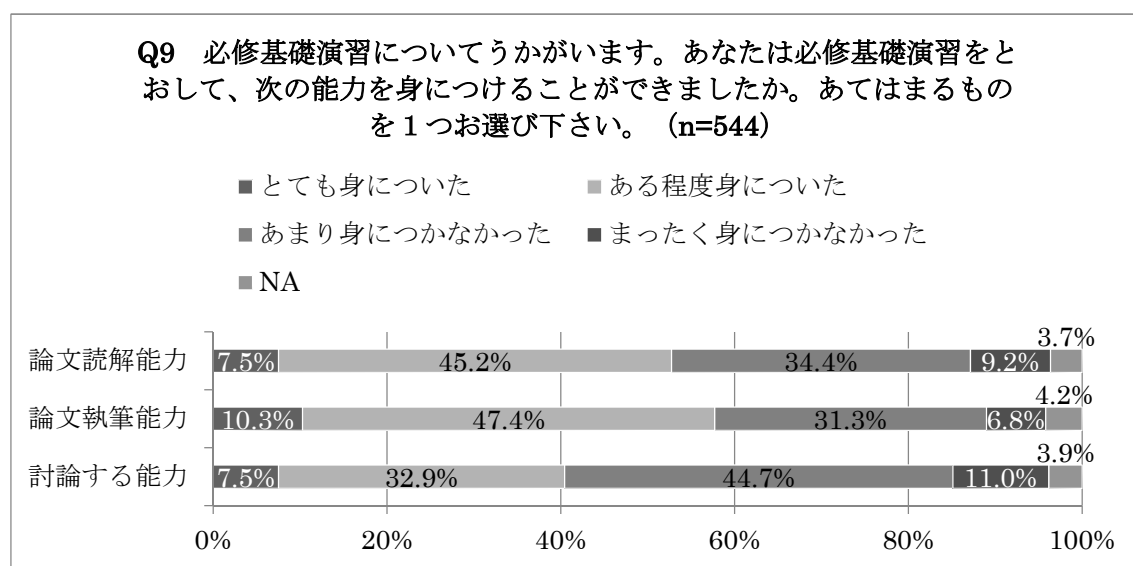


図3 Q9 基礎演習で身につけた能力

【Q10：表 3-5】

前問同様、文化構想学部・文学部１・２年生に必修基礎演習を通じて身につけた、読む・書く・話す能力について問う設問である。

全体からみると、「非常に満足している」が９％、「まあ満足している」が４３％、合計では５２％となった。昨年の合計が５５％であったことを見ると、多少の減少が見て取れた。特に、「まあ満足している」の全体割合は昨年が４７％であり、本年では同項目で５ポイントの

低下となった。

【Q11：表 3-6】

Q10 で「非常に満足している」、「まあ満足している」と回答した理由を複数回答で問う設問である。

割合の高いものから順に「クラスの仲間とのグループ学習」(55%)、「担当教員の手厚いサポート」(49%)、「開講時期が入学直後であったこと」(32%)、「興味深い教材群」(12%)と続いた。昨年と比べると、「開講時期が……」という項目に関して、9ポイントの低下がみられた。

「その他」の項目では、担当教員の指導方法や授業のカリキュラムについての肯定的な意見が寄せられた。

【Q12：表 3-7】

Q10 で「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と回答した理由を複数回答で問う設問である。

割合の高いものから順に、「担当教員のサポート不足」(49%)、「興味をひかない教材群」(46%)、「クラスの仲間との不調和」(17%)、「開講時期が入学直後であったこと」(9%)となった。例年通り、「担当教員……」についての項目では、問 11 でみられたように肯定的な評価がみられる一方で否定的な評価も割合が高かった。昨年も指摘されているが、これにはクラス毎に教員の指導内容、教授方法などの対応にばらつきがみられることが学生の満足度に影響していると考えられよう。

「その他」の自由回答項目においては、大きく分けて以下の三つの内容の回答が寄せられた。①クラス毎における教員の指導内容、教授方法のばらつき、②論文執筆・読解に関する指導の不足、③学生自分自身の能力への不安・不満、である。

【Q13：自由回答——付録②】

必修基礎演習の内容や方法についての自由な意見を求める設問である。

合計で 143 件の回答が寄せられた。その中でも多数の回答が寄せられたのは、①レポートの書き方・指導について、②クラスごとのばらつきについて、以上2つであった。

まず、①については昨年と同様にレポート・論文の書き方を具体的に、詳しく教えてもらいたかったという意見と、丁寧に指導がなされていたという両方の意見が寄せられた。ただし、これも昨年通りであるが、前者に対する意見の方が、後者よりもはるかに多くみられた。上記のように相反する意見が見られることの一要因としては学生の授業に臨む姿勢や受け止め方の違いだけではなく、クラスごとに担当教員が異なるため、どうしても指導内容・質にばらつきがでてしまうことが挙げられよう。ゆえに、②に対する意見には上記の内容とのつながりがあると考えられる。

そこで②についてみていくと、例年通り、担当教員によって授業の内容や質が違いすぎるなどという意見が非常に多く見受けられた。具体的には授業内容・形態、課題の分量などが多く指摘されていた。例年改善方法として、授業内容・形態、課題などについて質・量の統一を求める意見が多く寄せられていることが指摘されるが、本年度も同様の意見が大量に寄せられた。

①と②以外では、グループ活動やディスカッションを取り入れた授業内容を求める声や通年で授業を実施してほしいという声が比較的多くみられた。

3-3 英語（１・２年生対象）

【Q14：表 3-8】

回答者のうち、文化構想学部・文学部１・２年生に、１年次春学期の英語（２コマ）の授業数が多いと感じるか少ないと感じるかを問う設問である。

「ちょうどよい」と回答した学生の割合は 49%となった。「多い」と「どちらかといえば多い」を合計した割合（以下、「多い（計）」と表記）は 11%であり、それに対して「少ない」、「どちらかといえば少ない」を合計した割合は 40%であった。

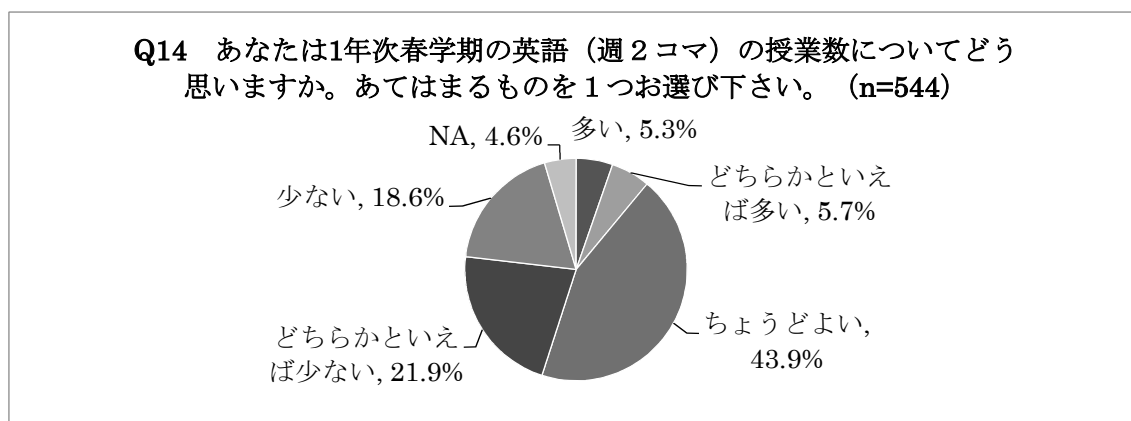


図4 問14 英語のコマ数

【Q15：表 3-9～表 3-13】

Q14と同様、回答者のうち、文化構想学部・文学部１・２年生に、１年次春学期の英語授業を通して、「文法の理解」、「リーディング能力」、「ライティング能力」、「リスニング能力」、「スピーキング能力」、以上５つの項目についてどの程度身に着けたかを問う設問である。

「身についた（計）」の割合が高い項目順にみていくと、「ライティング能力」（54%）、「リスニング能力」（54%）、「リーディング能力」（51%）、「スピーキング能力」（49%）、「文法の理解」（34%）となった。昨年と比べると、「リスニング能力」が身についたと感じる学生の割合が低下し、「スピーキング能力」が身についたと感じる学生の割合が低下した。

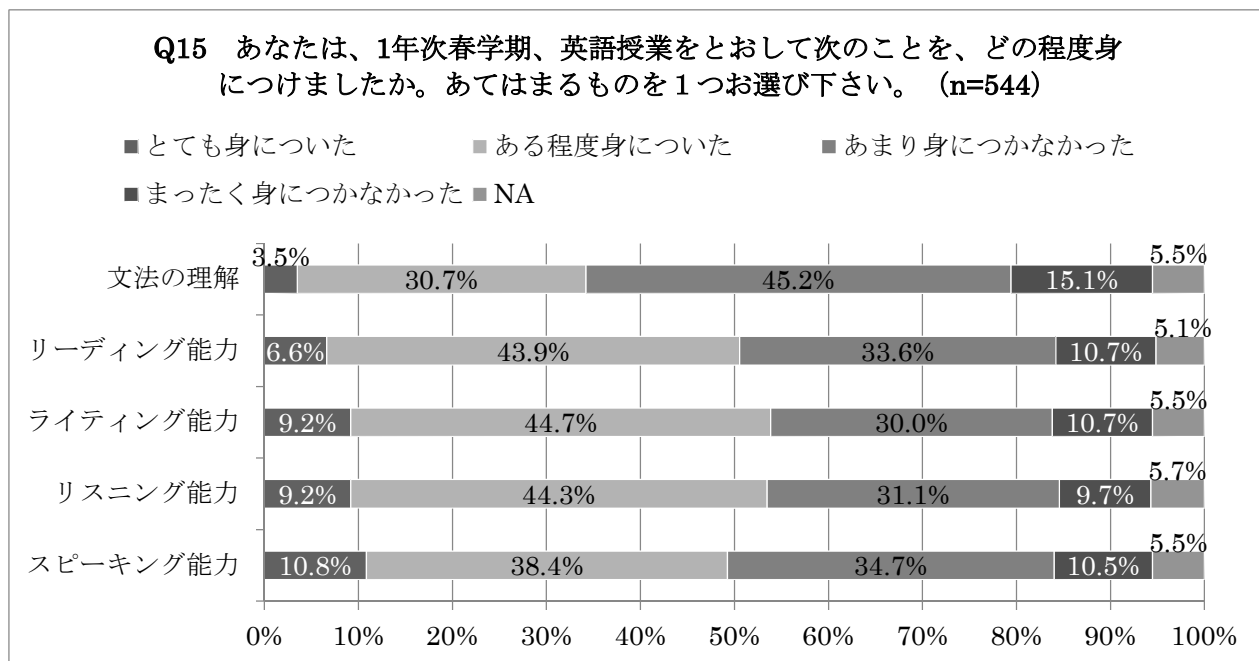


図5 Q15 英語授業を通じて身に着けた能力

【Q16：自由回答——付録③】

1年次の英語授業・選択英語の内容や方法についての自由な意見を求める設問である。

合計で145件の回答が寄せられた。昨年同様に必修英語に関する意見が大多数であり、内容からおおまかに①クラスごとのばらつきについて、②授業のレベル・質について、③コマ数の少なさについて、以上3つに分類できた。

まず①について、課題や評価基準の方法に関するばらつきや教員ごとの授業内容・質のばらつきが指摘された。特に教員に関しては、ネイティブの講師かそうではないかによって差が出るのではないかという意見がある程度見受けられた。

続いて、②に関しては学力を考慮せずクラス編成をするのではなく、レベル別にクラス分けをしたほうが授業の質が担保できるのではないかといった意見が非常に多く寄せられた。そのほかには「TOEIC対策、スピーキング、論文執筆など、目的別の英語クラスを選択できるとよりモチベーションが上がる」といった意見が少数ではあるがみられた。

そして③について、例年通り週1回の授業では少ないという意見が多くみられた。特にそれらの意見においては、比較対象として第2外国語の授業数が挙げられることが多かったことが特徴的である。

また、その他の意見ではスピーキング、ライティング、リーディング、リスニングそれぞれについて集中的に学ぶことができる授業を開講してほしいという意見が比較的多くみられた。

3-4 基礎外国語（１・２年生対象）

【Q17：表 3-14】

回答者のうち、文化構想学部・文学部１・２年生に、１年次春学期の基礎外国語（英語以外、週４コマ）の授業数について多いと感じるか、少ないと感じるかを問う設問である。

全体をみると、「多い（計）」の割合は 59% となり、「ちょうどよい」は 33% であった。そして、「少ない（計）」は 2% と非常に少ない割合となった。これらは昨年の傾向と同様である。

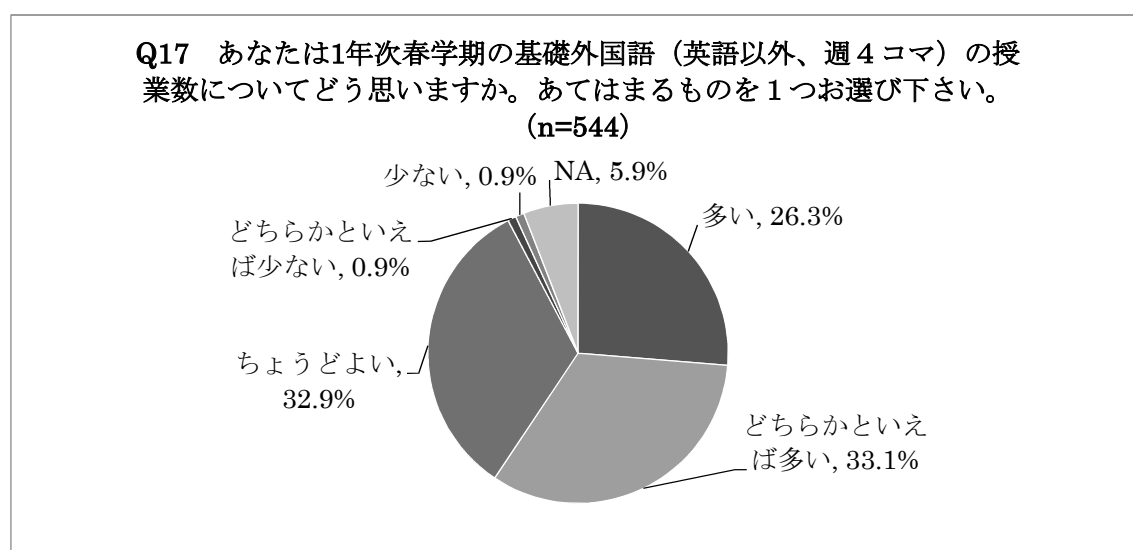


図 6 Q17 基礎外国語のコマ数

【Q18：表 3-15】

Q17 と同様、回答者のうち、文化構想学部・文学部１・２年生に、基礎外国語選択状況を問う設問である。

割合が高い順に並べると、「フランス語」(24%)、「スペイン語」(19%)、「ドイツ語」(18%)、「中国語」(18%)、「ロシア語」(6%)、「イタリア語」(4%)、「朝鮮語」(4%)、「日本語」(1%) となった。

【Q19：表 3-16、参考表 3-1】

Q17 と同様、回答者のうち、文化構想学部・文学部１・２年生に、基礎外国語の選択理由について、複数回答で問う設問である。

全体をしてみると、「その言語自体に興味があったから」が 49%、「その言語が使用される国の文化に興味があったから」が 49% と相対的に高い割合を示した。また、「国際社会において重要な言語であると思ったから」も 31% という割合であった。これらの傾向は昨年と同様である。

また、履修言語ごとの選択理由の割合を見るために、履修言語とその言語の選択理由とのクロス集計を行った。これにより、本調査回答者における言語ごとの選択理由の特徴が明らかとなる。

「中国語」と「スペイン語」の履修者では、「国際社会において重要な言語であると思ったから」という選択理由が他の言語の履修者と比べて高い割合を示した（中国語 69%、スペイン語 46%）。また「中国語」の場合は「就職に役に立つと思ったから」の割合が 23%とこちらの割合も他の言語の履修者と比べて高いことも特徴である。これらは昨年報告された傾向と同様のものであった。

「その言語自体に興味があったから」という項目においては、「ロシア語」(76%)と「朝鮮語」(64%)が比較的高い割合であった。ただし、「フランス語」(56%)、「ドイツ語」(59%)、「イタリア語」(58%)でも高い割合が示された。

また「その言語自体に興味があったから」という項目において高い割合を示した言語については、同様に「その言語が使用される国の文化に興味があったから」という項目でも、「イタリア語」が 71%、「ロシア語」が 67%、「ドイツ語」が 64%、「朝鮮語」が 55%、そして「フランス語」が 54%と高い割合であった。以上は例年通りの傾向といえる。

しかし、本年度の特徴として、「ロシア語」の場合は、「基礎外国語紹介コンテンツ（入学前）」での説明が興味深かったから」という回答の割合が 24%と他の言語のそれに比べて約 20 ポイントも差が見られた。昨年も同割合は比較的高いものであったが、本年それとくらべても約 10 ポイントも高かった。

【Q20：表 3-17-3-21】

Q17 と同様、回答者のうち、文化構想学部・文学部 1・2 年生に、基礎外国語の授業を通して身につけた能力の程度について、「ライティング能力」、「リスニング能力」、「リーディング能力」、「スピーキング能力」、「文法の理解」ごとに問う設問である。

「文法の理解」においては「身についた（計）」が 82%と最も高い割合を示した。「身についた（計）」が高い順に回答項目とその割合を見ていくと、「リーディング能力」(72%)、「ライティング能力」(62%)、「リスニング能力」(49%)、「スピーキング能力」(46%)となり、英語授業と比較してみると、どちらもスピーキング能力を身に着けたとする回答の割合が相対的に低かったことが本年の傾向として見て取れる。

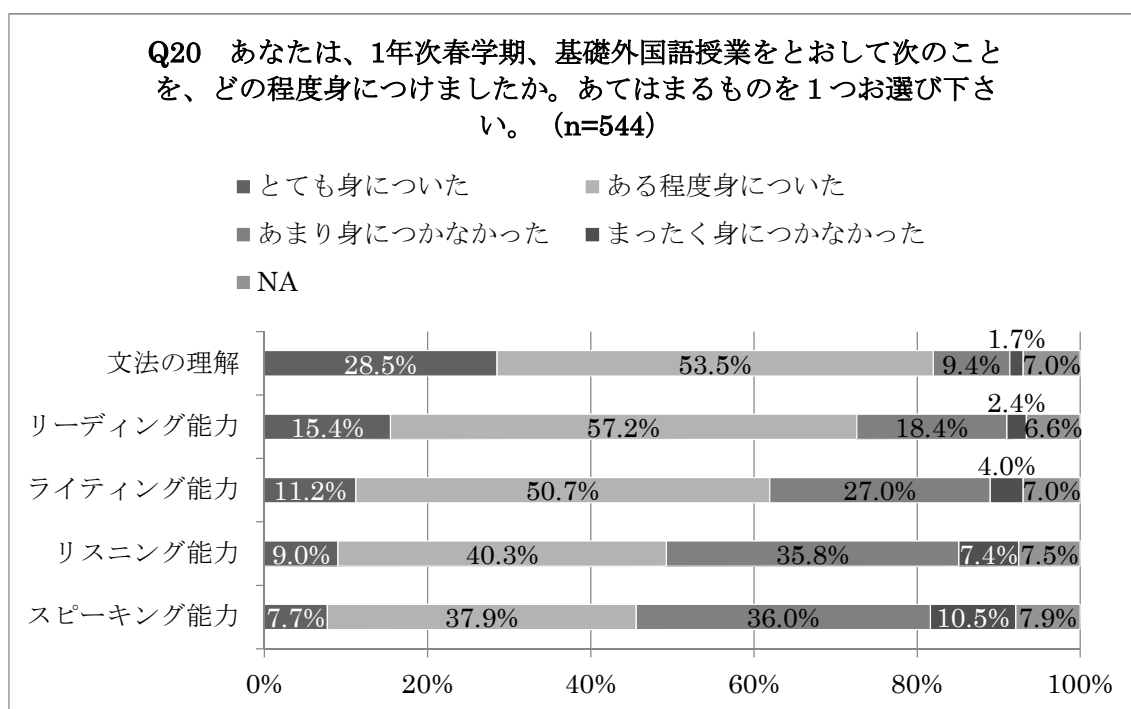


図7 Q20 基礎外国語の授業を通して身に着けたこと

【Q21：自由回答——付録④】

1年次基礎外国語の内容や方法について自由な意見を求める設問である。

合計で103件の回答が寄せられた。昨年も指摘されていたが、本年も基礎講義や基礎演習、必修英語などに対する自由回答と比べると、肯定的な意見が比較的に見られた。

「週4コマあるとその言語に触れている時間が長いので、1年間でとても身に付いたと思う」といった意見が多数みられた。しかし、一方で週4コマというコマ数の多さを指摘する声も多くあり、「第二外国語のために興味のある領域や資格に必要な科目がとれなくなってしまう」といった自らの学習プランに支障が出ることもあるという内容の意見も一定数見受けられた。

3-5 選択外国語（3・4年生対象）

【Q22：表3-22】

回答者のうち、文化構想学部・文学部3・4年生に対して、選択外国語の履修経験を問う設問である。

3・4年生の64%に履修経験があり、10%が「履修したことはないがこれから履修したい」と回答した。「今後も履修したくない」と回答した学生の割合は23%となった。これらの数値は昨年とほぼ同様であった。

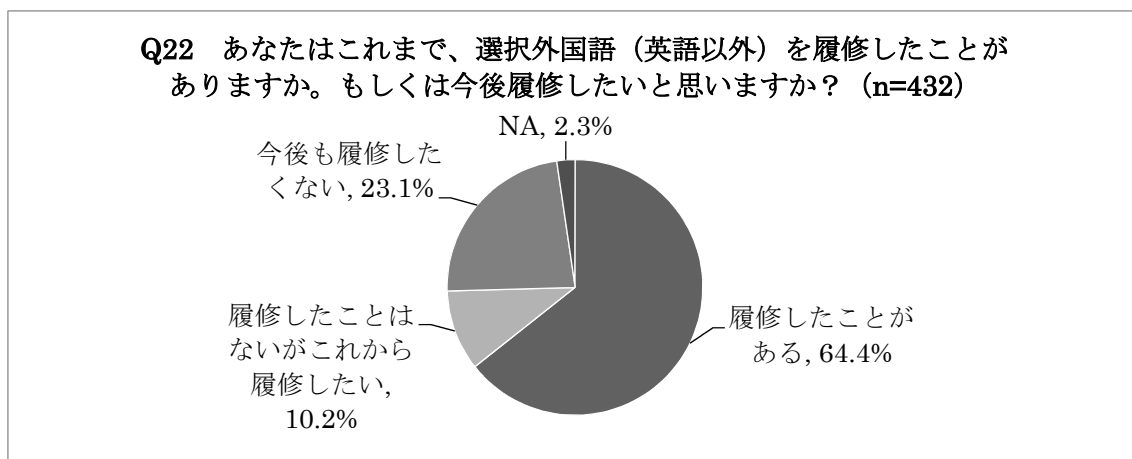


図 8 Q22 選択外国語の履修状況

【Q23：表 3-23】

Q22 において、「履修したことがある」又は「履修したことはないがこれから履修したい」と回答した学生に、選択外国語を履修したい理由を問う設問である。

全体でみると、「その言語自体に興味があるから」が 63%、「その言語を用いる国や文化に興味があるから」が 49%とそれぞれ高い割合を示した。しかし、その中でも「その言語自体に興味があるから」では、文学部の全体割合が 56%出ののに対して、文化構想学部全体の割合が 69%と大きな差が見られた。

「論系・コースのカリキュラムで必要だから」という理由については、文化構想学部の学生の割合（6%）よりも文学部の学生の割合（25%）が高かった。特徴的であったのは、「海外留学のため」、「資格取得のため」それぞれの項目において、文学部 4 年生の回答割合が相対的に高かったことである（「海外留学のため」（11%）、「資格取得のため」（17%））。

【Q24：表 3-24】

Q22 で選択外国語を「履修したことがある」と回答した学生に対して、レベルアップを実感できたかを問う設問である。

全体を見ると、「期待以上に達成できた」が 12%、「ほぼ期待した通り達成できた」が 40%、合計（以下、「達成できた（計）」と表記）は 52%であった。文化構想学部では 3 年生よりも 4 年生の「達成できた（計）」の割合が 17%も高かった。昨年の報告書では文化構想学部も文学部も 3 年生の方が 4 年生よりも、「達成できた（計）」の割合が高いという報告がなされていたが、本年その傾向は見られなかった。

【Q25：表 3-25】

Q22 で「今後も履修したくない」と回答した学生に、履修したくない理由を問う設問である。

全体をみると、「時間的余裕がないから」の割合が 48%と最も高く、続いて「語学は苦手だから」が 40%、「履修したい科目がないから」が 15%となった。

【Q26：表 3-26】

Q22 と同様、文化構想学部・文学部 3・4 年生に対して、選択外国語を履修するにあたって、特に強化してほしい科目を複数回答で問う設問である。

全体を見ると、「スピーキング科目」の割合が 47%と最も高かった。続いて、割合が高かったのは「2 年生以上からでも学べる入門科目」で値は 43%となった。例年、同設問の回答では、独学では身につけることが難しいスピーキング能力への回答割合が多いことが指摘されてきたが、本年もその傾向がみられた。しかし、前年と比較すると、「2 年生以上からでも学べる入門科目」、「資格・検定試験対策科目」、「リスニング科目」それぞれの回答割合のみに 5 ポイント程度の低下がみられたことが特徴的であった。

【Q27：自由回答——付録⑤】

選択外国語科目の内容や方法について、自由回答で意見を問う設問である。

合計で 106 件の意見が寄せられた。内容を大まかに分けると、①設置科目についてのものと②授業の内容についてのもの、以上 2 つがみられた。

まず①に関しては、「入門クラスの授業が少なく、2、3 年生になると新しい言語が学びにくい」といった、新たな言語を学び始めるための入門科目や基礎科目を設置してほしいという意見が多く寄せられた。また、TOEIC 向けの科目を増やしてほしいという意見、英語のスピーキングの授業を増やしてほしいという意見などが一定数見受けられた。

②に関しては、各言語において専門書講読やディスカッション、リスニングなど特定の部分に焦点化した授業があればいいという意見がみられた。

また、自由な受講が難しいこと、特に科目の設置日時の偏りと選外の多さが述べられていた。これは昨年の報告でも同様の報告がなされており、何らかの改善が求められよう。

3-6 開講科目

【Q28：表 3-27】

回答者全体に、文化構想学部・文学部が開講する科目群の満足度を問う設問である。

全体を見ると、「非常に満足している」が 19%、「まあ満足している」が 65%、合計（「満足している（計）」）は 85%であった。例年通りの高い水準を示しており、学部間の差があまり見られないことも例年通りの傾向であった。

Q28 あなたは、文化構想学部・文学部が開講する科目群について、満足していますか。あてはまるものを1つお選びください。

(n=976)

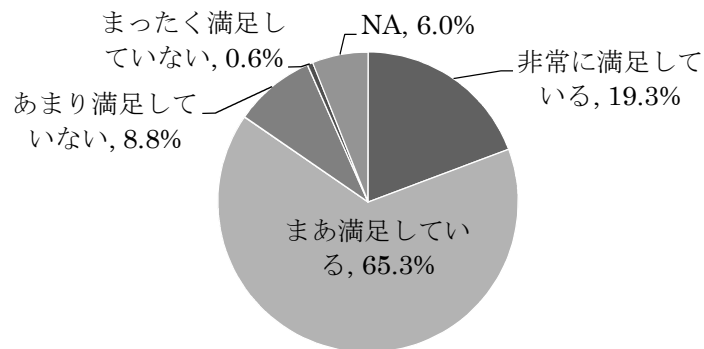


図9 問28 開講する科目群への満足度

【Q29：表3-28】

Q28において、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」を選択した学生に最も不満に感じる点を選択肢から回答してもらう設問である。

最も高い割合を示したのは、「設置されている科目のバリエーション(分野・テーマなど)」の61%であり、続いて、「設置されている科目の形式(講義・演習・実習など)」(16%)、「自分で選択できる科目の選択肢」(16%)となった。例年通り、設置科目のバリエーションが不満要因となる割合が非常に高いという傾向がみられた。

第4章 文化構想学部：進級、専門教育

4-1 論系への進級

【Q30：表 4-1】

回答者となった文化構想学部1年生に現時点でどの論系への進級を希望しているかを問う設問である。

最も進級希望の割合が高い論系は「現代人間論系」の23%であった。続いて、「表象・メディア論系」が20%、そして「複合文化論系」と「文芸・ジャーナリズム論系」が同割合の12%となった。また、「まだ決めていない」と回答した学生の割合は13%であった。

【Q31：表 4-2】

同1年生にさらに、現在の志望論系が入学時に希望していた論系と同じものか違うものかを問う設問である。

「同じ」とした学生は55%、「違う」とした学生は26%、「入学時には特に決めていなかった」と回答した学生は17%であった。ここからは例年通り、入学後に志望論系が変わる学生が一定数いることがみてとれた。

【Q32：表 4-3】

また同1年生に進級する論系を決定する際に重視することを複数回答で問う設問である。一番高い割合を示した項目は「自分の関心のあるテーマを学ぶことができるか」(87%)であり、例年通り他の選択肢と比べて非常に高い割合であった。他の選択肢を比較的回答割合が高い順にみると、「専門科目が充実しているか」(22%)、「所属教員が充実しているか」(20%)、「就職に有利であるか」(17%)となった。

【Q33：表 4-4～表 4-7】

回答者となった文化構想学部2年生に「基礎講義」、「ブリッジ科目」、「基礎外国語」、「英語」の4つの科目を論系選択の際にどの程度参考にしたのかを問う設問である。

「非常に参考になった」と「参考になった」の割合合計（以下、「参考になった（計）と表記）」でみると、一番高い割合を示したのは「ブリッジ科目」(73%)であり、次に「基礎講義」(61%)、「基礎外国語」(22%)、「英語」(17%)と続いた。「基礎外国語」と「英語」に関しては「あまり参考にならなかった」と「参考にならなかった」の合計がそれぞれ70%を越えた。上記すべての結果が例年通りの傾向であった。

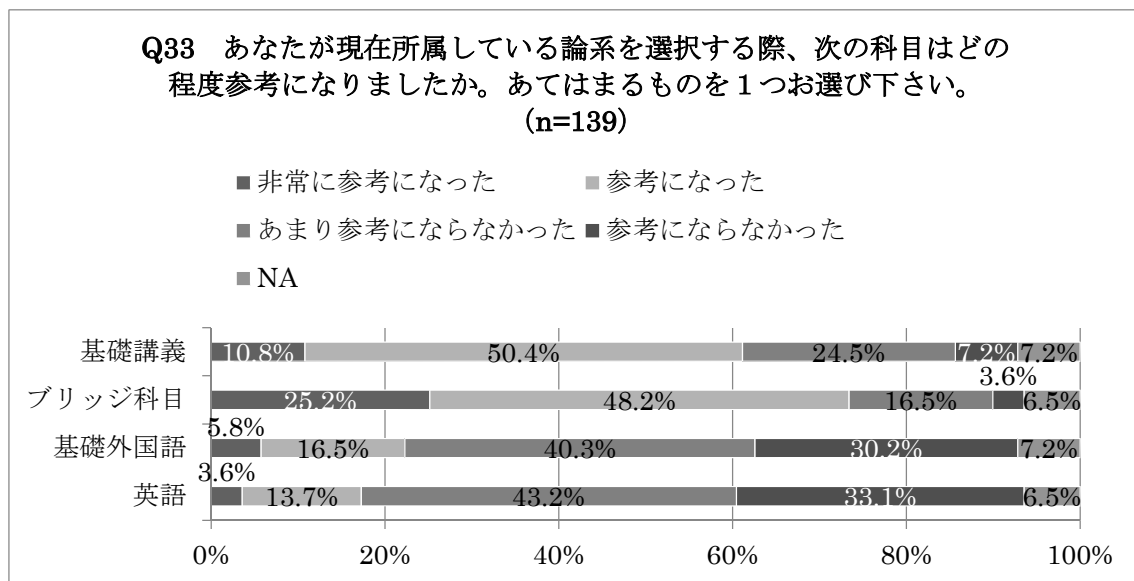


図 10 Q33 所属論系選択時に参考にした科目の程度

【Q34：表 4-8】

同、文化構想学部 2 年生に現在所属している論系が第一希望のものかそうではないかを問う設問である。

「第一希望のものである」と回答した学生の割合は 86% となり、「第一希望のものではない」と回答した学生の割合は 7% であった。

【Q35：表 4-9】

同、文化構想学部 2 年生に、現在所属する論系が入学時に希望していた論系と同じものかそうではないかを問う設問である。

「同じ」とした学生の割合は 37%、「違う」とした学生の割合は 35%、そして「入学時には特に決めていなかった」とした学生の割合は 22% であった。

【Q36：表 4-10】

同、文化構想学部 2 年生に、現在所属する論系を決定する際に、活用した情報を複数回答で問う設問である。

「論系のガイダンス」の選択割合が 54% と最も高く、続いて「論系の HP」(48%)、「基礎講義の内容」(41%) が他の選択肢と比べて 10 ポイント以上高い回答割合であった。このように各論系が公開している情報や授業を活用し、自らの論系選択を行っていく様子が見て取れた。一方で、「論系の教員や助手の話」(28%)、「論系に所属する学生の話」(24%)、「周囲の評判」(23%) など、学生間、学生教員間などでコミュニケーションを図り情報を集めていこうという学生も一定数いる。これらの傾向はやはり例年通りのものである。

【Q37：表 4-11】

同、文化構想学部 2 年生に、現在所属する論系を決定する際に重視したことを複数回答で問う設問である。

最も高い割合だったのは「自分の関心のあるテーマを学ぶことができる」(85%)であり、1 年生が論系選択の際に重視している点を問うた問 32 と同様の項目が他の選択肢と比べて非常に高い割合を示した。続いて割合の比較的高い順に、「所属教員が充実している」(27%)、「専門科目が充実している」(19%)となった。これらの傾向は例年通りである。

【Q38：表 4-12】

論系への進級に関する最後の設問では、回答者の文化構想学部 2・3・4 年生に現在所属する論系の満足度を問う設問が設けられた。全体では、「非常に満足している」と「まあ満足している」の合計割合（以下、「満足している（計）」と表記）は 78%と高い値を示した。学年ごとの「満足している（計）」もほぼ全体の値に近く、これは例年通りの傾向といえる。

しかし、「まったく満足していない」の項目を昨年と比較すると、昨年は 2 年生、4 年生で同項目の割合が 0%であったにもかかわらず、本年はそれぞれ 4%と 5%となっていることが本年の特徴として見てとれた。

4-2 専門教育

【Q39：表 4-13】

回答者の文化構想学部 2 年生に、3 年次にゼミ所属を希望しているか、それとも卒業研究を希望しているかを問う設問である。

「ゼミ所属を希望」する学生の割合は 78%、「卒業研究を希望」する学生の割合は 4%、「まだ決めていない」学生の割合は 11%となった。これはほぼ例年通りの傾向であった。

【Q40：表 4-14】

回答者の文化構想学部 3・4 年生に現在ゼミに所属しているか、卒業研究を選択したかを問う設問である。

「ゼミに所属している」学生の割合は 88%、「卒業研究を選択した」学生の割合は 7%であった。

【Q41：表 4-15】

問 40 でゼミに所属しているという学生に対して、現在所属するゼミは、第一希望のものかそれとも違うものかを問う本設問では、「第一希望のものである」学生の割合が 88%、「第一希望のものではない」学生の割合が 12%となった。

【Q42：表 4-16】

同様に、Q40 でゼミに所属していると回答した学生に対して、所属ゼミ決定の際に重視したことを選択肢の中から複数回答で問う設問である。

「ゼミのテーマ」の回答割合が 91%と例年通り非常に高い値を示した。続いて、「担当教員との相性」が 42%、「2 年次の演習との連続性」と「ゼミガイダンスの印象」が同値で 18%、「周りの評判」が 15%という結果となった。やはり本年も例年通り、学生がゼミを決定する際に、自分自身が今後、学習を深めていく分野にあたるであろうゼミのテーマを軸として、担当教員との相性やガイダンスの印象からみられるゼミの様子・雰囲気など、複数の基準を用いてゼミを選択している傾向がみられた。

しかし、一方で本年の特徴としては「2 年次の演習との連続性」と回答する学生の割合が例年と比べ高く、大学で今まで学習してきた内容との連続性といった基準もまた重要なものとなっていることが読み取れた。

【Q43：表 4-17】

同様に、Q40 でゼミに所属していると回答した学生に対して、ゼミ決定の際に、論系プログラムの履修モデルをどの程度活用したかを問う設問である。

例年通り、「あまり活用しなかった」と「まったく活用しなかった」の合計割合（以下、「活用しなかった（計）と表記」）が 51%と高い値を示すこととなった。「履修モデルの存在を知らなかった」と回答した学生の割合は 29%と、昨年のそれが 19%であったことを考えると 10 ポイントも増加がみられた。論系プログラムの履修モデルに関しては一昨年の報告書で広まりつつあるという推測がなされていたが、昨年の報告書ではその広まりがあまり拡大していないのではという報告がなされていた。それに本年の結果を鑑みると、履修モデルの認知度が低下している可能性が指摘できる。

【Q44：表 4-18】

同様に、Q40 でゼミに所属していると回答した学生に対して、ゼミ論文のテーマの決定状況について問う設問である。回答からは学年ごとに例年通りの傾向がみられた。

4 年生においては「具体的なテーマや内容について決まっている」と回答した学生の割合が 46%、「大体のテーマは決めている」のそれが 42%と例年通り、4 年次ではゼミ論文に向けてテーマを具体化してきている姿が見て取れる。

3 年生においては、「大体のテーマは決めている」と回答した学生の割合が 22%、「いくつかのテーマを考えている」のそれが 21%、「テーマについて考えてはいるが、まだ決まっていない」のそれが 33%となり、テーマの絞り込みに向けて徐々に学習を進めている学生が多数派であることがわかる。

【Q45：表 4-19】

同様に、Q40 でゼミに所属していると回答した学生に対して、現在所属しているゼミへの満足度を問う設問である。

全体を見ると、「非常に満足している」と「まあ満足している」の合計割合は 85%となり、昨年と同様の値が示された。また、学年間でも同割合にはおおきな差は見られなかった。

【Q46：自由回答——付録⑥】

ゼミの内容や方法について、意見を自由回答で問う設問である。

合計で 41 件の回答が寄せられた。ゼミ選択に関しては、事前にゼミ見学をしたかったという意見やゼミの選択肢の少なさに関する意見が一定数寄せられている。またゼミ間交流やゼミでの議論の活発化を求める意見も寄せられ、昨年も指摘されていたように、ゼミを学生が自主的に作り上げていこうという積極的な姿勢もみてとることができた。

【Q47：表 4-20】

Q40 で「卒業研究を選択した」と回答した学生に対して、その選択をした理由を選択肢から複数回答で問う設問である。なお、以下本問と問 48 においては母集団が 17 名と少ないことは先に明記しておく。

最も回答割合が高かったのは「卒業研究としてまとめたテーマがあった」の 47%であり、そして「自分の関心にあったゼミがなかった」と「ゼミという制度を好まなかった」が同値で 41%と続いた。昨年と比べると割合の上下は一定程度あるものの、上記した 3 項目が昨年も同様に回答割合が高かったため、卒業研究を選択する大きな要因として上記の 3 つが指摘できよう。

【Q48：表 4-21】

続いて同様に、Q40 で「卒業研究を選択した」と回答した学生に対して、現段階で卒業研究のテーマについてどの程度決めているかを問う設問である。

全体的な傾向は Q44 のゼミ論文に関する同内容の設問と類似することが例年通りの傾向として指摘できる。

【Q49：自由回答——付録⑦】

卒業研究についての自由意見を問う設問であるが、合計回答数は 3 件と少なかった。

そこからは、「卒業研究がどういうものか現時点で不安」という卒業研究に関する情報を求める意見、就職活動開始時期が後ろ倒しとなったため卒業研究の提出時期の変更などフォローアップをしっかりとしてほしいという意見がみられた。特に、昨年も個人で取り組むことによる情報の少なさへの意見が述べられており、この部分の対応が卒業研究を選択した学生に対して求められよう。

第5章 文学部：進級、専門教育

5-1 コースへの進級

【Q50：表 5-1】

回答者のうち文学部1年生に現在、どのコースへの進級を希望しているか問う設問である。例年の調査でこの段階で約9割の学生が進路希望コースを明確化していることが指摘されている。本年も「まだ決めていない」と答えた学生の割合は11%となったが、無回答割合も9%であった。そのため、データからは少なくとも約8割の学生は、調査時点（9月）の段階で進級コースを明確化していることが見て取れる。

各コースに目を向ければ、「日本語日本文学」の希望割合が21%、心理学が11%、演劇・映像が8%と昨年と同様、比較的高い割合を示した。

【Q51：表 5-2】

Q50と同じ回答者に、現在の希望コースが入学時に希望したコースと同じものかそうではないかを問う設問である。「同じ」と回答した学生の割合が65%、「違う」のそれが23%、「入学時には特に決めていなかった」のそれが12%となった。これらの傾向は例年と同様のものである。

【Q52：表 5-3】

続いてQ50と同じ回答者に、進級するコースを決める際に重視したことを選択肢から複数回答で問う設問である。

「自分の関心のあるテーマを学ぶことができるか」を回答した学生の割合は87%と他の選択肢の回答割合と比較しても非常に高い割合となった。そして、「所属教員が充実しているか」と「専門科目が充実しているか」が24%、「就職に有利であるか」と「周りの評判がよいか」が14%で続いた。これらは例年と同様の傾向であり、Q32で文化構想学部1年生を対象とした同内容の質問とも同様の傾向がみられた。

【Q53：表 5-4～表 5-7】

本設問は、回答者のうち文学部2年生に、「基礎講義」、「ブリッジ科目」、「基礎外国語」、「英語」の4つの科目を論系選択の際にどの程度参考にしたのかを問うものである。

「参考になった（計）」の割合が最も高い科目は「ブリッジ科目」（58%）であり、次に「基礎講義」（43%）、「基礎外国語」（34%）、「英語」（19%）と続いた。この「参考になった（計）」の割合における傾向は文化構想学部2年生を対象とした同内容の設問、問33における傾向と同様である。しかし、「ブリッジ科目」と「基礎講義」の「参考になった（計）」の値はそれぞれ文化構想学部のほうが約20ポイントも高い。以上は例年通りの傾向であった。

しかし、本年では、「基礎外国語」の「参考になった（計）」の割合において、例年より、また本年の文化構想学部の割合よりもそれぞれ約10ポイント以上の増加となっている。学

びたい学問と第2外国語の関係性は重要であると考えられるため、基礎外国語を論系選択の際に重要視するという本傾向が来年度以降も継続して見られるかどうか期待される。

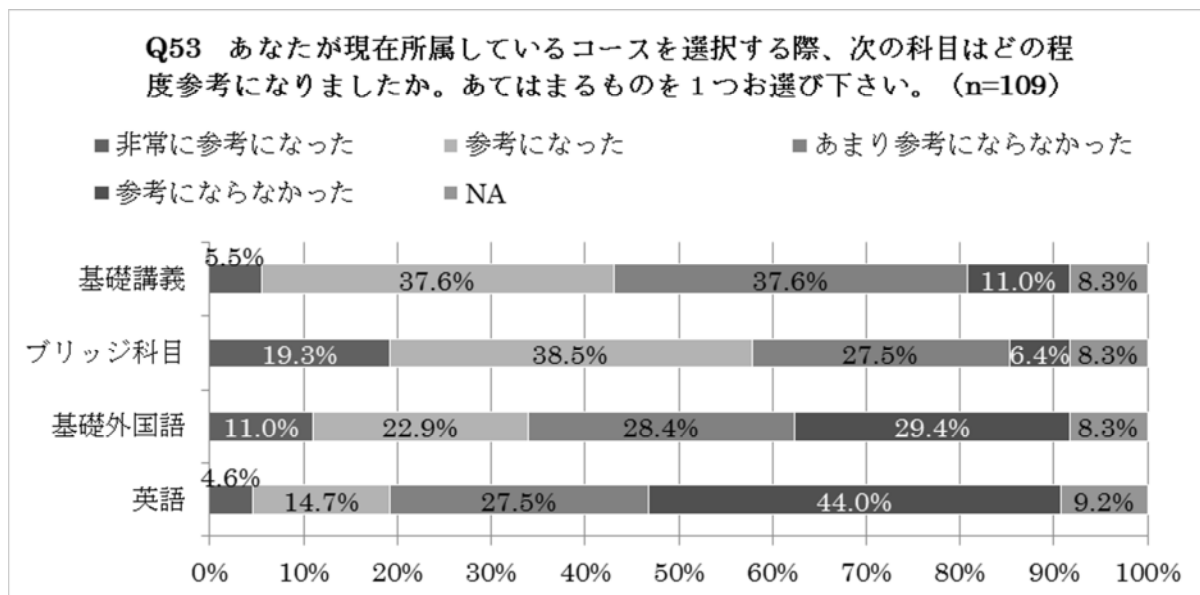


図 11 Q53 所属コース選択時に、参考にした科目の程度

【Q54：表 5-8】

Q53 と同様、回答者のうち文学部2年生に、現在所属しているコースが第一希望のものかそうではないかを問う設問である。

「第一希望のものである」と答えた学生の割合は 89%、「第一希望のものではない」と答えた学生の割合が、4%となった。この傾向は例年を踏襲している。

【Q55：表 5-9】

Q53 と同様、回答者のうち文学部2年生に、現在のコースは、入学時に希望していたコースと同じものか、そうではないかを問う設問である。

「同じ」とした学生の割合は 52%、「違う」とした学生の割合は 20%、そして「入学時には特に決めていなかった」とした学生の割合は 20%であった。

文化構想学部での同内容の質問と比べて、「同じ」が約 15 ポイント高く、「違う」が約 14 ポイント低かった。ここから、文学部の学生は入学時に希望していたコースにそのまま進んでいく傾向が強いことが見て取れる。昨年は同設問において学部間で差は本年よりも見られなかったため、この傾向は本年に特徴的なものであった。

【Q56：表 5-10】

Q53 と同様、回答者のうち文学部2年生に、現在所属しているコースを決める際、どの

ような情報を活用したかを選択肢から複数回答で問う設問である。一番高い割合を示したのが「コースのガイダンス」で 40%、続いて「基礎講義の内容」が 31%であった。そして「コースの HP」が 28%、「コースに所属する学生の話」が 25%、「コースの教員や助手の話」が「24%」と 20%台を示した。

全体の傾向は文化構想学部における同内容の設問、問 36 と同様で例年通りの傾向であった。しかし、文化構想学部の回答割合と比べると、「論系／コースのガイダンス」項目では文学部が 13 ポイント、「基礎講義の内容」項目では文学部が 10 ポイント、「論系／コースの HP」項目では文学部が 20 ポイント、それぞれ低い回答割合を示した。これに関しては、「論系／コースの HP」項目と「論系／コースのガイダンス」項目では同内容の傾向が昨年の報告で指摘されていたが、本年の調査ではそれに「基礎講義の内容」項目が加わった。

【Q57：表 5-11】

Q53 と同様、回答者のうち文学部 2 年生に、現在所属するコースを決める際に重視したことを、選択肢から複数回答で問う設問である。

「自分の関心のあるテーマを学ぶことができる」の回答割合が 87%とほかの選択肢と比べても非常に高い割合を示した。続いて、「所属教員が充実しているか」と、「専門科目が充実しているか」が 24%と 20%台、「就職に有利であるか」と「周りの評判がよいか」が 14%であった。みずからの関心のあるテーマを重視する傾向は例年通りであり、また文化構想学部における同内容の設問、Q37 と同様の傾向でもあった。また、昨年の報告書では、「所属教員の充実」よりも「専門科目の充実」のほうが重視されるという傾向が逆転したと報告されていたが、本年の調査でも昨年と同様の傾向がみられた。

5-2 卒業論文・満足度

【Q58：表 5-12】

回答者のうち、文学部 3・4 年生に調査時点（9 月）での卒業論文のテーマの決定状況について問う設問である。

4 年生では「具体的なテーマと内容は決まっている」の回答割合が 50%、「大体のテーマや方向性は決めている」が 39%であった。また、「いくつかのテーマを考えている」が 2%、「テーマについて考えてはいるが、まだ具体的ではない」が 7%となった。

それに対して、3 年生では具体的なテーマと内容は決まっている」の回答割合が 5%、「大体のテーマや方向性は決めている」が 27%であり、「いくつかのテーマを考えている」が 21%、「テーマについて考えてはいるが、まだ具体的ではない」が 37%となった。

全体的な卒業論文へ向けて具体的なテーマや内容・構成を固めてきている 4 年生とまだテーマを手探りで探している 3 年生という傾向は文化構想学部のゼミ論文における同内容の設問、Q44 と類似する。昨年は、文学部の方が 3 年生の「大体のテーマや方向性は決めている」の割合が高く、4 年生の「具体的なテーマや内容について決まっている」の割合

も高いという結果から、文学部生の方が、早い段階からテーマが定めている傾向があるといえるという指摘がなされたが、今回の調査結果ではそのような値の差は見られなかった。

【Q59：表 5-13～表 5-16】

回答者のうち、文学部の2・3・4年生に所属しているコースについて、「コースの専門科目」、「現在履修している演習」、「コースの規模」、「コース全体」の4項目それぞれの満足度を問う設問である。

全体を見ると、例年通り4項目それぞれについて、「非常に満足している」と「まあ満足している」の合計割合（以下、「満足している（計）」）が8割近い値をとった。また、学年別にみると4項目すべてにおいて、4年生の「満足している（計）」の回答割合が最も高いという傾向も例年通りのものである。

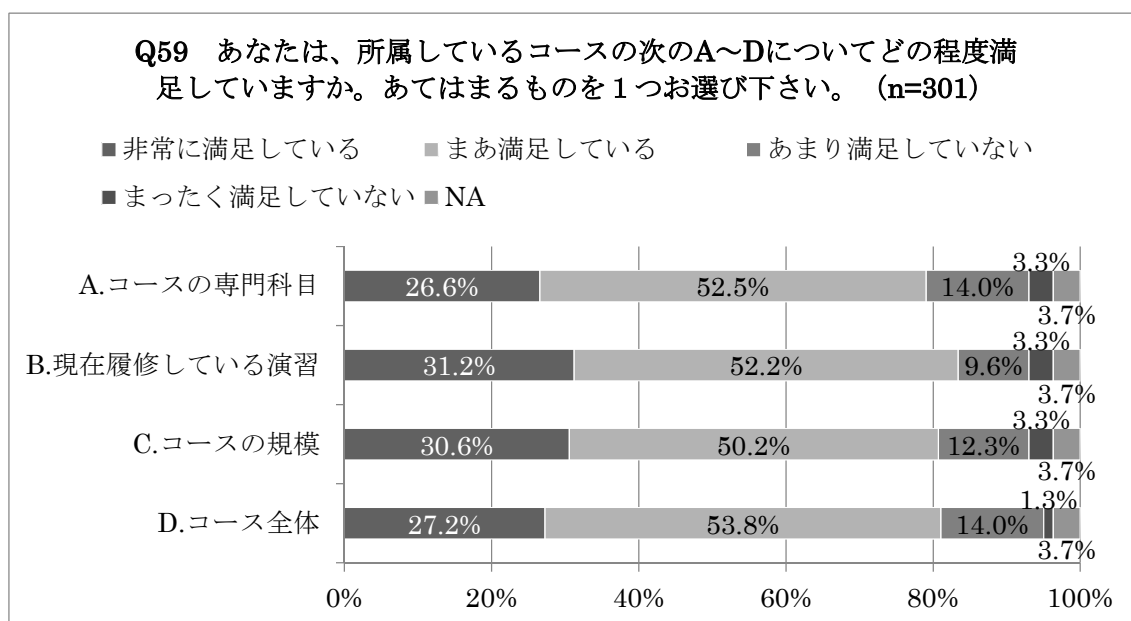


図 12 Q59 所属コースへの満足度

第6章 進路選択：大学受験・就職活動

6-1 大学受験時の進路選択と受験形態

【Q60：表 6-1～表 6-2】

回答者のうち、文化構想学部・文学部1年生に、入学前に「入学説明会」と「オープンキャンパス」にそれぞれ参加していたか、参加していればそれらは進路決定においていかに役に立ったかを問う設問である。

全体の結果としては、本年度入学生の半数以上が「入学説明会」に参加するか、「オープンキャンパス」に参加するかをしていた。また、それぞれ参加した学生の大多数が「役に立った」と「どちらかといえば役に立った」のどちらかを回答していた。

同様の内容に関しては、2012年度の本調査で行われている。その調査では、上記と同様の傾向が見て取れた。他方、「B.オープンキャンパス」については「役に立った（計）」とする学生の割合は文学部の方が文化構想学部よりも10ポイントほど高いという傾向があったと報告されているが、今回の調査ではそのような傾向は見られなかった。

また、今回の調査の特徴として、「入学説明会」の方が「オープンキャンパス」よりも参加者の割合が約12ポイント高かった点が挙げられる。

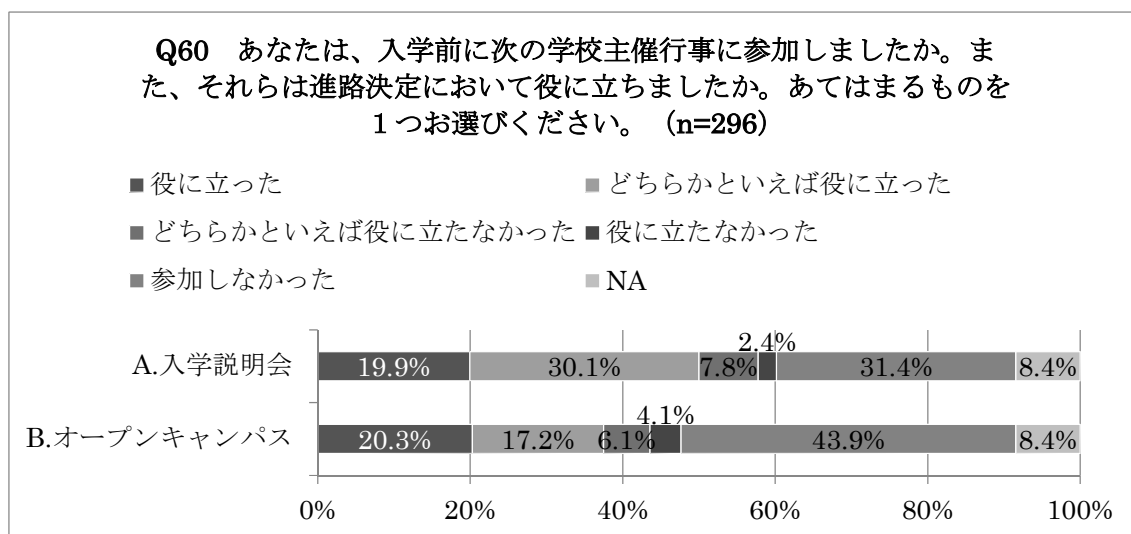


図13 Q60 入学前の当該学校主催行事への参加状況と、それが役に立った程度

【Q61：表 6-3】

Q60と同様、文化構想学部・文学部1年生に現在の所属学部の志望順番を問う設問である。

文化構想学部では「第一志望」の学生の割合が52%、「第二志望」のそれが24%であり、文学部では「第一志望」が60%、「第二志望」が19%であった。「第三志望」まで加えると、文化構想学部・文学部ともに8割以上の学生が該当する。ただし、2012年度の調査では、

それぞれの学部で「第二志望」までで、8割以上の学生が該当していたことを鑑みると、両学部に対する志望順位への微細な変化が見て取れる。

【Q62：表 6-4】

Q60 と同様、文化構想学部・文学部 1 年生に、所属学部に入學した際の入試形態を問う設問である。

全体でみると、「一般入試」が 65%、「指定校推薦入試」が 19%、「附属・系属からの推薦」が 4%であった。学部別にみると、「一般入試」の割合では文学部が文化構想学部よりも約 10 ポイント高く、「指定校推薦入試」の割合では文化構想学部が文学部よりも 5 ポイント高くなった。また、「附属・系属からの推薦」でも文化構想学部が文学部よりも 3 ポイント高くなった。

また、その他の入試形態（計 10 名）の内訳は「一般入試・センター併用型」（4 名）、「帰国生入試」（4 名）、「外国人入試」（2 名）であった。

6-2 卒業後の進路

【Q63：表 6-5】

回答者のうち、文化構想学部・文学部 1・2・3 年生に、調査時点（9 月）で学部卒業後の進路についてどのような希望を持っているか、選択肢のうちあてはまるものを複数回答で問う設問である。

全体を見ると、「民間企業に就職する」の回答割合が 65%と高く、次に「公務員として働く」が 27%、そして「大学院に進学する」が 16%となった。

学年別にみると、それぞれの学部で学年が上がるごとに民間企業への就職希望者の割合が増加する傾向があることが見て取れる。これは、2012 年の調査報告で指摘された、文化構想学部では学年が上がるにつれて「民間企業への就職」を希望の割合は増えていくが、反対に文学部では学年が上がるにつれて割合は下がっていくという特徴には当てはまらず、文学部の学生において民間就職への意識が高まっていくという新たな特徴が表れてきた可能性が指摘できる。また、「教師、弁護士などの専門職につく」項目では、1 年次には文化構想学部・文学部ともに高い割合なものの、2 年次・3 年次ではそれよりも低い割合を示している。

また、学部全体別では、「民間企業に就職する」項目において、文学部の学生割合が 57%であるのに対して、文化構想学部では 71%と 14 ポイントの開き、「公務員として働く」項目では文学部の学生割合が 31%であるのに対して文化構想学部では 24%と 7 ポイントの開き、そして、「大学院に進学する」項目では文学部の学生割合が 22%であるのに対して、文化構想学部では 12%と 10 ポイント開きが見られた。

自由回答においては、具体的な職業内容や自ら起業するなどの回答が寄せられた。

【Q64：表 6-6】

回答者のうち、文化構想学部・文学部 4 年生に対して、来年 4 月からの希望進路について調査時点（9 月）であてはまるものを、選択肢より複数回答で問う設問である。

全体では、「民間企業に就職する」ことを希望する学生の割合が 70%と最も高く、そして「公務員として働く」が 12%、「大学院に進学する」が 11%と続く。

前問と比べると、民間就職への志望傾向が高いことは変わらず、他方で公務員就職の志望割合は、全体で約 15 ポイント低い。

学部別に比べると、文化構想学部は「民間企業に就職する」項目で文学部よりも割合が高く、他方文学部は、「公務員として働く」、「大学院に進学する」項目で文化構想学部よりも比較的高い値を示した。

またその他（3 件）では、留年予定という声が寄せられた。

【Q65：表 6-7】

Q64 と同様に、回答者のうち、文化構想学部・文学部 4 年生に対して調査時点（9 月）で就職予定先が決定しているかを問う設問である。

「就職予定先が決まっている」と回答した学生の割合は 76 %であり、「就職予定先が決まっていない」とした学生の割合は 24%であった。これは 2012 年の調査とそれぞれほぼ類似した値である。

【Q66：表 6-8】

Q65 で「就職予定先が決まっている」と回答した学生に対して、就職予定先の業種を問う設問である。

全体で比較的割合の高いものから順に、「金融・保険業」（21%）、「マスコミ」（14%）、「製造業」（11%）、「情報、通信業」（10%）となった。

学部別では、文化構想学部・文学部ともに「金融・保険業」が同値 21.4%で最も高い割合を示した。2012 年の調査では、母集団が少ないと留保がなされていたが、上位 2 種が「製造業」と「情報、通信業」であったことと比べると、就職先の傾向に変化が見て取れる。

その他の具体記述（計 17 件）では、公務員や商社などの職業が述べられた。

【Q67：表 6-9】

Q65 で「就職予定先が決まっている」と回答した学生に対して、就職予定先の志望状況について問う設問である。

全体として、「就職活動途中からの志望企業である」の回答割合が 44%と最も高く、次に「就職活動当初からの志望企業である」が 37%となる。就職活動当初からの志望を貫いた学生が 3 人に 1 人の割合でおり、また就職活動途中からの志望企業に内定した学生も 4 割いた。すなわち、いずれにせよ「志望企業」に内定を取ることができた学生は全体の 8 割

に及んだ。

学部別にみると、「志望企業ではないが、就職活動当初からの志望業種である」項目では、文化構想学部の学生割合が 14%であるのに対して、文学部の学生割合が 7%と差が見られた。

2012 年の調査との比較からみると、2012 年は「就職活動途中からの志望企業である」が 32%、「志望企業ではないが、就職活動当初からの志望業種である」が 22%であったのに対して、本年度の調査では前者では約 10 ポイントの増加、後者では約 10 ポイントの減少がみられた。ここからは 2012 年と比較して、志望業種よりも「志望企業」に内定する学生が多くなったことが指摘できる。

【Q68 : 表 6-10】

Q65 で「就職予定先が決まっている」と回答した学生に対して、その仕事をどの程度続けたいと考えているかを問う設問である。

全体をみると、「一度就職したら定年退職するまで同じ会社や組織で働く」という回答の割合が 48%と最も高く、そして「詳しく考えていない」が 18%、「同じ業種の違う会社や組織に転職する」が 11%と続く。

学部別では大きな差が見られないが、全体割合を 2012 年の調査と比較すると、「一度就職したら定年退職するまで同じ会社や組織で働く」の割合が 7 ポイント増加し、一方で「詳しく考えていない」が 10 ポイント減少した。ここからは、就職先におけるライフプランを考えないままにいる学生が減ったこと。また、同じ職場で働き続ける志向が強まったことが指摘できる。ただし両者の因果関係はここではわからない。

【Q69 : 表 6-11】

回答者のうち、大学院進学希望者全員に、どこの大学院への進学を希望しているのかを複数回答で問う設問である。

全体を見ると、「早稲田大学文学研究科」への進学希望割合は 67%となり、そして「国内の他大学大学院」が 50%、「文学研究科以外の早稲田大学の大学院」と「海外の他大学大学院」が 19%で続いた。

学部別にみると、「文学研究科以外の早稲田大学の大学院」項目において文化構想学部（25%）と文学部（15%）の間で、10 ポイントの差がみられた。

【Q70 : 表 6-12】

Q69 で「早稲田大学文学研究科」以外を選択した学生に、その理由を選択肢より複数回答で問う設問である。

全体では、「専門領域（指導教員）が合致するから」が 49%と抜きんでて割合が高く、「学費が安い（奨学金が充実している）から」が 30%、「以前から行きたい大学院だから」が

25%、「研究に集中できる環境があるから」が 24%となった。

その他の自由回答（11 件）には、志望教員が退職するためという理由や専修教員免許、臨床心理士などの資格取得のためという理由などが記述された。

【Q71：表 6-13】

回答者のうち、文化構想学部・文学部 2 年生・3 年生・4 年生に対して、現在の論系・コースの教育内容がどの程度卒業後の進路に関係しているかを問う設問である。

全体では、「非常に関係がある」と「ある程度関係がある」の割合合計（以下、「関係がある（計）」と表記）は 44%であった。また、「関係がある（計）」の割合は学年が上がるほど低くなる傾向にあることが見て取れた。学部間での大きな差はみられなかった。

【Q72：表 6-14】

Q71 と同様、回答者のうち、文化構想学部・文学部 2 年生・3 年生・4 年生に対して現在の論系・コースで学んだことを将来の仕事にどの程度活かしたいかを設問である。

全体をみると、「大いに活かしたい」と「できれば活かしたい」の合計割合（以下、「活かしたい（計）」と表記）は 76%と高い値を示した。

学部別では大きな差が認められないが、学年別にみると文化構想学部・文学部ともに 3 年生で一度落ち込んだ「活かしたい（計）」の割合が、4 年生になるともう一度上昇するという傾向が見て取れた。

【Q73：表 6-15～表 6-20】

回答者全体に、卒業後の進路を考えたときに、「所属学部での講義」、「所属学部での演習」、「他学部の授業」、「キャリアセンター主催のイベント」、「学外でのイベント」、「サークル活動」、以上 6 つの講義やプログラムはどの程度役立っていると感じるかを問う設問である。

全体でみると、「役に立っている（計）」の割合が最も高いのは、「サークル活動」（57%）であり、次に「所属学部での講義」（56%）、「所属学部での演習」（55%）、「他学部の授業」（47%）となった。2012 年の調査と比べると、2012 年では「役に立っている（計）」の割合の高い順に「所属学部の講義」（58%）、「所属学部での演習」（56%）、「サークル活動」（51%）であったが、本年の調査では「サークル活動」が「役に立っている」と感じる学生の割合が最も多いという傾向がみられた。

また、「キャリアセンター主催のイベント」はそもそも「参加しなかった」学生の割合が 66%と高かった。しかし、参加した学生のうち、6 割以上の学生が「役立っている（計）」と回答し、肯定的な意見を寄せた。本項目の 2012 年調査との比較では、2012 年では「参加しなかった」学生の割合は 59%と本年よりも 7 ポイント低かったが、参加した学生の「役立っている（計）」の割合は 5 割を切っていた。同割合が本年では 6 割を超えていることを見ると、参加者には「キャリアセンター主催のイベント」の有用性が 2012 年と比べて認識

されているといえよう。

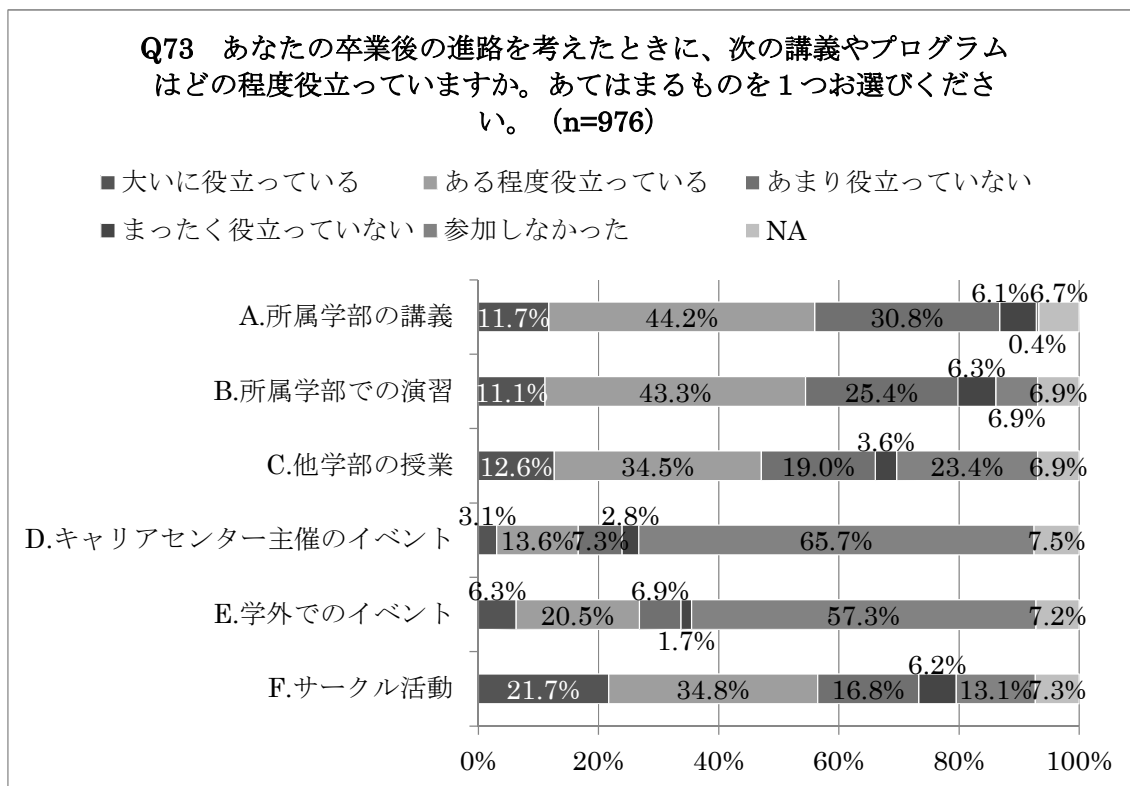


図 14 Q73 卒業後の進路に当該講義やプログラムが役立つと思う程度

【Q74：表 6-21】

Q73 と同様、回答者全体に卒業後の進路のためにしている（していた）ことは何があるかを選択肢より複数回答で問う設問である。

全体では、「大学で希望する進路に関連のある授業を履修している（した）」と回答した学生の割合が 35%と比較的高く、そして「クラブやサークルの先輩または OB・OG に仕事に関する話を聞いている（いた）」が 30%、「語学検定試験や資格試験を受けている（受けた）」が 23%となった。このように身近なところから徐々に進路に結びつく行動を起こしていくという傾向は 2012 年の調査と同様の傾向であった。

また、学年別にみると変化が大きい項目として両学部共に 3・4 年生になると「インターンシップに参加している（した）」項目の割合が増加し、両学部 4 年生になると「キャリアセンターに行って相談を受けている（受けた）」項目の割合が増加した。以上の傾向も 2012 年の調査と同様のものであった。

その他の具体記述（計 20 件）では、ボランティア・NPO 活動への参加や学外の様々な方々にお話を聞いたなどの記述がみられた。

【Q75：表 6-22】

Q73 と同様、回答者全体に、大学卒業までに取得する予定の資格を複数回答で問う設問である。

全体としては、回答割合の高い順に「教員免許（高校）」（14%）、「教員免許（中学校）」（11%）、「学芸員」（9%）となった。学年別では、「教員免許（高校）」・「教員免許（中学校）」ともに文学部のほうが文化構想学部よりも 10 ポイント高い値を示した。

また、「特になにも予定していない」という回答割合も全体で 56%にのぼった。2012 年の調査でも指摘されていたが、全体的にみると、文化構想学部よりも文学部の学生の方が何らかの資格を取得予定である傾向が強く、これは「学芸員」や「社会調査士」、「考古調査士」など、コースと関連した資格が複数あるからだと考えられるという傾向は本年も同様であった。しかし、そのような傾向の中でも、「学芸員」・「図書館司書」の資格取得予定割合に学部間の差があまり見られないことと、社会福祉受験資格の取得割合が文学部において全学年 0%であったことは本年の特徴といえよう。

その他への具体回答（計 37 件）には多種多様な資格が明記された。中でも多かったのは、自動車普通免許（4 名）、簿記（3 名）、社会福祉主事（3 名）、司書教諭（3 名）であった。

6-3 仕事観・キャリアビジョン

【Q76：表 6-23～表 6-27】

回答者全体に対して、仕事に対してどのようなことを望むか、「A.チームで仕事をして成果を分かち合う／B.個人の努力が成果に結びつく」、「A.あらかじめ決められたことを形にする／B.新しい商品やサービスを生み出す」、「A.年齢や経験を重視した給与／B.個人の業績や能力が大きく影響する給与」、「A.残業が多くてもキャリアアップできる／B.残業が少なく自分の時間がもてる」、「A.一つの仕事で専門家になること／B.いろいろな仕事を幅広く経験できること」それぞれの項目に対して、現在の考えに最も近いものを「A に近い」、「やや A に近い」、「やや B に近い」、「B に近い」の、以上 4 選択肢より回答する設問である。

まず「A.チームで仕事をして成果を分かち合う／B.個人の努力が成果に結びつく」という、仕事において集団を重視するか、個人を重視するかを問う項目では、全体を見ると、「A に近い」と「やや A に近い」の合計（以下、「A に近い（計）」と表記）が 44%であり、「やや B に近い」と「B に近い」の合計（以下、「B に近い（計）」と表記）が 49%と、やや個人主義の割合が高かった。学部学年別にみると「B に近い（計）」の割合が特に高かったのは、文化構想学部 1 年生（53%）、文学部の 1 年生（59%）、2 年生（56%）であった。他方で文化構想学部 4 年生では、「A に近い（計）」の割合が 55%、文学部 4 年生では同割合が 67%となり、4 年生においては全体と反対の集団主義傾向が示された。

次に「A.あらかじめ決められたことを形にする／B.新しい商品やサービスを生み出す」という、計画を踏襲していくか創造性を追求するかを問う項目では、全体で「B に近い（計）」

の割合が 52%と高くなった。学部学年別では、ほとんどの学部学年が同傾向であるが、唯一、文学部 3 年生が「A に近い (計)」と「B に近い (計)」がともに 49%であった。

そして、「A.年齢や経験を重視した給与/B.個人の業績や能力が大きく影響する給与」という、給与に関して年功序列を望むか、業績主義を望むかという項目では、全体において「B に近い (計)」の割合が 57%と高くなった。こちらは学部学年別で、すべての学部学年が同傾向を見せた。特に「B に近い (計)」の値が、文化構想学部 1 年生では 65%、文学部の 1 年生が 64%と高くなった。

さらに、「A.残業が多くてもキャリアアップできる/B.残業が少なく自分の時間がもてる」という生活において、仕事を重視するか余暇を重視するかといった項目に関して、全体では「B に近い (計)」の値が 73%とはかの項目と比べても非常に高い値を示した。すべての学部学年で同傾向であるが、特に文化構想学部・文学部 3 年生に関して「B に近い (計)」の回答割合がそれぞれ 83%と 81%と高かった。

最後に「A.一つの仕事で専門家になること/B.いろいろな仕事を幅広く経験できること」というスペシャリスト志向かジェネラリスト志向かという項目に関して、全体では「A に近い (計)」の割合が 50%と高くなった。学部学年別にみると、文学部ではすべての学年において「A に近い (計)」の割合が高かったが、文化構想学部では 2 年生のみが同様の傾向であり、それ以外の 1 年生、3 年生、4 年生は「B に近い (計)」の割合が高くなった。

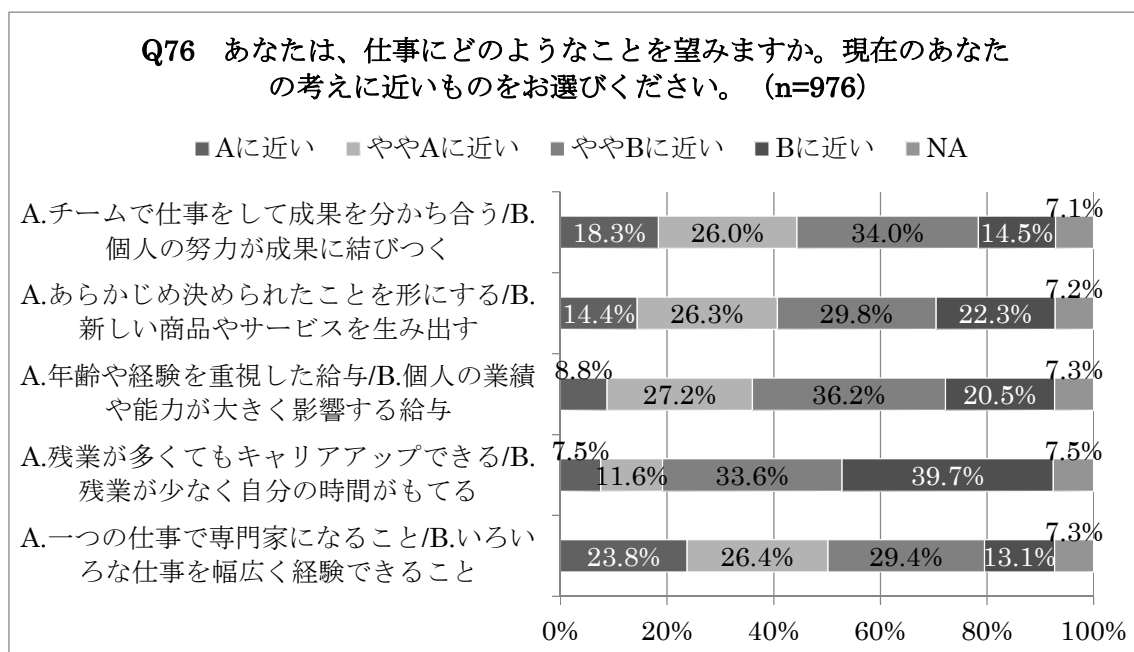


図 15 Q76 仕事においてそれぞれの項目に望むこと

【Q77：表 6-28、参考表 6-1】

回答者全体に対して、子どもが小さいときに共働きをするつもりがあるか、そもそも結婚や子どもを持つつもりがあるかどうかを問う設問である。

全体では、「共働きをするつもり」が 43%、「共働きをするつもりはない」が 21%の割合を示した。対し、「考えたことはない」する割合も 18%となり 5 人に 1 人の学生は当該の事例について考えてきていないことがわかった。これらの傾向は 2012 年度の調査と同様であった。

また、この事例について、男女別にみたところ、「共働きをするつもり」であるとする項目で女性における回答割合が 49%と高く、男性においては 34%となった。また「考えたことはない」とする割合は男性が 28%であるのに対して、女性が 13%となり、女性は何らかの形で子供ができたときのライフプランを考えている傾向があることが見て取れた。これらの傾向も 2012 年度の調査で指摘されていたことであった。

【Q78：表 6-29】

回答者全体に対し、卒業後の進路において、自らが早稲田大学卒業であることはどの程度有利にはたらくと考えているかを問う設問である。

全体を見てみると、「非常に有利である」と回答した学生の割合が 19%、「ある程度有利である」と回答した学生の合計割合（以下、「有利になる（計）」と表記）が 59%となり、合計で 78%もの学生が進路において早稲田大学卒であることが「有利になる」と考えていた。また学部学年別では大きな差が見られなかった。

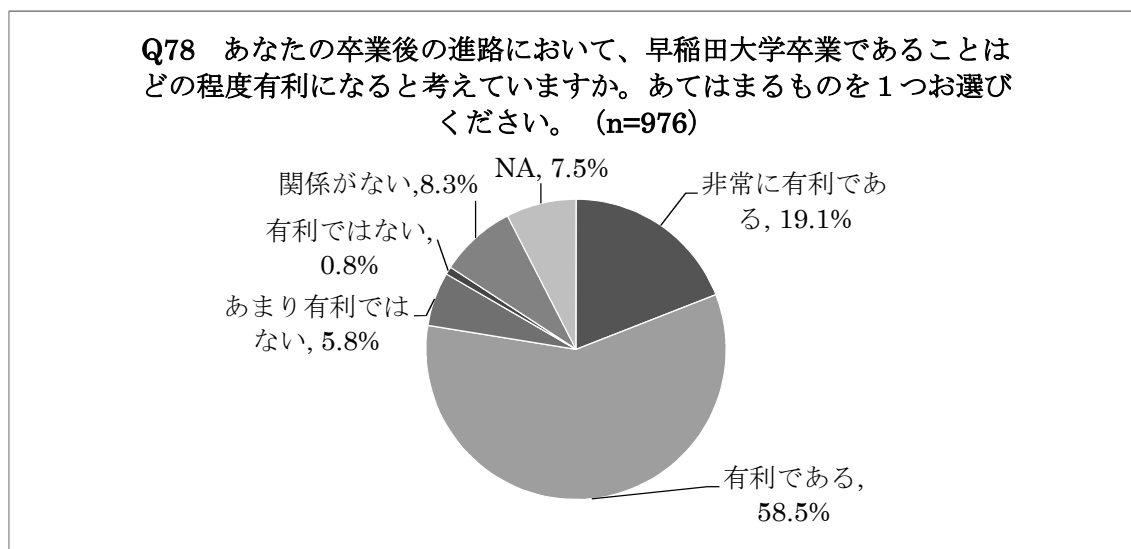


図 16 Q78 卒業後の進路に対し、早稲田大学卒業であることはどの程度有利にはたらくと考えるか

【Q79：表 6-30】

回答者全体に対し、自らが文化構想学部卒業または文学部卒業であることが、卒業後の進路にどの程度有利にはたらくと考えているかを問う設問である。

全体を見ると、「自らが文化構想学部卒業または文学部卒業であること」が「非常に有利である」と回答した学生の割合が 5 %、「ある程度有利である」と回答した学生の割合が 24% となり「有利にはたらく（計）」と考えている学生の割合は 29%にとどまった。これは Q78 と対照的であり、2012 年度の調査でも同様の傾向が指摘されていた。

また、同調査では文化構想学部・文学部ともに 4 年生において「有利になる（計）」の割合が一番低くなることが指摘されていたが、本調査では両学部 3 年生において同割合が一番低くなったことが特徴としてみられた。

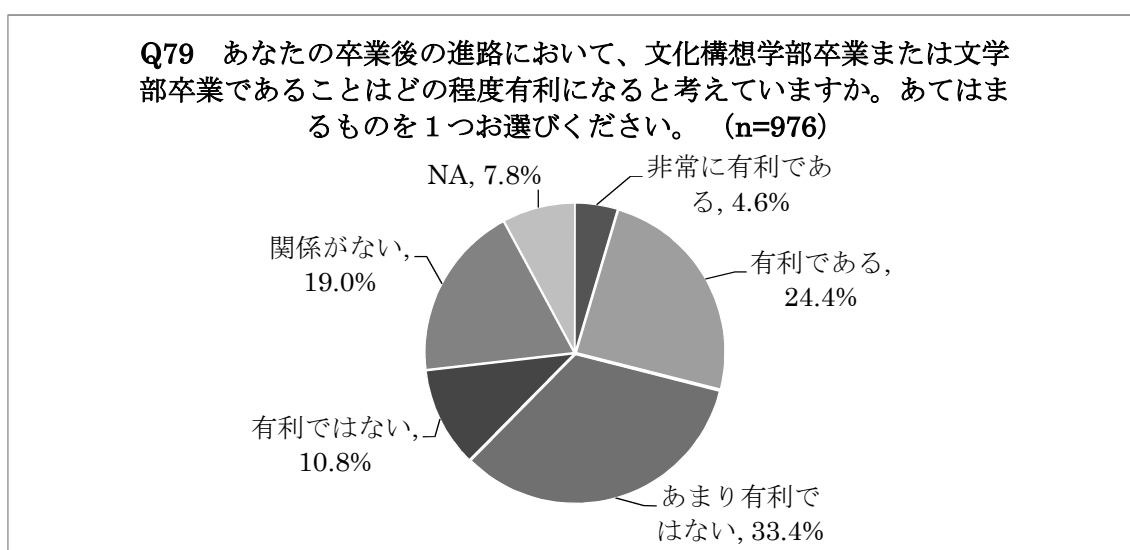


図 17 Q79 出身学部が卒業後の進路にどの程度有利にはたらくと考えるか

【Q80：自由回答——付録⑧】

卒業後の進路について不安に感じていることや、その他意見を自由回答で問う設問である。

合計で 210 件の回答が寄せられた。回答の内容は、①進路選択について、②就職について、③進学について、④大学への意見、⑤進路と学歴について、以上 5 つに大別される。

まず、①については、今自分が何を将来したいのかわからない、いまだに漠然としているといった意見が非常に多く寄せられた。また、いわゆる「実学」を大学生活で学んでいないことから生じる不安の声や本当に職に就けるのかといった根源的な不安の声がきかれた。

続いて②については、志望先の募集人数の少なさ・倍率の高さに関する意見がみられた。また、就職活動それ自体が不安であり、憂鬱であるという意見、内定がまだ決まらないという意見も多く寄せられた。加えて、就職活動の開始時期が近年不安定であることに対す

る不安の声が非常に多く聞かれたことも特徴的である。また、就職後に関しては社会生活への不安、職場での人間関係への不安、奨学金返済への不安などの声がきかれた。

そして③について、研究職を選択することによる将来性への不安の声が最も多く寄せられた。また、大学院進学を希望していたが、本当に進学すべきなのかどうか、進学できるのかについて不安であるという意見も一定数存在していた。

また④については、キャリアセンターへの要望が多く寄せられた。特に多かったのは進路についての相談の場を多く設けてほしいという声であった。また、昨今の文系学部軽視「問題」を引き合いに出し、就職活動における所属学部の有利不利を問うた設問や大学の学習内容と卒業後の仕事を結び付けた設問を設けたことに対して、当局に失望したという意見も数件見られた。

最後、⑤に関して、文化構想学部・文学部ともに自らの所属学部と結びついた就職への不安の声が多くみられた。2012年度の調査では、文学部の場合「文学部は不利」という一般的な言説に対してその真偽や実際の状況への打開策を模索する声を中心であった。一方文化構想学部の場合、独特の名称を持つ学部であるため知名度もまだ高くはなく、周囲にイメージを伝えにくいため、就職の際に不利になるのではないかという不安が表明されていた。そのように所属学部による就職への不安には、学部間での差異が報告されていた。本年も同様の差異が見受けられ、文化構想学部の学生が抱く自学部の知名度やイメージ伝達の困難さへの不安が本年でもまだ存在していることがわかった。

以上、学生が進路に対して抱くさまざまな不安の形態を見てきたが、中には「やりたいことがいくつも見つかったので、その点では文化構想学部で在籍できていることは可能性がいくつも生まれるので有意義であると思う」など、進路に対して肯定的な意見も少数ではあるが見受けられた。

2015 年度 学生実態調査 図表一覧

第 2 章 学習活動.....	2
2-1 授業への取り組み方.....	2
第 3 章 基礎教育・外国語教育.....	5
3-1 基礎講義（1・2 年生対象）.....	5
3-2 必修基礎演習（1・2 年生対象）.....	5
3-3 英語（1・2 年生対象）.....	7
3-4 基礎外国語（1・2 年生対象）.....	9
3-5 選択外国語（3・4 年生対象）.....	12
3-6 開講科目.....	13
第 4 章 文化構想学部：進級、専門教育.....	15
4-1 論系への進級.....	15
4-2 専門教育.....	18
第 5 章 文学部：進級、専門教育.....	21
5-1 コースへの進級.....	21
5-2 卒業論文・満足度.....	24
第 6 章 キャンパスでの生活：入学前の状態・将来の進路に関して.....	26
6-1 入学前の状態.....	26
6-2 将来の進路.....	27
6-3 将来の進路と学業との関係.....	30
6-4 現在の仕事観.....	34

第2章 学習活動

2-1 授業への取り組み方

Q6 今年度の春学期、あなたはどのように授業に取り組んでいましたか。次のA～Gの項目それぞれについて、あてはまるものを1つお選び下さい。

表2-1 授業への取り組み方：A. 無遅刻・無欠席を目指している

		A. 無遅刻・無欠席を目指していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※	全体	976	42.4%	32.4%	16.4%	7.8%	0.9%	74.8%	24.3%
文化構想学部	計	543	41.1%	33.9%	16.6%	8.3%	0.2%	75.0%	24.9%
	1年	164	56.1%	28.7%	12.8%	2.4%	0.0%	84.8%	15.2%
	2年	139	44.6%	35.3%	10.8%	9.4%	0.0%	79.9%	20.1%
	3年	128	27.3%	40.6%	20.3%	10.9%	0.8%	68.0%	31.3%
	4年	112	30.4%	32.1%	25.0%	12.5%	0.0%	62.5%	37.5%
文学部	計	433	44.5%	30.9%	16.4%	7.4%	0.9%	75.3%	23.7%
	1年	132	51.5%	25.8%	16.7%	4.5%	1.5%	77.3%	21.2%
	2年	109	47.7%	26.6%	15.6%	9.2%	0.9%	74.3%	24.8%
	3年	101	47.5%	34.7%	11.9%	5.9%	0.0%	82.2%	17.8%
	4年	91	27.5%	39.6%	22.0%	11.0%	0.0%	67.0%	33.0%

表2-2 授業への取り組み方：B. よい成績を目指している

		B. 良い成績を目指していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※	全体	976	45.7%	36.0%	13.5%	3.8%	1.1%	81.7%	17.2%
文化構想学部	計	543	45.9%	36.5%	13.4%	4.1%	0.2%	82.3%	17.5%
	1年	164	50.6%	38.4%	10.4%	0.6%	0.0%	89.0%	11.0%
	2年	139	52.5%	33.8%	8.6%	5.0%	0.0%	86.3%	13.7%
	3年	128	39.1%	39.1%	14.8%	6.3%	0.8%	78.1%	21.1%
	4年	112	38.4%	33.9%	22.3%	5.4%	0.0%	72.3%	27.7%
文学部	計	433	45.9%	35.7%	13.6%	3.5%	1.4%	81.6%	17.1%
	1年	132	45.5%	37.9%	13.6%	1.5%	1.5%	83.3%	15.2%
	2年	109	55.0%	28.4%	11.0%	3.7%	1.8%	83.5%	14.7%
	3年	101	42.6%	45.5%	8.9%	2.0%	1.0%	88.1%	10.9%
	4年	91	39.6%	30.8%	22.0%	7.7%	0.0%	70.3%	29.7%

表2-3 授業への取り組み方：C. 授業内容について教員に積極的に質問している

		C. 授業内容について、教員に積極的に質問していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※	全体	976	8.5%	26.7%	40.9%	22.3%	1.6%	35.2%	63.2%
文化構想学部	計	543	7.6%	25.4%	43.8%	21.9%	1.3%	33.0%	65.7%
	1年	164	6.1%	26.2%	48.8%	18.9%	0.0%	32.3%	67.7%
	2年	139	2.9%	21.6%	51.8%	22.3%	1.4%	24.5%	74.1%
	3年	128	7.0%	23.4%	35.9%	31.3%	2.3%	30.5%	67.2%
	4年	112	16.1%	31.3%	35.7%	15.2%	1.8%	47.3%	50.9%
文学部	計	433	9.7%	28.6%	37.6%	23.0%	1.2%	38.2%	60.6%
	1年	132	3.8%	30.3%	44.7%	19.7%	1.5%	34.1%	64.4%
	2年	109	10.1%	30.3%	33.9%	24.8%	0.9%	40.4%	58.7%
	3年	101	7.9%	20.8%	42.6%	27.7%	1.0%	28.7%	70.3%
	4年	91	19.8%	33.0%	26.4%	20.9%	0.0%	52.7%	47.3%

表 2-4 授業への取り組み方：D. 授業で出された課題をきちんと提出している

		D. 授業で出された課題をきちんと提出していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※	全体	976	67.5%	24.1%	4.7%	2.0%	1.7%	91.5%	6.7%
文化構想学部	計	543	67.6%	24.3%	4.4%	2.4%	1.3%	91.9%	6.8%
	1年	164	73.2%	23.2%	2.4%	0.6%	0.6%	96.3%	3.0%
	2年	139	71.9%	18.7%	4.3%	3.6%	1.4%	90.6%	7.9%
	3年	128	62.5%	25.8%	5.5%	3.9%	2.3%	88.3%	9.4%
	4年	112	59.8%	31.3%	6.3%	1.8%	0.9%	91.1%	8.0%
文学部	計	433	68.0%	24.0%	5.1%	1.6%	1.4%	91.9%	6.7%
	1年	132	66.7%	23.5%	7.6%	0.8%	1.5%	90.2%	8.3%
	2年	109	67.0%	27.5%	2.8%	1.8%	0.9%	94.5%	4.6%
	3年	101	75.2%	19.8%	3.0%	0.0%	2.0%	95.0%	3.0%
	4年	91	63.7%	25.3%	6.6%	4.4%	0.0%	89.0%	11.0%

表 2-5 授業への取り組み方：E. 授業中のグループワークやディスカッションに積極的に参加している

		E. 授業中のグループワークやディスカッションに積極的に参加していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※	全体	976	32.9%	44.6%	16.6%	3.9%	1.9%	77.6%	20.5%
文化構想学部	計	543	34.8%	45.3%	15.5%	2.8%	1.7%	80.1%	18.2%
	1年	164	29.9%	53.7%	14.0%	1.2%	1.2%	83.5%	15.2%
	2年	139	33.1%	46.0%	18.0%	2.2%	0.7%	79.1%	20.1%
	3年	128	35.9%	41.4%	15.6%	4.7%	2.3%	77.3%	20.3%
	4年	112	42.9%	36.6%	14.3%	3.6%	2.7%	79.5%	17.9%
文学部	計	433	30.9%	44.2%	18.2%	5.3%	1.4%	75.1%	23.5%
	1年	132	25.8%	50.0%	18.2%	4.5%	1.5%	75.8%	22.7%
	2年	109	29.4%	48.6%	15.6%	4.6%	1.8%	78.0%	20.2%
	3年	101	35.6%	33.7%	22.8%	6.9%	1.0%	69.3%	29.7%
	4年	91	35.2%	42.9%	16.5%	5.5%	0.0%	78.0%	22.0%

表 2-6 授業への取り組み方：F. 必要な予習や復習をした上で授業に参加している

		F. 必要な予習や復習をした上で授業に参加していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※	全体	976	16.8%	41.5%	28.4%	10.7%	2.5%	58.3%	39.1%
文化構想学部	計	543	16.2%	42.4%	28.2%	11.2%	2.0%	58.6%	39.4%
	1年	164	22.6%	42.1%	29.3%	4.9%	1.2%	64.6%	34.1%
	2年	139	13.7%	48.9%	24.5%	11.5%	1.4%	62.6%	36.0%
	3年	128	12.5%	38.3%	28.9%	17.2%	3.1%	50.8%	46.1%
	4年	112	14.3%	39.3%	30.4%	13.4%	2.7%	53.6%	43.8%
文学部	計	433	17.7%	40.8%	29.0%	10.1%	2.3%	58.5%	39.2%
	1年	132	17.4%	41.7%	34.1%	5.3%	1.5%	59.1%	39.4%
	2年	109	19.3%	44.0%	24.8%	9.2%	2.8%	63.3%	33.9%
	3年	101	16.8%	40.6%	25.7%	13.9%	3.0%	57.4%	39.6%
	4年	91	17.6%	36.3%	30.8%	14.3%	1.1%	53.8%	45.1%

表 2-7 授業への取り組み方：G. 授業を他の活動より優先している

		G. 授業を他の活動より優先していた						*	
		n	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
※ 文化構想学部	全体	976	30.4%	33.4%	22.7%	10.9%	2.5%	63.8%	33.6%
	計	543	28.9%	34.3%	23.9%	10.9%	2.0%	63.2%	34.8%
	1年	164	31.7%	37.8%	22.6%	6.1%	1.8%	69.5%	28.7%
	2年	139	33.1%	38.8%	19.4%	7.9%	0.7%	71.9%	27.3%
	3年	128	28.1%	34.4%	21.9%	12.5%	3.1%	62.5%	34.4%
文学部	4年	112	20.5%	23.2%	33.9%	19.6%	2.7%	43.8%	53.6%
	計	433	32.5%	32.7%	21.4%	11.1%	2.3%	65.2%	32.5%
	1年	132	37.9%	33.3%	18.2%	8.3%	2.3%	71.2%	26.5%
	2年	109	36.7%	29.4%	21.1%	10.1%	2.8%	66.1%	31.2%
	3年	101	34.7%	35.6%	20.8%	6.9%	2.0%	70.3%	27.7%
	4年	91	17.6%	33.0%	27.5%	20.9%	1.1%	50.5%	48.4%

第3章 基礎教育・外国語教育

3-1 基礎講義（1・2年生対象）

Q7 あなたは、基礎講義（オンデマンド）の視聴によって、各論系・コースの内容をどの程度理解できました（できています）か。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-1 基礎講義（オンデマンド）の視聴による理解

		各論系・コースの内容の理解						*	
		n	十分に理解 できた（で きている）	ある程度理 解できた （できてい る）	あまり理解 できなかった （できて ない）	まったく理 解できな かった（で きてない）	NA	あてはまる （計）	あてはまら ない（計）
※	全体	544	14.9%	64.0%	16.4%	2.2%	2.6%	78.9%	18.6%
文化構想学部	計	303	13.5%	66.3%	17.2%	0.7%	2.3%	79.9%	17.8%
	1年	164	14.0%	65.9%	16.5%	0.6%	3.0%	79.9%	17.1%
	2年	139	12.9%	66.9%	18.0%	0.7%	1.4%	79.9%	18.7%
文学部	計	241	16.6%	61.0%	15.4%	4.1%	2.9%	77.6%	19.5%
	1年	132	18.9%	61.4%	12.9%	3.8%	3.0%	80.3%	16.7%
	2年	109	13.8%	60.6%	18.3%	4.6%	2.8%	74.3%	22.9%

3-2 必修基礎演習（1・2年生対象）

Q9 必修基礎演習についてうかがいます。あなたは必修基礎演習をとおして、次の能力を身につけることができましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-2 論文を読解する能力

		論文を読解する能力						*	
		n	とても身に ついた	ある程度身 についた	あまり身に つかなか った	まったく身 につかなか った	NA	身についた （計）	身につかなか った（計）
※	全体	544	7.5%	45.2%	34.4%	9.2%	3.7%	52.8%	43.6%
文化構想学部	計	303	7.6%	44.2%	35.3%	9.6%	3.3%	51.8%	44.9%
	1年	164	10.4%	44.5%	31.7%	9.8%	3.7%	54.9%	41.5%
	2年	139	4.3%	43.9%	39.6%	9.4%	2.9%	48.2%	48.9%
文学部	計	241	7.5%	46.5%	33.2%	8.7%	4.1%	53.9%	41.9%
	1年	132	7.6%	48.5%	31.8%	6.8%	5.3%	56.1%	38.6%
	2年	109	7.3%	44.0%	34.9%	11.0%	2.8%	51.4%	45.9%

表 3-3 論文を執筆する能力

		論文を執筆する能力						*	
		n	とても身に ついた	ある程度身 についた	あまり身に つかなか った	まったく身 につかなか った	NA	身についた （計）	身につかなか った（計）
※	全体	544	10.3%	47.4%	31.3%	6.8%	4.2%	57.7%	38.1%
文化構想学部	計	303	9.9%	49.2%	30.7%	6.3%	4.0%	59.1%	37.0%
	1年	164	10.4%	54.3%	26.8%	4.9%	3.7%	64.6%	31.7%
	2年	139	9.4%	43.2%	35.3%	7.9%	4.3%	52.5%	43.2%
文学部	計	241	10.8%	45.2%	32.0%	7.5%	4.6%	56.0%	39.4%
	1年	132	13.6%	43.9%	31.1%	5.3%	6.1%	57.6%	36.4%
	2年	109	7.3%	46.8%	33.0%	10.1%	2.8%	54.1%	43.1%

表 3-4 討論する能力

		討論する能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	7.5%	32.9%	44.7%	11.0%	3.9%	40.4%	55.7%
文化構想学部	計	303	9.9%	34.7%	42.9%	9.2%	3.3%	44.6%	52.1%
	1年	164	11.6%	39.0%	40.9%	4.9%	3.7%	50.6%	45.7%
	2年	139	7.9%	29.5%	45.3%	14.4%	2.9%	37.4%	59.7%
文学部	計	241	4.6%	30.7%	46.9%	13.3%	4.6%	35.3%	60.2%
	1年	132	3.8%	30.3%	49.2%	10.6%	6.1%	34.1%	59.8%
	2年	109	5.5%	31.2%	44.0%	16.5%	2.8%	36.7%	60.6%

Q10 あなたは、必修基礎演習の授業内容や授業をとおして身につけた、読む・聞く・書く・話す能力についてどのくらい満足していますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 3-5 読む・聞く・書く・話す能力

		読む・聞く・書く・話す能力						*	
		n	非常に満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	NA	満足している(計)	満足していない(計)
※	全体	544	9.0%	42.8%	36.4%	7.9%	3.9%	51.8%	44.3%
文化構想学部	計	303	8.6%	42.2%	37.6%	7.9%	3.6%	50.8%	45.5%
	1年	164	11.6%	45.1%	35.4%	3.7%	4.3%	56.7%	39.0%
	2年	139	5.0%	38.8%	40.3%	12.9%	2.9%	43.9%	53.2%
文学部	計	241	9.5%	43.6%	34.9%	7.9%	4.1%	53.1%	42.7%
	1年	132	9.1%	47.7%	31.1%	6.8%	5.3%	56.8%	37.9%
	2年	109	10.1%	38.5%	39.4%	9.2%	2.8%	48.6%	48.6%

Q11 前問で、「非常に満足している」「まあ満足している」と回答した方にうかがいます。その理由はなんですか。あてはまるものすべてにチェックしてください。

表 3-6 必修基礎演習の満足理由

		「非常に満足している」「まあ満足している」と回答した理由						
		n	担当教員の 手厚いサ ポート	クラスの仲 間とのグ ループ学習	興味深い教 材群	開講時期が 入学直後で あったこと	その他	NA
※	全体	282	49.3%	55.0%	12.1%	31.9%	2.1%	2.5%
文化構想学部	計	154	47.4%	53.9%	13.0%	29.2%	2.6%	3.2%
	1年	93	50.5%	53.8%	15.1%	23.7%	3.2%	3.2%
	2年	61	42.6%	54.1%	9.8%	37.7%	1.6%	3.3%
文学部	計	128	51.6%	56.3%	10.9%	35.2%	1.6%	1.6%
	1年	75	57.3%	54.7%	14.7%	26.7%	0.0%	2.7%
	2年	53	43.4%	58.5%	5.7%	47.2%	3.8%	0.0%

Q12 前問で、「あまり満足していない」「まったく満足していない」と回答した方にうかがいます。その理由はなんですか。あてはまるものすべてにチェックしてください。

表 3-7 必修基礎演習の不満足理由

		「あまり満足していない」「まったく満足していない」と回答した理由						
		n	担当教員のサポート不足	クラスの仲間との不調和	興味を引かない教材群	開講時期が入学直後であったこと	その他	NA
※	全体	241	48.8%	13.6%	46.3%	9.1%	18.6%	2.1%
文化構想学部	計	138	51.8%	15.8%	46.8%	8.6%	15.8%	1.4%
	1年	64	50.0%	6.3%	45.3%	12.5%	17.2%	1.6%
	2年	74	53.3%	24.0%	48.0%	5.3%	14.7%	1.4%
文学部	計	103	44.7%	10.7%	45.6%	9.7%	22.3%	2.9%
	1年	50	42.0%	10.0%	50.0%	10.0%	26.0%	2.0%
	2年	53	47.2%	11.3%	41.5%	9.4%	18.9%	3.8%

3-3 英語（1・2年生対象）

Q14 あなたは1年次春学期の英語（週2コマ）の授業数についてどう思いますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-8 1年次春学期の英語（週2コマ）の授業数

		1年次春学期の英語（週2コマ）の授業数							*	
		n	多い	どちらかといえば多い	ちょうどよい	どちらかといえば少ない	少ない	NA	多い（計）	少ない（計）
※	全体	544	5.3%	5.7%	43.9%	21.9%	18.6%	4.6%	11.0%	40.4%
文化構想学部	計	303	5.0%	5.6%	43.6%	25.1%	17.2%	3.6%	10.6%	42.2%
	1年	164	4.9%	3.7%	39.0%	26.8%	20.7%	4.9%	8.5%	47.6%
	2年	139	5.0%	7.9%	48.9%	23.0%	12.9%	2.2%	12.9%	36.0%
文学部	計	241	5.8%	5.8%	44.4%	17.8%	20.3%	5.8%	11.6%	38.2%
	1年	132	4.5%	4.5%	35.6%	22.0%	25.8%	7.6%	9.1%	47.7%
	2年	109	7.3%	7.3%	55.0%	12.8%	13.8%	3.7%	14.7%	26.6%

Q15 あなたは、1年次春学期、英語授業をとおして次のことを、どの程度身につけましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-9 1年次春学期英語を通して身につけたこと：文法の理解

		文法の理解						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた（計）	身につかなかった（計）
※	全体	544	3.5%	30.7%	45.2%	15.1%	5.5%	34.2%	60.3%
文化構想学部	計	303	3.3%	32.7%	46.5%	12.2%	5.3%	36.0%	58.7%
	1年	164	1.8%	31.1%	49.4%	12.8%	4.9%	32.9%	62.2%
	2年	139	5.0%	34.5%	43.2%	11.5%	5.8%	39.6%	54.7%
文学部	計	241	3.7%	28.2%	43.6%	18.7%	5.8%	32.0%	62.2%
	1年	132	3.8%	23.5%	43.2%	22.0%	7.6%	27.3%	65.2%
	2年	109	3.7%	33.9%	44.0%	14.7%	3.7%	37.6%	58.7%

表 3-10 1 年次春学期英語を通して身についたこと：リーディング能力

		リーディング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	6.6%	43.9%	33.6%	10.7%	5.1%	50.6%	44.3%
文化構想学部	計	303	6.3%	46.5%	34.0%	8.6%	4.6%	52.8%	42.6%
	1年	164	4.9%	46.3%	36.6%	7.3%	4.9%	51.2%	43.9%
	2年	139	7.9%	46.8%	30.9%	10.1%	4.3%	54.7%	41.0%
文学部	計	241	7.1%	40.7%	33.2%	13.3%	5.8%	47.7%	46.5%
	1年	132	8.3%	36.4%	34.1%	13.6%	7.6%	44.7%	47.7%
	2年	109	5.5%	45.9%	32.1%	12.8%	3.7%	51.4%	45.0%

表 3-11 1 年次春学期英語を通して身についたこと：ライティング能力

		ライティング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	9.2%	44.7%	30.0%	10.7%	5.5%	53.9%	40.6%
文化構想学部	計	303	9.2%	44.9%	31.4%	9.9%	4.6%	54.1%	41.3%
	1年	164	9.8%	45.1%	31.1%	9.1%	4.9%	54.9%	40.2%
	2年	139	8.6%	44.6%	31.7%	10.8%	4.3%	53.2%	42.4%
文学部	計	241	9.1%	44.4%	28.2%	11.6%	6.6%	53.5%	39.8%
	1年	132	9.1%	43.2%	28.0%	11.4%	8.3%	52.3%	39.4%
	2年	109	9.2%	45.9%	28.4%	11.9%	4.6%	55.0%	40.4%

表 3-12 1 年次春学期英語を通して身についたこと：リスニング能力

		リスニング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	9.2%	44.3%	31.1%	9.7%	5.7%	53.5%	40.8%
文化構想学部	計	303	9.6%	45.9%	31.7%	7.6%	5.3%	55.4%	39.3%
	1年	164	7.9%	48.8%	31.1%	6.7%	5.5%	56.7%	37.8%
	2年	139	11.5%	42.4%	32.4%	8.6%	5.0%	54.0%	41.0%
文学部	計	241	8.7%	42.3%	30.3%	12.4%	6.2%	51.0%	42.7%
	1年	132	7.6%	41.7%	28.8%	14.4%	7.6%	49.2%	43.2%
	2年	109	10.1%	43.1%	32.1%	10.1%	4.6%	53.2%	42.2%

表 3-13 1 年次春学期英語を通して身についたこと：スピーキング能力

		スピーキング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	10.8%	38.4%	34.7%	10.5%	5.5%	49.3%	45.2%
文化構想学部	計	303	10.6%	40.3%	36.6%	7.9%	4.6%	50.8%	44.6%
	1年	164	9.1%	42.7%	36.6%	6.7%	4.9%	51.8%	43.3%
	2年	139	12.2%	37.4%	36.7%	9.4%	4.3%	49.6%	46.0%
文学部	計	241	11.2%	36.1%	32.4%	13.7%	6.6%	47.3%	46.1%
	1年	132	9.8%	38.6%	33.3%	10.6%	7.6%	48.5%	43.9%
	2年	109	12.8%	33.0%	31.2%	17.4%	5.5%	45.9%	48.6%

3-4 基礎外国語（1・2年生対象）

Q17 あなたは1年次春学期の基礎外国語（英語以外、週4コマ）の授業数についてどう思いますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-14 1年次春学期基礎外国語の授業数

		1年次春学期の基礎外国語（英語以外、週4コマ）の授業数							*	
		n	多い	どちらかといえは多い	ちょうどよい	どちらかといえは少ない	少ない	NA	多い（計）	少ない（計）
※	全体	544	26.3%	33.1%	32.9%	0.9%	0.9%	5.9%	59.4%	1.8%
文化構想学部	計	303	27.4%	36.0%	30.4%	0.7%	0.3%	5.3%	63.4%	1.0%
	1年	164	32.3%	36.6%	25.0%	0.6%	0.6%	4.9%	68.9%	1.2%
	2年	139	21.6%	35.3%	36.7%	0.7%	0.0%	5.8%	56.8%	0.7%
文学部	計	241	24.9%	29.5%	36.1%	1.2%	1.7%	6.6%	54.4%	2.9%
	1年	132	23.5%	31.1%	34.8%	1.5%	0.8%	8.3%	54.5%	2.3%
	2年	109	26.6%	27.5%	37.6%	0.9%	2.8%	4.6%	54.1%	3.7%

Q18 あなたは、基礎外国語としてどの言語を選択しましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-15 基礎外国語の選択言語

		基礎外国語									
		n	フランス語	ドイツ語	ロシア語	中国語	スペイン語	イタリア語	朝鮮語	日本語	NA
※	全体	544	24.1%	18.0%	6.1%	17.8%	18.8%	4.4%	4.0%	0.6%	6.3%
文化構想学部	計	303	23.1%	16.5%	3.3%	17.2%	24.8%	4.6%	4.3%	0.7%	5.6%
	1年	164	20.7%	13.4%	3.0%	18.3%	28.0%	5.5%	4.9%	0.6%	5.5%
	2年	139	25.9%	20.1%	3.6%	15.8%	20.9%	3.6%	3.6%	0.7%	5.8%
文学部	計	241	25.3%	19.9%	9.5%	18.7%	11.2%	4.1%	3.7%	0.4%	7.1%
	1年	132	22.0%	18.2%	12.1%	18.9%	12.1%	4.5%	3.0%	0.0%	9.1%
	2年	109	29.4%	22.0%	6.4%	18.3%	10.1%	3.7%	4.6%	0.9%	4.6%

Q19 あなたがその言語を選択した理由は、次のうちのどれがあてはまりますか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 3-16 言語の選択理由

		その言語を選択した理由										
		n	国際社会において重要な言語であると思ったから	その言語自体に興味があったから	その言語が使用される国の文化に興味があったから	入学前に勉強したことがあったから	2年生以降の論系・コースのカリキュラムにおいて必要とされるから	就職に役に立つと思ったから	「基礎外国語紹介コンテンツ（入学前）」での説明が印象深かったから	簡単そうだったから	なんとなく選択した	NA
※	全体	544	30.7%	48.7%	48.7%	6.3%	6.6%	5.7%	4.0%	8.3%	8.3%	6.3%
文化構想学部	計	303	33.3%	46.9%	47.5%	6.3%	3.3%	6.6%	4.6%	6.9%	9.2%	5.6%
	1年	164	34.8%	44.5%	47.0%	6.1%	1.8%	7.3%	5.5%	4.9%	9.8%	5.5%
	2年	139	31.7%	49.6%	48.2%	6.5%	5.0%	5.8%	3.6%	9.4%	8.6%	5.8%
文学部	計	241	27.4%	51.0%	50.2%	6.2%	10.8%	4.6%	3.3%	10.0%	7.1%	7.1%
	1年	132	23.5%	48.5%	47.0%	7.6%	12.1%	6.8%	3.8%	10.6%	6.1%	9.1%
	2年	109	32.1%	54.1%	54.1%	4.6%	9.2%	1.8%	2.8%	9.2%	8.3%	4.6%

参考表 3-1 履修言語と選択理由のクロス表

	言語の選択理由										
	n	国際社会において重要な言語であると思ったから	その言語自体に興味があったから	その言語が使用される国の文化に興味があったから	入学前に勉強したことがあったから	2年生以降の論系・コースのカリキュラムにおいて必要とされるから	就職に役に立つと思ったから	「基礎外国語紹介コンテンツ（入学前）」での説明が印象深かったから	簡単そうだったから	なんとなく選択した	NA
全体	544	30.7%	48.7%	48.7%	6.3%	6.6%	5.7%	4.0%	8.3%	8.3%	6.3%
フランス語	131	32.8%	56.5%	54.2%	9.2%	8.4%	3.1%	3.1%	0.0%	9.9%	0.0%
ドイツ語	98	6.1%	59.2%	64.3%	5.1%	12.2%	0.0%	3.1%	6.1%	12.2%	0.0%
ロシア語	33	12.1%	75.8%	66.7%	6.1%	9.1%	9.1%	24.2%	0.0%	6.1%	0.0%
中国語	97	69.1%	37.1%	23.7%	10.3%	9.3%	22.7%	1.0%	12.4%	5.2%	0.0%
スペイン語	102	46.1%	41.2%	54.9%	2.0%	1.0%	2.0%	4.9%	16.7%	6.9%	0.0%
イタリア語	24	0.0%	58.3%	70.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	8.3%	0.0%
朝鮮語	22	0.0%	63.6%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	4.5%	22.7%	13.6%	0.0%
日本語	3	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
NA	34	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.1%

Q20 あなたは、1 年次春学期、基礎外国語授業をとおして次のことを、どの程度身につけましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 3-17 基礎外国語を通じて身につけたこと：文法の理解

		文法の理解						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた（計）	身につかなかった（計）
※	全体	544	28.5%	53.5%	9.4%	1.7%	7.0%	82.0%	11.0%
文化構想学部	計	303	29.0%	53.5%	9.6%	1.7%	6.3%	82.5%	11.2%
	1年	164	25.6%	54.3%	12.2%	1.8%	6.1%	79.9%	14.0%
	2年	139	33.1%	52.5%	6.5%	1.4%	6.5%	85.6%	7.9%
文学部	計	241	27.8%	53.5%	9.1%	1.7%	7.9%	81.3%	10.8%
	1年	132	22.7%	58.3%	8.3%	1.5%	9.1%	81.1%	9.8%
	2年	109	33.9%	47.7%	10.1%	1.8%	6.4%	81.7%	11.9%

表 3-18 基礎外国語を通じて身につけたこと：リーディング能力

		リーディング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた（計）	身につかなかった（計）
※	全体	544	15.4%	57.2%	18.4%	2.4%	6.6%	72.6%	20.8%
文化構想学部	計	303	17.5%	58.7%	15.8%	2.0%	5.9%	76.2%	17.8%
	1年	164	15.9%	58.5%	18.3%	1.2%	6.1%	74.4%	19.5%
	2年	139	19.4%	59.0%	12.9%	2.9%	5.8%	78.4%	15.8%
文学部	計	241	12.9%	55.2%	21.6%	2.9%	7.5%	68.0%	24.5%
	1年	132	11.4%	53.8%	22.7%	3.0%	9.1%	65.2%	25.8%
	2年	109	14.7%	56.9%	20.2%	2.8%	5.5%	71.6%	22.9%

表 3-19 基礎外国語を通じて身についたこと：ライティング能力

		ライティング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	11.2%	50.7%	27.0%	4.0%	7.0%	61.9%	31.1%
文化構想学部	計	303	11.6%	51.2%	27.7%	3.6%	5.9%	62.7%	31.4%
	1年	164	9.1%	58.5%	23.8%	2.4%	6.1%	67.7%	26.2%
	2年	139	14.4%	42.4%	32.4%	5.0%	5.8%	56.8%	37.4%
文学部	計	241	10.8%	50.2%	26.1%	4.6%	8.3%	61.0%	30.7%
	1年	132	6.8%	53.0%	26.5%	3.0%	10.6%	59.8%	29.5%
	2年	109	15.6%	46.8%	25.7%	6.4%	5.5%	62.4%	32.1%

表 3-20 基礎外国語を通じて身についたこと：リスニング能力

		リスニング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	9.0%	40.3%	35.8%	7.4%	7.5%	49.3%	43.2%
文化構想学部	計	303	9.6%	44.2%	33.7%	5.9%	6.6%	53.8%	39.6%
	1年	164	6.7%	45.7%	36.6%	3.7%	7.3%	52.4%	40.2%
	2年	139	12.9%	42.4%	30.2%	8.6%	5.8%	55.4%	38.8%
文学部	計	241	8.3%	35.3%	38.6%	9.1%	8.7%	43.6%	47.7%
	1年	132	6.8%	34.8%	42.4%	6.8%	9.1%	41.7%	49.2%
	2年	109	10.1%	35.8%	33.9%	11.9%	8.3%	45.9%	45.9%

表 3-21 基礎外国語を通じて身についたこと：スピーキング能力

		スピーキング能力						*	
		n	とても身についた	ある程度身についた	あまり身につかなかった	まったく身につかなかった	NA	身についた(計)	身につかなかった(計)
※	全体	544	7.7%	37.9%	36.0%	10.5%	7.9%	45.6%	46.5%
文化構想学部	計	303	9.2%	41.3%	31.7%	9.9%	7.9%	50.5%	41.6%
	1年	164	6.7%	43.9%	33.5%	7.9%	7.9%	50.6%	41.5%
	2年	139	12.2%	38.1%	29.5%	12.2%	7.9%	50.4%	41.7%
文学部	計	241	5.8%	33.6%	41.5%	11.2%	7.9%	39.4%	52.7%
	1年	132	3.8%	33.3%	44.7%	9.1%	9.1%	37.1%	53.8%
	2年	109	8.3%	33.9%	37.6%	13.8%	6.4%	42.2%	51.4%

3-5 選択外国語（3・4年生対象）

Q22 あなたはこれまで、選択外国語（英語以外）を履修したことがありますか。もしくは今後履修したいと思いますか？

表 3-22 選択外国語の履修

		選択外国語（英語以外）				
		n	履修したことがある	履修したことはないがこれから履修したい	今後も履修したくない	NA
※	全体	432	64.4%	10.2%	23.1%	2.3%
文化構想学部	計	240	64.2%	9.2%	23.8%	2.9%
	3年	128	63.3%	10.2%	23.4%	3.1%
	4年	112	65.2%	8.0%	24.1%	2.7%
文学部	計	192	64.6%	11.5%	22.4%	1.6%
	3年	101	63.4%	11.9%	22.8%	2.0%
	4年	91	65.9%	11.0%	22.0%	1.1%

Q23 あなたが選択外国語を履修したいと思った理由は、次のうちどれが当てはまりますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

表 3-23 選択外国語の履修理由

		選択外国語を履修したいと思った理由									
		n	論系・コースのカリキュラムで必要だから	就職のため	大学院進学のため	海外留学のため	資格取得のため	その言語自体に興味があるから	その言語を用いる国や文化に興味があるから	なんとなく	NA
※	全体	322	14.6%	10.2%	6.2%	5.3%	12.7%	62.7%	48.8%	12.1%	0.6%
文化構想学部	計	176	6.3%	9.7%	5.7%	1.7%	11.4%	68.8%	47.7%	10.8%	1.1%
	3年	94	6.4%	10.6%	6.4%	0.0%	10.6%	68.1%	43.6%	10.6%	2.1%
	4年	82	6.1%	8.5%	4.9%	3.7%	12.2%	69.5%	52.4%	11.0%	0.0%
文学部	計	146	24.7%	11.0%	6.8%	9.6%	14.4%	55.5%	50.0%	13.7%	0.0%
	3年	76	25.0%	15.8%	9.2%	7.9%	11.8%	55.3%	50.0%	15.8%	0.0%
	4年	70	24.3%	5.7%	4.3%	11.4%	17.1%	55.7%	50.0%	11.4%	0.0%

Q24 あなたは選択外国語を履修して、レベルアップを達成できましたか。

表 3-24 選択外国語履修によるレベルアップ

		選択外国語のレベルアップの達成度						*	
		n	期待以上に 達成できた	ほぼ期待し た通り達成 できた	あまり達成 できなかった	まったく達 成できな かった	NA	達成できた (計)	達成できな かった (計)
※	全体	278	11.9%	39.9%	43.2%	4.7%	0.4%	51.8%	47.8%
文化構想学部	計	154	10.4%	43.5%	40.3%	5.2%	0.6%	53.9%	45.5%
	3年	81	7.4%	38.3%	48.1%	4.9%	1.2%	45.7%	53.1%
	4年	73	13.7%	49.3%	31.5%	5.5%	0.0%	63.0%	37.0%
文学部	計	124	13.7%	35.5%	46.8%	4.0%	0.0%	49.2%	50.8%
	3年	64	4.7%	45.3%	46.9%	3.1%	0.0%	50.0%	50.0%
	4年	60	23.3%	25.0%	46.7%	5.0%	0.0%	48.3%	51.7%

Q25 あなたが選択外国語を履修したくない理由は、次のうちどれがあてはまりますか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 3-25 選択外国語を履修したくない理由

		選択外国語を履修したくない理由							
		n	語学は苦手だから	時間的余裕がないから	役に立たないと思うから	履修したい科目がないから	ほかに学べる場所があるから	なんとなく	NA
※	全体	100	40.0%	48.0%	12.0%	15.0%	2.0%	13.0%	0.0%
文化構想学部	計	57	43.9%	42.1%	10.5%	17.5%	1.8%	12.3%	0.0%
	3年	30	46.7%	36.7%	13.3%	16.7%	3.3%	16.7%	0.0%
	4年	27	40.7%	48.1%	7.4%	18.5%	0.0%	7.4%	0.0%
文学部	計	43	34.9%	55.8%	14.0%	11.6%	2.3%	14.0%	0.0%
	3年	23	43.5%	60.9%	0.0%	8.7%	4.3%	13.0%	0.0%
	4年	20	25.0%	50.0%	30.0%	15.0%	0.0%	15.0%	0.0%

Q26 選択外国語を履修するにあたって、特に強化してほしい科目は何ですか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 3-26 選択外国語を履修するにあたってとくに強化してほしい科目

		選択外国語を履修するにあたって、特に強化してほしい科目							
		n	リーディング科目	リスニング科目	ライティング科目	スピーキング科目	2年生以上からでも学べる入門科目	資格・検定試験対策科目	通訳など実務的科目
※	全体	432	23.1%	25.2%	16.2%	47.7%	43.3%	25.7%	7.2%
文化構想学部	計	240	23.3%	24.2%	13.8%	45.4%	42.1%	27.9%	6.7%
	3年	128	28.9%	25.8%	18.0%	39.1%	38.3%	27.3%	4.7%
	4年	112	17.0%	22.3%	8.9%	52.7%	46.4%	28.6%	8.9%
文学部	計	192	22.9%	26.6%	19.3%	50.5%	44.8%	22.9%	7.8%
	3年	101	21.8%	28.7%	21.8%	52.5%	47.5%	24.8%	4.0%
	4年	91	24.2%	24.2%	16.5%	48.4%	41.8%	20.9%	12.1%

3-6 開講科目

Q28 あなたは、文化構想学部・文学部が開講する科目群について、満足していますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 3-27 文化構想学部・文学部が開講する科目群の満足度

		文化構想学部・文学部が開講する科目群の満足度						*	
		n	非常に満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	NA	満足している(計)	満足していない(計)
※	全体	976	19.3%	65.3%	8.8%	0.6%	6.0%	84.6%	9.4%
文化構想学部	計	543	19.5%	65.0%	9.0%	0.7%	5.7%	84.5%	9.8%
	1年	164	20.7%	68.3%	4.9%	0.0%	6.1%	89.0%	4.9%
	2年	139	16.5%	62.6%	12.9%	0.7%	7.2%	79.1%	13.7%
	3年	128	18.0%	64.1%	12.5%	0.0%	5.5%	82.0%	12.5%
	4年	112	23.2%	64.3%	6.3%	2.7%	3.6%	87.5%	8.9%
文学部	計	433	19.1%	66.4%	8.5%	0.5%	5.5%	85.5%	9.0%
	1年	132	17.4%	64.4%	9.1%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%
	2年	109	16.5%	67.0%	9.2%	0.0%	7.3%	83.5%	9.2%
	3年	101	18.8%	67.3%	9.9%	2.0%	2.0%	86.1%	11.9%
	4年	91	25.3%	68.1%	5.5%	0.0%	1.1%	93.4%	5.5%

Q29 前問で、「あまり満足していない」「まったく満足していない」を選択された方にうかがいます。もっとも不満に感じる点は次のどの点ですか。

表 3-28 科目群に対する不満点

		もっとも不満に感じる点					
		n	設置されている科目数	設置されている科目のバリエーション（分野・テーマなど）	設置されている科目の形式（講義・演習・実習など）	自分で選択できる科目の選択肢	NA
※	全体	92	6.5%	60.9%	16.3%	16.3%	0.0%
文化構想学部	計	53	9.4%	58.5%	15.1%	17.0%	0.0%
	1年	8	12.5%	37.5%	0.0%	50.0%	0.0%
	2年	19	0.0%	68.4%	10.5%	21.1%	0.0%
	3年	16	18.8%	56.3%	18.8%	6.3%	0.0%
	4年	10	10.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%
文学部	計	39	2.6%	64.1%	17.9%	15.4%	0.0%
	1年	12	0.0%	66.7%	8.3%	25.0%	0.0%
	2年	10	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	3年	12	8.3%	58.3%	25.0%	8.3%	0.0%
	4年	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%

第4章 文化構想学部：進級、専門教育

4-1 論系への進級

Q30 あなたは現在、どの論系への進級を希望していますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-1 進級希望論系

		希望論系							
		n	多元文化論系	複合文化論系	表象・メディア論系	文芸・ジャーナリズム論系	現代人間論系	社会構築論系	まだ決めていない
※	全体	164	2.4%	11.6%	20.1%	11.6%	22.6%	12.2%	13.4%
文化構想学部	1年	164	2.4%	11.6%	20.1%	11.6%	22.6%	12.2%	13.4%
									6.1%

Q31 あなたの現在の希望論系は、入学時に希望していた論系と同じものですか、それとも違うものですか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-2 現在の希望論系と進級時の希望

		現在の希望論系と入学時の希望論系				
		n	同じ	違う	入学時には特に決めていなかった	NA
※	全体	132	55.3%	25.8%	17.4%	1.5%
文化構想学部	1年	132	55.3%	25.8%	17.4%	1.5%

Q32 あなたが進級する論系を決める際に、次のことを重視していますか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 4-3 進級する論系を決める際に重視していること

		進級する論系を決める際に重視していること					
		n	自分の関心のあるテーマを学ぶことができるか	専門科目が充実しているか	所属教員が充実しているか	基礎外国語を活用できるか	英語を活用できるか
※	全体	164	87.2%	22.0%	19.5%	3.7%	4.9%
文化構想学部	1年	164	87.2%	22.0%	19.5%	3.7%	4.9%
		n	就職に有利であるか	周りの評判がよいか	仲の良い人が希望しているか	その他	NA
※	全体	164	17.1%	12.8%	1.2%	1.2%	7.3%
文化構想学部	1年	164	17.1%	12.8%	1.2%	1.2%	7.3%

Q33 あなたが現在所属している論系を選択する際、次の科目はどの程度参考になりましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-4 論系選択の参考：基礎講義

		基礎講義						*	
		n	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	NA	参考になった(計)	参考にならなかった(計)
※	全体	139	10.8%	50.4%	24.5%	7.2%	7.2%	61.2%	31.7%
文化構想学部	2年	139	10.8%	50.4%	24.5%	7.2%	7.2%	61.2%	31.7%

表 4-5 論系選択の参考：ブリッジ科目

		ブリッジ科目						*	
		n	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	NA	参考になった(計)	参考にならなかった(計)
※	全体	139	25.2%	48.2%	16.5%	3.6%	6.5%	73.4%	20.1%
文化構想学部	2年	139	25.2%	48.2%	16.5%	3.6%	6.5%	73.4%	20.1%

表 4-6 論系選択の参考：基礎外国語

		基礎外国語						*	
		n	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	NA	参考になった(計)	参考にならなかった(計)
※	全体	139	5.8%	16.5%	40.3%	30.2%	7.2%	22.3%	70.5%
文化構想学部	2年	139	5.8%	16.5%	40.3%	30.2%	7.2%	22.3%	70.5%

表 4-7 論系選択の参考：英語

		英語						*	
		n	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	NA	参考になった(計)	参考にならなかった(計)
※	全体	139	3.6%	13.7%	43.2%	33.1%	6.5%	17.3%	76.3%
文化構想学部	2年	139	3.6%	13.7%	43.2%	33.1%	6.5%	17.3%	76.3%

Q34 あなたが現在所属している論系は、第一希望のものですか、それとも違うものですか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-8 所属論系と第一希望

		現在所属している論系は第一希望か			
		n	第一希望のものである	第一希望のものではない	NA
※	全体	139	86.3%	6.5%	7.2%
文化構想学部	2年	139	86.3%	6.5%	7.2%

Q35 現在の論系は、入学時に希望していた論系と同じものですか、それとも違うものですか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-9 所属論系と入学時希望

		現在の論系と入学時の希望論系				
		n	同じ	違う	入学時には特に決めていなかった	NA
※	全体	139	36.7%	34.5%	21.6%	7.2%
文化構想学部	2年	139	36.7%	34.5%	21.6%	7.2%

Q36 あなたは現在所属している論系を決める際、どのような情報を活用しましたか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 4-10 論系を決める際に活用した情報

		現在所属している論系を決める際に活用した情報					
		n	基礎講義の内容	基礎演習担当教員の話	論系のHP	論系のガイダンス	論系の教員や助手の話
※	全体	139	41.0%	12.2%	48.2%	54.0%	28.1%
文化構想学部	2年	139	41.0%	12.2%	48.2%	54.0%	28.1%
		n	論系に所属する学生の話	周囲の評判	その他	NA	
※	全体	139	24.5%	23.0%	9.4%	6.5%	
文化構想学部	2年	139	24.5%	23.0%	9.4%	6.5%	

Q37 あなたが現在所属する論系を決める際に、次のことを重視しましたか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 4-11 論系を決める際の重視点

		現在所属する論系を決める際に重視したこと					
		n	自分の関心のあるテーマを学ぶことができる	専門科目が充実している	所属教員が充実している	基礎外国語を活用できる	英語を活用できる
※	全体	139	84.9%	19.4%	27.3%	2.9%	1.4%
文化構想学部	2年	139	84.9%	19.4%	27.3%	2.9%	1.4%
		n	就職に有利である	周囲の評判	仲の良い人が希望している	その他	NA
※	全体	139	5.0%	12.2%	2.9%	2.2%	6.5%
文化構想学部	2年	139	5.0%	12.2%	2.9%	2.2%	6.5%

Q38 あなたは現在所属する論系にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-12 所属する論系の満足度

		現在所属する論系の満足度						*	
		n	非常に満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	NA	満足している(計)	満足していない(計)
※	全体	379	25.1%	52.8%	12.4%	4.2%	5.5%	77.8%	16.6%
文化構想学部	計	379	25.1%	52.8%	12.4%	4.2%	5.5%	77.8%	16.6%
	2年	139	23.7%	54.7%	11.5%	3.6%	6.5%	78.4%	15.1%
	3年	128	22.7%	57.0%	10.9%	3.9%	5.5%	79.7%	14.8%
	4年	112	29.5%	45.5%	15.2%	5.4%	4.5%	75.0%	20.5%

4-2 専門教育

Q39 あなたは3年次にゼミ所属を希望していますか。それとも卒業研究を希望していますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-13 3年次ゼミ所属希望か卒業研究希望か

		3年次のゼミ所属希望と卒業研究希望				
		n	ゼミ所属を希望	卒業研究を希望	まだ決めていない	NA
※	全体	139	78.4%	4.3%	10.8%	6.5%
文化構想学部	2年	139	78.4%	4.3%	10.8%	6.5%

Q40 あなたは現在ゼミに所属していますか、それとも卒業研究を選択しましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-14 ゼミ所属か卒業研究選択か

		ゼミ所属か卒業研究選択か			
		n	ゼミに所属している	卒業研究を選択した	NA
※	全体	240	88.3%	7.1%	4.6%
文化構想学部	3年	128	87.5%	7.0%	5.5%
	4年	112	89.3%	7.1%	3.6%

Q41 あなたが現在所属しているゼミは、第一希望のものですか、それとも違うものですか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-15 所属しているゼミは第一志望か

		現在所属しているゼミ			
		n	第一希望のものである	第一希望のものではない	NA
※	全体	212	88.2%	11.8%	0.0%
文化構想学部	3年	112	89.3%	10.7%	0.0%
	4年	100	87.0%	13.0%	0.0%

Q42 あなたは、現在所属しているゼミを決める際に、どのようなことを重視しましたか。
あてはまるものを全てお選び下さい。

表 4-16 所属ゼミ選択時の重視点

		現在所属しているゼミを決める際に重視したこと						
		n	ゼミのテーマ	2年次の演習との連続性	担当教員との相性	ゼミガイダンスの印象	周りの評判	希望者の数
※	全体	212	91.0%	17.9%	42.0%	17.9%	15.1%	6.1%
文化構想学部	計	212	91.0%	17.9%	42.0%	17.9%	15.1%	6.1%
	3年	112	92.0%	17.9%	42.9%	23.2%	14.3%	6.3%
	4年	100	90.0%	18.0%	41.0%	12.0%	16.0%	6.0%
		n	就職に有利か	大学院進学に有利か	選抜方法	友人が同じゼミを希望していること	その他	NA
※	全体	212	3.8%	1.9%	4.7%	1.4%	2.4%	0.0%
文化構想学部	計	212	3.8%	1.9%	4.7%	1.4%	2.4%	0.0%
	3年	112	6.3%	2.7%	5.4%	0.9%	2.7%	0.0%
	4年	100	1.0%	1.0%	4.0%	2.0%	2.0%	0.0%

Q43 あなたは現在所属しているゼミを決める際に、論系プログラムの履修モデルをどの程度活用しましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-17 所属ゼミ選択時の論系プログラムの履修モデル活用

		論系プログラムの履修モデルの活用							*	
		n	大いに活用 した	ある程度活 用した	あまり活用 しなかった	まったく活 用しなかつ た	履修モデル の存在を知ら なかった	NA	活用した (計)	活用しな かった (計)
※	全体	212	1.9%	18.4%	25.5%	25.0%	29.2%	0.0%	20.3%	50.5%
文化構想学部	計	212	1.9%	18.4%	25.5%	25.0%	29.2%	0.0%	20.3%	50.5%
	3年	112	1.8%	18.8%	25.0%	23.2%	31.3%	0.0%	20.5%	48.2%
	4年	100	2.0%	18.0%	26.0%	27.0%	27.0%	0.0%	20.0%	53.0%

Q44 現段階で、あなたはゼミ論文のテーマについてどの程度決めていますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-18 ゼミ論のテーマ

		ゼミ論文のテーマ						
		n	具体的なテーマや内容について決まっている	大体のテーマは決めている	いくつかのテーマを考えている	テーマについて考えてはいるが、まだ決まっていけない	まだ特に何も考えていない	NA
※	全体	212	25.0%	31.6%	14.6%	19.8%	9.0%	0.0%
文化構想学部	計	212	25.0%	31.6%	14.6%	19.8%	9.0%	0.0%
	3年	112	6.3%	22.3%	21.4%	33.0%	17.0%	0.0%
	4年	100	46.0%	42.0%	7.0%	5.0%	0.0%	0.0%

Q45 あなたは現在所属しているゼミにどの程度満足していますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-19 所属ゼミの満足度

		現在所属しているゼミの満足度						*	
		n	非常に満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	NA	満足している(計)	満足していない(計)
※	全体	212	35.8%	49.5%	13.2%	1.4%	0.0%	85.4%	14.6%
文化構想学部	計	212	35.8%	49.5%	13.2%	1.4%	0.0%	85.4%	14.6%
	3年	112	32.1%	53.6%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
	4年	100	40.0%	45.0%	12.0%	3.0%	0.0%	85.0%	15.0%

Q47 あなたが卒業研究を選択した理由は何ですか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 4-20 卒業研究を選択した理由

		卒業研究を選択した理由							
		n	卒業研究としてまとめたテーマがあった	指導を受けたい教員がゼミを担当していたなかった	自分の関心にあったゼミがなかった	ゼミという制度を好まなかった	ゼミを希望したが入れなかった	ゼミ開設の曜日や時限が合わなかった	その他
※	全体	17	47.1%	5.9%	41.2%	41.2%	11.8%	0.0%	0.0%
文化構想学部	計	17	47.1%	5.9%	41.2%	41.2%	11.8%	0.0%	0.0%
	3年	9	55.6%	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	4年	8	37.5%	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%

Q48 あなたは、現段階で卒業研究のテーマについてどの程度決めていますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 4-21 卒業研究のテーマ

		卒業研究のテーマ						
		n	具体的なテーマや内容について決まっている	大体のテーマは決めている	いくつかのテーマを考えている	テーマについて考えてはいるが、まだ決まっていない	まだ特に何も考えていない	NA
※	全体	17	11.8%	47.1%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%
文化構想学部	計	17	11.8%	47.1%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%
	3年	9	0.0%	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
	4年	8	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%

第5章 文学部：進級、専門教育

5-1 コースへの進級

Q50 あなたは現在、どのコースへの進級を希望していますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-1 進級希望コース

		希望コース										
		n	哲学	東洋哲学	心理学	社会学	教育学	日本語日本文学	中国語中国文学	英文学	フランス語フランス文学	ドイツ語ドイツ文学
※	全体	132	3.0%	1.5%	10.6%	11.4%	3.0%	20.5%	1.5%	4.5%	3.0%	1.5%
文学部	1年	132	3.0%	1.5%	10.6%	11.4%	3.0%	20.5%	1.5%	4.5%	3.0%	1.5%
		n	ロシア語ロシア文学	演劇・映像	美術史	日本史	アジア史	西洋史	考古学	まだ決めていない	NA	
※	全体	132	1.5%	7.6%	3.0%	3.8%	0.8%	2.3%	0.8%	10.6%	9.1%	
文学部	1年	132	1.5%	7.6%	3.0%	3.8%	0.8%	2.3%	0.8%	10.6%	9.1%	

Q51 あなたの現在の希望コースは、入学時に希望していたコースと同じものですか、それとも違うものですか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-2 現在の希望コースと入学時の希望コース

		現在の希望コースと入学時の希望コース				
		n	同じ	違う	入学時には特に決めていなかった	NA
※	全体	106	65.1%	22.6%	12.3%	0.0%
文学部	1年	106	65.1%	22.6%	12.3%	0.0%

Q52 あなたが進級するコースを決める際に、次のことを重視していますか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 5-3 進級するコースを決める際の重視点

		進級するコースを決める際に重視していること					
		n	自分の関心のあるテーマを学ぶことができるか	専門科目が充実しているか	所属教員が充実しているか	基礎外国語を活用できるか	英語を活用できるか
※	全体	132	87.1%	23.5%	24.2%	6.8%	5.3%
文学部	1年	132	87.1%	23.5%	24.2%	6.8%	5.3%
		n	就職に有利であるか	周りの評判がよいか	仲の良い人が希望しているか	その他	NA
※	全体	132	13.6%	13.6%	0.8%	2.3%	9.1%
文学部	1年	132	13.6%	13.6%	0.8%	2.3%	9.1%

Q53 あなたが現在所属しているコースを選択する際、次の科目はどの程度参考になりましたか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-4 コース選択の参考：基礎講義

		基礎講義						*	
		n	非常に参考 になった	参考になっ た	あまり参考 にならな かった	参考になら なかった	NA	参考になっ た(計)	参考になら なかった (計)
※	全体	109	5.5%	37.6%	37.6%	11.0%	8.3%	43.1%	48.6%
文学部	2年	109	5.5%	37.6%	37.6%	11.0%	8.3%	43.1%	48.6%

表 5-5 コース選択の参考：ブリッジ科目

		ブリッジ科目						*	
		n	非常に参考 になった	参考になっ た	あまり参考 にならな かった	参考になら なかった	NA	参考になっ た(計)	参考になら なかった (計)
※	全体	109	19.3%	38.5%	27.5%	6.4%	8.3%	57.8%	33.9%
文学部	2年	109	19.3%	38.5%	27.5%	6.4%	8.3%	57.8%	33.9%

表 5-6 コース選択の参考：基礎外国語

		基礎外国語						*	
		n	非常に参考 になった	参考になっ た	あまり参考 にならな かった	参考になら なかった	NA	参考になっ た(計)	参考になら なかった (計)
※	全体	109	11.0%	22.9%	28.4%	29.4%	8.3%	33.9%	57.8%
文学部	2年	109	11.0%	22.9%	28.4%	29.4%	8.3%	33.9%	57.8%

表 5-7 コース選択の参考：英語

		英語						*	
		n	非常に参考 になった	参考になっ た	あまり参考 にならな かった	参考になら なかった	NA	参考になっ た(計)	参考になら なかった (計)
※	全体	109	4.6%	14.7%	27.5%	44.0%	9.2%	19.3%	71.6%
文学部	2年	109	4.6%	14.7%	27.5%	44.0%	9.2%	19.3%	71.6%

Q54 あなたが現在所属しているコースは、第一希望のものですか、それとも違うもので
か。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-8 所属コースと第一希望

		現在所属しているコースは第一希望か			
		n	第一希望の ものである	第一希望の ものではない	NA
※	全体	109	89.0%	3.7%	7.3%
文学部	2年	109	89.0%	3.7%	7.3%

Q55 現在のコースは、入学時に希望していたコースと同じものですか、それとも違うものですか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-9 所属コースと入学時希望

		現在のコースと入学時の希望コース				
		n	同じ	違う	入学時には特に決めていなかった	NA
※	全体	109	52.3%	20.2%	20.2%	7.3%
文学部	2年	109	52.3%	20.2%	20.2%	7.3%

Q56 あなたは現在所属しているコースを決める際、どのような情報を活用しましたか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 5-10 コースを決める際の情報

		現在所属しているコースを決める際に活用した情報					
		n	基礎講義の内容	基礎演習担当教員の話	コースのHP	コースのガイダンス	コースの教員や助手の話
※	全体	109	31.2%	13.8%	27.5%	40.4%	23.9%
文学部	2年	109	31.2%	13.8%	27.5%	40.4%	23.9%
		n	コースに所属する学生の話	周囲の評判	その他	NA	
※	全体	109	24.8%	19.3%	15.6%	9.2%	
文学部	2年	109	24.8%	19.3%	15.6%	9.2%	

Q57 あなたが現在所属するコースを決める際に、次のことを重視しましたか。あてはまるものを全てお選び下さい。

表 5-11 コース選択時の重視点

		現在所属するコースを決める際に重視したこと					
		n	自分の関心のあるテーマを学ぶことができる	専門科目が充実している	所属教員が充実している	基礎外国語を活用できる	英語を活用できる
※	全体	109	88.1%	22.9%	19.3%	10.1%	7.3%
文学部	2年	109	88.1%	22.9%	19.3%	10.1%	7.3%
		n	就職に有利である	周囲の評判	仲の良い人が希望している	その他	NA
※	全体	109	7.3%	7.3%	2.8%	0.9%	0.9%
文学部	2年	109	7.3%	7.3%	2.8%	0.9%	0.9%

5-2 卒業論文・満足度

Q58 あなたは、現時点で卒業論文のテーマについてどの程度決めていますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-12 卒業論文のテーマ

		卒業論文のテーマ						
		n	具体的な テーマと内 容は決まっ ている	大体のテー マや方向性 は決めてい る	いくつかの テーマを考 えている	テーマにつ いて考えて はいるが、 まだ具体的 ではない	まだ何も考 えていない	NA
※	全体	192	26.0%	32.3%	12.0%	20.8%	7.3%	1.6%
文学部	計	192	26.0%	32.3%	12.0%	20.8%	7.3%	1.6%
	3年	101	5.0%	26.7%	20.8%	33.7%	11.9%	2.0%
	4年	91	49.5%	38.5%	2.2%	6.6%	2.2%	1.1%

Q59 あなたは、所属しているコースの次の A～D についてどの程度満足していますか。あてはまるものを1つお選び下さい。

表 5-13 所属コースの満足度：A. コースの専門科目

		A. コースの専門科目						*	
		n	非常に満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していない	NA	満足してい る（計）	満足してい ない（計）
※	全体	301	26.6%	52.5%	14.0%	3.3%	3.7%	79.1%	17.3%
文学部	計	301	26.6%	52.5%	14.0%	3.3%	3.7%	79.1%	17.3%
	2年	109	27.5%	46.8%	13.8%	4.6%	7.3%	74.3%	18.3%
	3年	101	28.7%	50.5%	15.8%	3.0%	2.0%	79.2%	18.8%
	4年	91	23.1%	61.5%	12.1%	2.2%	1.1%	84.6%	14.3%

表 5-14 所属コースの満足度：B. 現在履修している演習

		B. 現在履修している演習						*	
		n	非常に満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していない	NA	満足してい る（計）	満足してい ない（計）
※	全体	301	31.2%	52.2%	9.6%	3.3%	3.7%	83.4%	13.0%
文学部	計	301	31.2%	52.2%	9.6%	3.3%	3.7%	83.4%	13.0%
	2年	109	27.5%	47.7%	11.9%	5.5%	7.3%	75.2%	17.4%
	3年	101	26.7%	58.4%	9.9%	3.0%	2.0%	85.1%	12.9%
	4年	91	40.7%	50.5%	6.6%	1.1%	1.1%	91.2%	7.7%

表 5-15 所属コースの満足度：C. コースの規模（教員数と学生数）

		C. コースの規模（教員数と学生数）						*	
		n	非常に満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していない	NA	満足してい る（計）	満足してい ない（計）
※	全体	301	30.6%	50.2%	12.3%	3.3%	3.7%	80.7%	15.6%
文学部	計	301	30.6%	50.2%	12.3%	3.3%	3.7%	80.7%	15.6%
	2年	109	25.7%	49.5%	13.8%	3.7%	7.3%	75.2%	17.4%
	3年	101	31.7%	49.5%	13.9%	3.0%	2.0%	81.2%	16.8%
	4年	91	35.2%	51.6%	8.8%	3.3%	1.1%	86.8%	12.1%

表 5-16 所属コースの満足度：D. コース全体

		D. コース全体						*	
		n	非常に満足 している	まあ満足し ている	あまり満足 していない	まったく満 足していな い	NA	満足してい る（計）	満足してい ない（計）
※	全体	301	27.2%	53.8%	14.0%	1.3%	3.7%	81.1%	15.3%
文学部	計	301	27.2%	53.8%	14.0%	1.3%	3.7%	81.1%	15.3%
	2年	109	26.6%	54.1%	9.2%	2.8%	7.3%	80.7%	11.9%
	3年	101	29.7%	51.5%	16.8%	0.0%	2.0%	81.2%	16.8%
	4年	91	25.3%	56.0%	16.5%	1.1%	1.1%	81.3%	17.6%

第6章 キャンパスでの生活：入学前の状態・将来の進路に関して

6-1 入学前の状態

Q60 あなたは、入学前に次の学校主催行事に参加しましたか。また、それらは進路決定において役に立ちましたか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-1 学校主催行事：A. 入学説明会

		A. 入学説明会							*	
		n	役に立った	どちらかといえば役に立った	どちらかといえば役に立たなかった	役に立たなかった	参加しなかった	NA	役に立った(計)	役に立たなかった(計)
※	全体	296	19.9%	30.1%	7.8%	2.4%	31.4%	8.4%	50.0%	10.1%
文化構想学部	1年	164	20.7%	31.1%	7.9%	2.4%	29.9%	7.9%	51.8%	10.4%
文学部	1年	132	18.9%	28.8%	7.6%	2.3%	33.3%	9.1%	47.7%	9.8%

表 6-2 学校主催行事：B. オープンキャンパス

		B. オープンキャンパス							*	
		n	役に立った	どちらかといえば役に立った	どちらかといえば役に立たなかった	役に立たなかった	参加しなかった	NA	役に立った(計)	役に立たなかった(計)
※	全体	296	20.3%	17.2%	6.1%	4.1%	43.9%	8.4%	37.5%	10.1%
文化構想学部	1年	164	22.0%	18.3%	4.3%	3.0%	45.1%	7.3%	40.2%	7.3%
文学部	1年	132	18.2%	15.9%	8.3%	5.3%	42.4%	9.8%	34.1%	13.6%

Q61 あなたは所属学部を何番目に志望していましたか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-3 所属学部の志望順位

		所属学部の志望順位					
		n	第一志望	第二志望	第三志望	それ以外	NA
※	全体	296	55.7%	21.6%	7.8%	6.8%	8.1%
文化構想学部	1年	164	52.4%	23.8%	8.5%	7.9%	7.3%
文学部	1年	132	59.8%	18.9%	6.8%	5.3%	9.1%

Q62 あなたが所属学部に入學した際の入試形態は次のどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-4 所属学部の入試形態

		所属学部の入試形態							
		n	一般入試	指定校推薦入試	附属・系属からの推薦	編入学試験	学士入学	転部	その他(具体的に：)
※	全体	296	65.2%	18.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
文化構想学部	1年	164	59.8%	21.3%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%
文学部	1年	132	72.0%	15.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%

6-2 将来の進路

Q63 あなたは現在、学部卒業後の進路についてどのような希望をもっていますか。現在希望している進路としてあてはまるものを全てお選びください。

表 6-5 卒業学部の希望進路

		学部卒業後の希望進路					
		n	民間企業に就職する	公務員として働く	教師、弁護士などの専門職につく	自営など上記以外の形で就職する	大学院に進学する
※	全体	773	64.6%	27.0%	11.3%	6.2%	16.4%
文化構想学部	計	431	70.5%	24.1%	8.8%	5.6%	11.8%
	1年	164	65.9%	24.4%	11.6%	7.9%	8.5%
	2年	139	71.9%	25.9%	8.6%	6.5%	15.1%
	3年	128	75.0%	21.9%	5.5%	1.6%	12.5%
文学部	計	342	57.0%	30.7%	14.3%	7.0%	22.2%
	1年	132	51.5%	31.1%	19.7%	9.1%	21.2%
	2年	109	57.8%	27.5%	9.2%	5.5%	23.9%
	3年	101	63.4%	33.7%	12.9%	5.9%	21.8%
		n	他大学に編入（学）する	留学をする	その他	まだ決めていない	NA
※	全体	773	1.2%	6.3%	1.3%	12.8%	6.5%
文化構想学部	計	431	0.7%	5.1%	0.5%	13.2%	6.7%
	1年	164	0.0%	5.5%	0.0%	17.7%	7.3%
	2年	139	0.7%	5.0%	0.7%	11.5%	6.5%
	3年	128	1.6%	4.7%	0.8%	9.4%	5.5%
文学部	計	342	1.8%	7.9%	2.3%	12.3%	6.4%
	1年	132	3.0%	7.6%	3.0%	10.6%	9.1%
	2年	109	1.8%	10.1%	2.8%	20.2%	7.3%
	3年	101	0.0%	5.9%	1.0%	5.9%	2.0%

Q64 卒業後の進路についてうかがいます。来年4月からの進路について現在どのような希望をもっていますか。現在希望している進路としてあてはまるものを全てお選びください。

表 6-6 来年4月からの希望進路

		来年4月からの希望進路						
		n	民間企業に就職する	公務員として働く	教師、弁護士などの専門職につく	自営など上記以外の形で就職する	大学院に進学する	専門学校に進学する
※	全体	203	70.0%	11.8%	3.0%	2.0%	11.3%	1.5%
文化構想学部	4年	112	73.2%	9.8%	1.8%	1.8%	8.9%	1.8%
文学部	4年	91	65.9%	14.3%	4.4%	2.2%	14.3%	1.1%
		n	他大学に編入（学）する	留学をする	その他	まだ決めていない	NA	
※	全体	203	0.5%	2.5%	2.5%	5.9%	3.0%	
文化構想学部	4年	112	0.9%	4.5%	1.8%	6.3%	4.5%	
文学部	4年	91	0.0%	0.0%	3.3%	5.5%	1.1%	

Q65 あなたは現在、就職予定先が決まっていますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-7 就職予定先

		就職予定先			
		n	就職予定先 が決まってい る	就職予定先 は決まってい ない	NA
※	全体	165	76.4%	23.6%	0.0%
文化構想学部	4年	92	77.2%	22.8%	0.0%
文学部	4年	73	75.3%	24.7%	0.0%

Q66 あなたの就職予定先の業種として、あてはまるもの1つをお選びください。

表 6-8 就職予定先の業種

		就職予定先の業種								
		n	建設業	製造業	電気・ガス・水道	情報・通信	マスコミ	出版	運輸業	卸売・小売業
※	全体	126	1.6%	11.1%	0.8%	10.3%	14.3%	2.4%	4.0%	5.6%
文化構想学部	4年	71	2.8%	9.9%	1.4%	11.3%	14.1%	2.8%	2.8%	7.0%
文学部	4年	55	0.0%	12.7%	0.0%	9.1%	14.5%	1.8%	5.5%	3.6%
		n	金融・保険業	不動産業	飲食・宿泊業	医療・福祉関係	教育・学習支援	サービス業	その他	NA
※	全体	126	21.4%	3.2%	0.0%	2.4%	2.4%	6.3%	14.3%	0.0%
文化構想学部	4年	71	21.1%	2.8%	0.0%	1.4%	2.8%	5.6%	14.1%	0.0%
文学部	4年	55	21.8%	3.6%	0.0%	3.6%	1.8%	7.3%	14.5%	0.0%

Q67 あなたの就職活動の結果についてうかがいます。あなたの就職予定先は、以下のどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つをお選びください。

表 6-9 就職予定先の志望

		就職予定先の志望						
		n	就職活動当 初からの志 望企業であ る	就職活動途 中からの志 望企業であ る	志望企業で はないが、 就職活動当 初からの志 望業種であ る	企業、業種 ともに志望 とは異なる	志望企業、 業種は特に なかった	NA
※	全体	126	36.5%	43.7%	11.1%	3.2%	5.6%	0.0%
文化構想学部	4年	71	35.2%	42.3%	14.1%	2.8%	5.6%	0.0%
文学部	4年	55	38.2%	45.5%	7.3%	3.6%	5.5%	0.0%

Q68 あなたは就職したら、その仕事をどの程度続けたいと考えていますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-10 就職したら仕事をどの程度続けたいか

		就職したらその仕事をどの程度続けたいか							
		n	一度就職したら定年退職するまで同じ会社や組織で働く	同じ業種の違う会社や組織に転職する	全く異なる業種に転職する	いずれかの時期に離職する	詳しく考えていない	わからない	NA
※	全体	126	48.4%	11.1%	6.3%	8.7%	18.3%	7.1%	0.0%
文化構想学部	4年	71	49.3%	9.9%	5.6%	5.6%	19.7%	9.9%	0.0%
文学部	4年	55	47.3%	12.7%	7.3%	12.7%	16.4%	3.6%	0.0%

Q69 どの大学院への進学を希望していますか。現時点での選択肢としてあてはまるものを全てお選びください。

表 6-11 希望大学院

		希望大学院						
		n	早稲田大学文学研究科	文学研究科以外の早稲田大学の大学院	国内の他大学大学院	海外の他大学大学院	その他	NA
※	全体	150	67.3%	18.7%	50.7%	18.7%	1.3%	0.7%
文化構想学部	計	61	67.2%	24.6%	50.8%	16.4%	3.3%	0.0%
	1年	14	71.4%	42.9%	57.1%	14.3%	7.1%	0.0%
	2年	21	57.1%	28.6%	52.4%	14.3%	0.0%	0.0%
	3年	16	75.0%	0.0%	50.0%	12.5%	6.3%	0.0%
	4年	10	70.0%	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%
文学部	計	89	67.4%	14.6%	50.6%	20.2%	0.0%	1.1%
	1年	28	71.4%	17.9%	46.4%	10.7%	0.0%	0.0%
	2年	26	73.1%	11.5%	57.7%	42.3%	0.0%	0.0%
	3年	22	68.2%	22.7%	50.0%	13.6%	0.0%	0.0%
	4年	13	46.2%	0.0%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%

Q70 前問で「早稲田大学文学研究科」以外を選択した方にうかがいます。文学研究科以外の大学院研究科を希望する理由を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。

表 6-12 文学研究科以外の大学院研究科を希望する理由

		文学研究科以外の大学院研究科を希望する理由							
		n	以前から行きたい大学院だから	専門領域（指導教員）が合致するから	在学中のキャリア支援（就職先）が充実しているから	研究に集中できる環境があるから	学費が安い（奨学金が充実している）から	その他	NA
※	全体	98	24.5%	49.0%	4.1%	23.5%	29.6%	12.2%	4.1%
文化構想学部	計	41	22.0%	56.1%	2.4%	26.8%	24.4%	12.2%	7.3%
	1年	10	20.0%	70.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	2年	15	26.7%	40.0%	6.7%	40.0%	46.7%	20.0%	0.0%
	3年	10	20.0%	60.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	30.0%
	4年	6	16.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
文学部	計	57	26.3%	43.9%	5.3%	21.1%	33.3%	12.3%	1.8%
	1年	18	38.9%	33.3%	0.0%	22.2%	22.2%	5.6%	0.0%
	2年	19	15.8%	47.4%	10.5%	21.1%	36.8%	15.8%	5.3%
	3年	14	28.6%	50.0%	7.1%	28.6%	35.7%	14.3%	0.0%
	4年	6	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%

6-3 将来の進路と学業との関係

Q71 あなたの卒業後の進路と、現在の論系・コースの教育内容はどの程度関係がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-13 卒業後の進路と、現在の論系・コースの教育内容との関係度

		卒業後の進路と、現在の論系・コースの教育内容との関係度						*	
		n	非常に関係がある	ある程度関係がある	あまり関係がない	まったく関係がない	NA	関係がある（計）	関係がない（計）
※	全体	646	14.1%	29.9%	30.3%	20.6%	0.1%	44.0%	50.9%
文化構想学部	2年	130	16.5%	42.4%	25.9%	8.6%	0.0%	59.0%	34.5%
	3年	120	9.4%	30.5%	35.2%	18.8%	0.0%	39.8%	53.9%
	4年	107	6.3%	29.5%	26.8%	33.0%	0.0%	35.7%	59.8%
文学部	2年	101	23.9%	26.6%	27.5%	13.8%	0.9%	50.5%	41.3%
	3年	99	17.8%	27.7%	33.7%	18.8%	0.0%	45.5%	52.5%
	4年	89	11.0%	16.5%	34.1%	36.3%	0.0%	27.5%	70.3%

Q72 あなたは、現在の論系・コースで学んだことを将来の仕事でどの程度活かしたいですか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-14 学んだことを将来の仕事でどの程度活かしたいか

		現在の論系・コースで学んだことを将来の仕事でどの程度活かしたいか						*	
		n	大いに活かしたい	できれば活かしたい	あまり活かすつもりはない	まったく活かすつもりはない	NA	活かしたい（計）	活かすつもりはない（計）
※	全体	644	26.6%	49.1%	14.4%	4.1%	0.4%	75.7%	18.5%
文化構想学部	2年	128	32.4%	51.1%	7.2%	1.4%	0.0%	83.5%	8.6%
	3年	120	24.2%	47.7%	16.4%	4.7%	0.8%	71.9%	21.1%
	4年	107	19.6%	54.5%	18.8%	2.7%	0.0%	74.1%	21.4%
文学部	2年	101	31.2%	45.0%	14.7%	1.8%	0.0%	76.1%	16.5%
	3年	99	24.8%	47.5%	15.8%	8.9%	1.0%	72.3%	24.8%
	4年	89	26.4%	48.4%	15.4%	6.6%	1.1%	74.7%	22.0%

Q73 あなたの卒業後の進路を考えたときに、次の講義やプログラムはどの程度役立っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-15 A. 所属学部 of 講義

		A. 所属学部 of 講義							*	
		n	大いに役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	まったく役立っていない	参加しなかった	NA	役に立った(計)	役に立たなかった(計)
※	全体	976	11.7%	44.2%	30.8%	6.1%	0.4%	6.7%	56.0%	36.9%
文化構想学部	計	543	10.9%	47.5%	28.0%	6.6%	0.4%	6.6%	58.4%	34.6%
	1年	164	12.2%	50.6%	23.8%	4.9%	1.2%	7.3%	62.8%	28.7%
	2年	139	11.5%	51.8%	21.6%	7.2%	0.0%	7.9%	63.3%	28.8%
	3年	128	9.4%	43.0%	37.5%	3.9%	0.0%	6.3%	52.3%	41.4%
	4年	112	9.8%	42.9%	31.3%	11.6%	0.0%	4.5%	52.7%	42.9%
文学部	計	433	12.9%	40.6%	34.6%	5.5%	0.5%	6.0%	53.5%	40.1%
	1年	132	13.6%	43.9%	31.1%	1.5%	0.8%	9.1%	57.6%	32.6%
	2年	109	14.7%	45.9%	29.4%	1.8%	0.9%	7.3%	60.6%	31.2%
	3年	101	9.9%	39.6%	39.6%	8.9%	0.0%	2.0%	49.5%	48.5%
	4年	91	13.2%	30.8%	40.7%	12.1%	0.0%	3.3%	44.0%	52.7%

表 6-16 B. 所属学部での演習

		B. 所属学部での演習							*	
		n	大いに役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	まったく役立っていない	参加しなかった	NA	役に立った(計)	役に立たなかった(計)
※	全体	976	11.1%	43.3%	25.4%	6.3%	6.9%	6.9%	54.4%	31.7%
文化構想学部	計	543	10.5%	47.7%	22.3%	6.3%	6.4%	6.8%	58.2%	28.5%
	1年	164	4.9%	47.6%	16.5%	2.4%	21.3%	7.3%	52.4%	18.9%
	2年	139	15.1%	55.4%	15.8%	5.8%	0.0%	7.9%	70.5%	21.6%
	3年	128	13.3%	45.3%	26.6%	7.8%	0.0%	7.0%	58.6%	34.4%
	4年	112	9.8%	41.1%	33.9%	10.7%	0.0%	4.5%	50.9%	44.6%
文学部	計	433	12.0%	38.2%	29.5%	6.5%	7.6%	6.2%	50.2%	35.9%
	1年	132	9.1%	34.1%	22.0%	3.0%	22.7%	9.1%	43.2%	25.0%
	2年	109	13.8%	47.7%	24.8%	4.6%	1.8%	7.3%	61.5%	29.4%
	3年	101	12.9%	39.6%	35.6%	7.9%	1.0%	3.0%	52.5%	43.6%
	4年	91	13.2%	31.9%	39.6%	12.1%	0.0%	3.3%	45.1%	51.6%

表 6-17 C. 他学部の授業

		C. 他学部の授業							*	
		n	大いに役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	まったく役立っていない	参加しなかった	NA	役に立った(計)	役に立たなかった(計)
※	全体	976	12.6%	34.5%	19.0%	3.6%	23.4%	6.9%	47.1%	22.5%
文化構想学部	計	543	12.3%	33.3%	16.2%	3.7%	27.4%	7.0%	45.7%	19.9%
	1年	164	12.8%	32.3%	5.5%	0.0%	42.1%	7.3%	45.1%	5.5%
	2年	139	13.7%	32.4%	16.5%	5.0%	23.0%	9.4%	46.0%	21.6%
	3年	128	12.5%	33.6%	22.7%	2.3%	22.7%	6.3%	46.1%	25.0%
	4年	112	9.8%	35.7%	24.1%	8.9%	17.0%	4.5%	45.5%	33.0%
文学部	計	433	13.1%	36.2%	22.6%	3.5%	18.7%	6.0%	49.3%	26.0%
	1年	132	12.9%	33.3%	16.7%	2.3%	25.8%	9.1%	46.2%	18.9%
	2年	109	12.8%	41.3%	17.4%	0.9%	20.2%	7.3%	54.1%	18.3%
	3年	101	14.9%	37.6%	23.8%	5.9%	15.8%	2.0%	52.5%	29.7%
	4年	91	12.1%	33.0%	36.3%	5.5%	9.9%	3.3%	45.1%	41.8%

表 6-18 D. キャリアセンター主催のイベント

		D. キャリアセンター主催のイベント							*	
		n	大いに役 立っている	ある程度役 立っている	あまり役 立っていない	まったく役 立っていない	参加しな かった	NA	役に立った (計)	役に立たな かった (計)
※	全体	976	3.1%	13.6%	7.3%	2.8%	65.7%	7.5%	16.6%	10.1%
文化構想学部	計	543	2.9%	13.1%	8.5%	3.1%	65.0%	7.4%	16.0%	11.6%
	1年	164	3.7%	11.0%	1.2%	0.0%	76.2%	7.9%	14.6%	1.2%
	2年	139	1.4%	15.1%	5.0%	2.9%	66.2%	9.4%	16.5%	7.9%
	3年	128	0.8%	6.3%	7.8%	1.6%	76.6%	7.0%	7.0%	9.4%
	4年	112	6.3%	21.4%	24.1%	9.8%	33.9%	4.5%	27.7%	33.9%
文学部	計	433	3.2%	14.3%	6.0%	2.3%	67.3%	6.9%	17.5%	8.3%
	1年	132	2.3%	5.3%	2.3%	2.3%	78.0%	9.8%	7.6%	4.5%
	2年	109	0.9%	10.1%	7.3%	0.9%	72.5%	8.3%	11.0%	8.3%
	3年	101	4.0%	14.9%	5.0%	0.0%	73.3%	3.0%	18.8%	5.0%
	4年	91	6.6%	31.9%	11.0%	6.6%	39.6%	4.4%	38.5%	17.6%

表 6-19 E. 学外でのイベント

		E. 学外でのイベント							*	
		n	大いに役 立っている	ある程度役 立っている	あまり役 立っていない	まったく役 立っていない	参加しな かった	NA	役に立った (計)	役に立たな かった (計)
※	全体	976	6.3%	20.5%	6.9%	1.7%	57.3%	7.2%	26.8%	8.7%
文化構想学部	計	543	6.6%	19.7%	6.1%	2.2%	58.2%	7.2%	26.3%	8.3%
	1年	164	4.3%	14.0%	4.3%	0.6%	69.5%	7.3%	18.3%	4.9%
	2年	139	9.4%	18.7%	3.6%	3.6%	54.7%	10.1%	28.1%	7.2%
	3年	128	7.0%	17.2%	4.7%	3.1%	61.7%	6.3%	24.2%	7.8%
	4年	112	6.3%	32.1%	13.4%	1.8%	42.0%	4.5%	38.4%	15.2%
文学部	計	433	6.0%	21.7%	8.1%	1.2%	56.7%	6.5%	27.6%	9.2%
	1年	132	6.8%	10.6%	4.5%	0.0%	68.9%	9.1%	17.4%	4.5%
	2年	109	5.5%	16.5%	8.3%	1.8%	59.6%	8.3%	22.0%	10.1%
	3年	101	3.0%	28.7%	7.9%	1.0%	56.4%	3.0%	31.7%	8.9%
	4年	91	8.8%	36.3%	13.2%	2.2%	36.3%	3.3%	45.1%	15.4%

表 6-20 F. サークル活動

		F. サークル活動							*	
		n	大いに役 立っている	ある程度役 立っている	あまり役 立っていない	まったく役 立っていない	参加しな かった	NA	役に立った (計)	役に立たな かった (計)
※	全体	976	21.7%	34.8%	16.8%	6.2%	13.1%	7.3%	56.5%	23.0%
文化構想学部	計	543	19.3%	36.3%	16.8%	7.7%	12.9%	7.0%	55.6%	24.5%
	1年	164	22.6%	36.6%	15.9%	6.1%	11.6%	7.3%	59.1%	22.0%
	2年	139	17.3%	33.8%	19.4%	9.4%	10.8%	9.4%	51.1%	28.8%
	3年	128	16.4%	39.8%	14.1%	7.0%	16.4%	6.3%	56.3%	21.1%
	4年	112	20.5%	34.8%	17.9%	8.9%	13.4%	4.5%	55.4%	26.8%
文学部	計	433	24.9%	33.2%	17.1%	4.4%	13.6%	6.9%	58.1%	21.4%
	1年	132	28.0%	34.8%	14.4%	3.0%	9.8%	9.8%	62.9%	17.4%
	2年	109	22.0%	37.6%	16.5%	3.7%	11.0%	9.2%	59.6%	20.2%
	3年	101	15.8%	33.7%	21.8%	7.9%	17.8%	3.0%	49.5%	29.7%
	4年	91	34.1%	25.3%	16.5%	3.3%	17.6%	3.3%	59.3%	19.8%

Q74 あなたは、卒業後の進路のためにしている（していた）ことはありますか。あてはまるものを全てお選びください。

表 6-21 卒業後の進路のためにしている（していた）こと

		卒業後の進路のためにしている（していた）こと						
		n	専門学校に通っている（いた）	大学で希望する進路に関連のある授業を履修している（した）	目標とする職種に近いアルバイトをしている（した）	インターンシップに参加している（した）	クラブやサークルの先輩またはOB・OGに仕事に関する話を聞いている（いた）	キャリアセンターに行って相談を受けている（受けた）
※	全体	976	3.9%	34.8%	17.3%	15.5%	29.8%	6.3%
文化構想学部	計	543	3.1%	34.3%	17.7%	15.8%	29.3%	6.3%
	1年	164	0.6%	34.8%	11.6%	2.4%	20.7%	0.6%
	2年	139	1.4%	43.9%	25.2%	4.3%	23.0%	1.4%
	3年	128	6.3%	30.5%	14.8%	27.3%	38.3%	5.5%
	4年	112	5.4%	25.9%	20.5%	36.6%	39.3%	21.4%
文学部	計	433	4.8%	35.7%	17.1%	15.2%	30.6%	6.5%
	1年	132	0.8%	37.9%	14.4%	2.3%	25.8%	0.0%
	2年	109	0.0%	40.4%	14.7%	4.6%	34.9%	0.0%
	3年	101	9.9%	33.7%	23.8%	32.7%	24.8%	6.9%
	4年	91	11.0%	29.7%	16.5%	27.5%	39.6%	23.1%
		n	教員に相談している（した）	語学検定試験や資格試験を受けている（受けた）	その他	特になにもしていない	NA	
※	全体	976	5.5%	22.8%	2.3%	20.5%	7.0%	
文化構想学部	計	543	5.3%	20.6%	2.2%	22.5%	7.4%	
	1年	164	3.0%	11.0%	1.2%	31.1%	7.9%	
	2年	139	3.6%	19.4%	1.4%	20.9%	9.4%	
	3年	128	9.4%	28.1%	3.9%	19.5%	6.3%	
	4年	112	6.3%	27.7%	2.7%	15.2%	5.4%	
文学部	計	433	5.8%	25.8%	2.5%	18.2%	6.5%	
	1年	132	4.5%	18.9%	1.5%	24.2%	9.1%	
	2年	109	5.5%	25.7%	1.8%	19.3%	9.2%	
	3年	101	5.9%	35.6%	3.0%	11.9%	3.0%	
	4年	91	7.7%	25.3%	4.4%	15.4%	3.3%	

Q75 あなたは、大学卒業までに取得する予定の資格はありますか。あてはまるものを全てお選びください。

表 6-22 大学卒業までに取得する予定の資格

		大学卒業までに取得する予定の資格						
		n	教員免許 (小学校)	教員免許 (中学校)	教員免許 (高校)	学芸員	図書館司書	社会福祉受 験資格
※	全体	976	0.1%	10.9%	13.8%	9.0%	6.1%	0.5%
文化構想学部	計	543	0.2%	7.2%	9.4%	8.1%	5.0%	0.9%
	1年	164	0.0%	11.0%	12.8%	7.3%	6.7%	1.8%
	2年	139	0.0%	6.5%	8.6%	9.4%	4.3%	0.0%
	3年	128	0.0%	4.7%	8.6%	7.0%	5.5%	0.8%
	4年	112	0.9%	5.4%	6.3%	8.9%	2.7%	0.9%
文学部	計	433	0.0%	15.7%	19.4%	10.1%	7.6%	0.0%
	1年	132	0.0%	21.2%	26.5%	7.6%	10.6%	0.0%
	2年	109	0.0%	10.1%	16.5%	12.8%	8.3%	0.0%
	3年	101	0.0%	18.8%	20.8%	10.9%	3.0%	0.0%
	4年	91	0.0%	11.0%	11.0%	9.9%	7.7%	0.0%
		n	社会調査士	社会教育主 事	考古調査士	その他	特になにも 予定してい ない	NA
※	全体	976	1.8%	1.0%	0.9%	4.6%	56.4%	12.1%
文化構想学部	計	543	0.0%	0.7%	0.0%	4.6%	61.9%	13.3%
	1年	164	0.0%	1.2%	0.0%	4.3%	59.1%	12.2%
	2年	139	0.0%	0.7%	0.0%	7.9%	58.3%	15.1%
	3年	128	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	64.8%	14.8%
	4年	112	0.0%	0.9%	0.0%	4.5%	67.0%	10.7%
文学部	計	433	4.1%	1.4%	2.1%	4.6%	50.0%	10.6%
	1年	132	2.3%	1.5%	0.8%	3.0%	40.9%	13.6%
	2年	109	8.3%	0.0%	0.9%	8.3%	45.0%	11.0%
	3年	101	3.0%	3.0%	3.0%	5.0%	54.5%	7.9%
	4年	91	3.3%	1.1%	4.4%	2.2%	64.8%	8.8%

6-4 現在の仕事観

Q76 あなたは、仕事にどのようなことを望みますか。現在のあなたの考えに近いものをお選びください。

表 6-23 A. チームで仕事をして成果を分かち合う/B. 個人の努力が成果に結びつく

		A. チームで仕事をして成果を分かち合う/B. 個人の努力が成果に結びつく						*	
		n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	NA	A (計)	B (計)
※	全体	976	18.3%	26.0%	34.0%	14.5%	7.1%	44.3%	48.5%
文化構想学部	計	543	18.8%	26.2%	35.7%	12.5%	6.8%	44.9%	48.3%
	1年	164	14.6%	25.0%	42.7%	10.4%	7.3%	39.6%	53.0%
	2年	139	10.1%	33.1%	31.7%	16.5%	8.6%	43.2%	48.2%
	3年	128	25.0%	20.3%	32.8%	15.6%	6.3%	45.3%	48.4%
	4年	112	28.6%	25.9%	33.9%	7.1%	4.5%	54.5%	41.1%
文学部	計	433	18.0%	26.0%	32.3%	17.1%	6.7%	44.0%	49.3%
	1年	132	14.4%	16.7%	37.1%	22.0%	9.8%	31.1%	59.1%
	2年	109	10.1%	25.7%	35.8%	20.2%	8.3%	35.8%	56.0%
	3年	101	23.8%	29.7%	33.7%	9.9%	3.0%	53.5%	43.6%
	4年	91	26.4%	36.3%	19.8%	14.3%	3.3%	62.6%	34.1%

表 6-24 A. あらかじめ決められたことを形にする/B. 新しい商品やサービスを生み出す

		A. あらかじめ決められたことを形にする/B. 新しい商品やサービスを生み出す						*	
		n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	NA	A (計)	B (計)
※	全体	976	14.4%	26.3%	29.8%	22.3%	7.2%	40.7%	52.1%
文化構想学部	計	543	12.5%	26.3%	29.8%	24.3%	7.0%	38.9%	54.1%
	1年	164	17.7%	24.4%	28.7%	21.3%	7.9%	42.1%	50.0%
	2年	139	8.6%	29.5%	31.7%	21.6%	8.6%	38.1%	53.2%
	3年	128	14.8%	21.1%	27.3%	30.5%	6.3%	35.9%	57.8%
	4年	112	7.1%	31.3%	32.1%	25.0%	4.5%	38.4%	57.1%
文学部	計	433	16.8%	26.5%	30.0%	20.0%	6.7%	43.3%	50.0%
	1年	132	11.4%	20.5%	36.4%	22.0%	9.8%	31.8%	58.3%
	2年	109	18.3%	27.5%	23.9%	22.0%	8.3%	45.9%	45.9%
	3年	101	22.8%	29.7%	30.7%	13.9%	3.0%	52.5%	44.6%
	4年	91	16.5%	30.8%	27.5%	22.0%	3.3%	47.3%	49.5%

表 6-25 A. 年齢や経験を重視した給与/B. 個人の業績や能力が大きく影響する給与

		A. 年齢や経験を重視した給与/B. 個人の業績や能力が大きく影響する給与						*	
		n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	NA	A (計)	B (計)
※	全体	976	8.8%	27.2%	36.2%	20.5%	7.3%	36.0%	56.7%
文化構想学部	計	543	7.2%	27.6%	37.8%	20.3%	7.2%	34.8%	58.0%
	1年	164	7.3%	20.1%	37.2%	28.0%	7.3%	27.4%	65.2%
	2年	139	7.2%	25.2%	37.4%	20.9%	9.4%	32.4%	58.3%
	3年	128	7.8%	34.4%	35.2%	15.6%	7.0%	42.2%	50.8%
	4年	112	6.3%	33.9%	42.0%	13.4%	4.5%	40.2%	55.4%
文学部	計	433	10.8%	27.0%	34.6%	21.0%	6.7%	37.8%	55.5%
	1年	132	6.1%	20.5%	35.6%	28.0%	9.8%	26.5%	63.6%
	2年	109	8.3%	29.4%	33.9%	20.2%	8.3%	37.6%	54.1%
	3年	101	16.8%	27.7%	36.6%	15.8%	3.0%	44.6%	52.5%
	4年	91	14.3%	33.0%	31.9%	17.6%	3.3%	47.3%	49.5%

表 6-26 A. 残業が多くてもキャリアアップできる/B. 残業が少なく自分の時間がもてる

		A. 残業が多くてもキャリアアップできる/B. 残業が少なく自分の時間がもてる						*	
		n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	NA	A (計)	B (計)
※	全体	976	7.5%	11.6%	33.6%	39.7%	7.5%	19.2%	73.3%
文化構想学部	計	543	6.4%	10.7%	35.5%	39.8%	7.6%	17.1%	75.3%
	1年	164	7.9%	14.6%	34.1%	34.8%	8.5%	22.6%	68.9%
	2年	139	4.3%	9.4%	37.4%	38.8%	10.1%	13.7%	76.3%
	3年	128	2.3%	8.6%	30.5%	52.3%	6.3%	10.9%	82.8%
	4年	112	11.6%	8.9%	41.1%	33.9%	4.5%	20.5%	75.0%
文学部	計	433	9.0%	12.9%	31.6%	39.9%	6.7%	21.9%	71.4%
	1年	132	9.8%	15.9%	25.8%	38.6%	9.8%	25.8%	64.4%
	2年	109	6.4%	13.8%	33.9%	37.6%	8.3%	20.2%	71.6%
	3年	101	7.9%	7.9%	35.6%	45.5%	3.0%	15.8%	81.2%
	4年	91	12.1%	13.2%	33.0%	38.5%	3.3%	25.3%	71.4%

表 6-27 A. 一つの仕事で専門家になること/B. いろいろな仕事を幅広く経験できること

		A. 一つの仕事で専門家になること/B. いろいろな仕事を幅広く経験できること						*	
		n	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	NA	A (計)	B (計)
※	全体	976	23.8%	26.4%	29.4%	13.1%	7.3%	50.2%	42.5%
文化構想学部	計	543	19.9%	25.2%	32.2%	15.5%	7.2%	45.1%	47.7%
	1年	164	17.7%	26.2%	31.7%	16.5%	7.9%	43.9%	48.2%
	2年	139	20.9%	30.2%	21.6%	18.0%	9.4%	51.1%	39.6%
	3年	128	18.0%	24.2%	36.7%	14.8%	6.3%	42.2%	51.6%
	4年	112	24.1%	18.8%	41.1%	11.6%	4.5%	42.9%	52.7%
文学部	計	433	28.8%	28.1%	26.0%	10.4%	6.7%	56.9%	36.4%
	1年	132	28.8%	22.7%	25.0%	13.6%	9.8%	51.5%	38.6%
	2年	109	33.0%	30.3%	24.8%	3.7%	8.3%	63.3%	28.4%
	3年	101	30.7%	29.7%	25.7%	10.9%	3.0%	60.4%	36.6%
	4年	91	22.0%	31.9%	29.7%	13.2%	3.3%	53.8%	42.9%

Q77 あなたは、子どもが小さいときに共働きをするつもりですか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-28 子どもが小さいときに共働きをするつもりか

		子どもが小さいときに共働きをするつもりか					
		n	共働きをするつもり	共働きをするつもりはない	結婚や子どもをもつつもりはない	考えたことはない	NA
※	全体	976	43.2%	21.1%	10.1%	18.1%	7.4%
文化構想学部	計	543	45.7%	21.5%	8.7%	16.8%	7.4%
	1年	164	36.6%	26.2%	8.5%	20.1%	8.5%
	2年	139	43.9%	20.9%	7.9%	18.0%	9.4%
	3年	128	50.0%	20.3%	10.2%	13.3%	6.3%
	4年	112	56.3%	17.0%	8.0%	14.3%	4.5%
文学部	計	433	40.6%	20.7%	12.0%	20.0%	6.7%
	1年	132	30.3%	24.2%	12.9%	22.7%	9.8%
	2年	109	36.7%	22.0%	11.0%	22.0%	8.3%
	3年	101	47.5%	14.9%	15.8%	18.8%	3.0%
	4年	91	52.7%	20.9%	7.7%	15.4%	3.3%

参考表 6-1 男女と共働きのクロス表

		子どもが小さいときに共働きをするつもりか				
		n	共働きをするつもり	共働きをするつもりはない	結婚や子どもをもつつもりはない	考えたことはない
全体		976	43.2%	21.1%	10.1%	18.1%
男性		341	34.0%	17.3%	12.3%	28.2%
女性		633	48.7%	23.2%	9.0%	13.0%
NA		2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

Q78 あなたの卒業後の進路において、早稲田大学卒業であることはどの程度有利になると考えていますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-29 早稲田大学卒業であることはどの程度有利になると考えているか

		卒業後の進路において、早稲田大学卒業はどの程度有利になると考えているか							*
		n	非常に有利である	ある程度有利である	あまり有利ではない	有利ではない	関係がない	NA	役に立った(計)
※	全体	909	19.1%	58.5%	5.8%	0.8%	8.3%	0.2%	77.6%
文化構想学部	計	504	18.2%	61.1%	5.2%	0.2%	7.9%	0.2%	79.4%
	1年	150	18.9%	59.1%	3.7%	0.0%	9.8%	0.0%	78.0%
	2年	127	18.0%	62.6%	5.8%	0.0%	4.3%	0.7%	80.6%
	3年	120	14.1%	68.0%	5.5%	0.8%	5.5%	0.0%	82.0%
	4年	107	22.3%	54.5%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	76.8%
文学部	計	405	20.3%	55.8%	6.7%	1.6%	8.8%	0.2%	76.0%
	1年	119	17.4%	59.1%	6.1%	0.0%	6.8%	0.8%	76.5%
	2年	100	20.2%	57.8%	3.7%	2.8%	7.3%	0.0%	78.0%
	3年	98	16.8%	57.4%	9.9%	3.0%	9.9%	0.0%	74.3%
	4年	88	28.6%	47.3%	7.7%	1.1%	12.1%	0.0%	75.8%

Q79 あなたの卒業後の進路において、文化構想学部卒業または文学部卒業であることはどの程度有利になると考えていますか。あてはまるものを1つお選びください。

表 6-30 卒業後の進路において、文化構想学部卒業または文学部卒業であることはどの程度有利になると考えているか

		卒業後の進路において、文化構想学部卒業または文学部卒業はどの程度有利になると考えているか							*	
		n	非常に有利である	ある程度有利である	あまり有利ではない	有利ではない	関係がない	NA	有利である(計)	有利ではない(計)
※	全体	908	4.6%	24.4%	33.4%	10.8%	19.0%	0.4%	29.0%	44.2%
文化構想学部	計	503	4.2%	26.5%	33.3%	10.1%	18.0%	0.4%	30.8%	43.5%
	1年	150	6.7%	28.7%	31.1%	8.5%	16.5%	0.0%	35.4%	39.6%
	2年	127	2.9%	25.2%	33.1%	11.5%	17.3%	1.4%	28.1%	44.6%
	3年	119	3.1%	25.8%	37.5%	12.5%	14.1%	0.0%	28.9%	50.0%
	4年	107	3.6%	25.9%	32.1%	8.0%	25.9%	0.0%	29.5%	40.2%
文学部	計	405	5.1%	21.9%	33.9%	11.8%	20.3%	0.5%	27.0%	45.6%
	1年	119	3.8%	26.5%	30.3%	8.3%	21.2%	0.0%	30.3%	38.6%
	2年	100	9.2%	22.0%	35.8%	8.3%	14.7%	1.8%	31.2%	44.0%
	3年	98	4.0%	17.8%	37.6%	20.8%	16.8%	0.0%	21.8%	58.4%
	4年	88	3.3%	19.8%	33.0%	11.0%	29.7%	0.0%	23.1%	44.0%

回答デバイス

表 6-31 回答デバイス

		回答デバイス				
		n	PC	スマートフォン	タブレット	その他
※	全体	981	26.5%	69.7%	3.6%	0.2%
文化構想学部	計	543	22.5%	74.2%	3.3%	0.0%
	1年	164	18.9%	77.4%	3.7%	0.0%
	2年	139	23.7%	74.1%	2.2%	0.0%
	3年	128	24.2%	71.1%	4.7%	0.0%
	4年	112	24.1%	73.2%	2.7%	0.0%
文学部	計	434	31.6%	64.3%	3.9%	0.2%
	1年	132	28.8%	69.7%	1.5%	0.0%
	2年	109	25.7%	67.9%	5.5%	0.9%
	3年	101	35.6%	61.4%	3.0%	0.0%
	4年	91	37.4%	56.0%	6.6%	0.0%